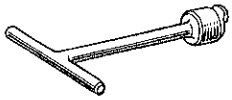
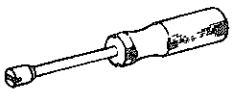
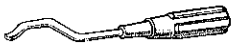
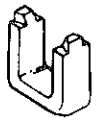
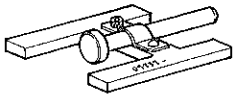
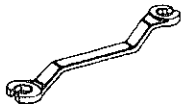
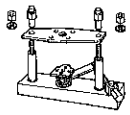
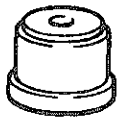
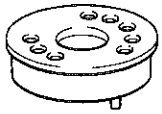
7　ブレーキ

ページ
準備品 …… 7－2
ブレーキ点検・調整 …… 7－4
マスタ　シリンダ …… 7－8
ブレーキ　ブースタ
ブレーキ　ブースタ（アイシン精機製） …… 7－18
ブレーキ　ブースタ（自動車機器製） …… 7－26
フレキシブル　ホースとブレーキ　チューブ … 7－32
フロント　ブレーキ …… 7－33
リヤ　ドラム　ブレーキ …… 7－40
リヤ　デイスク　ブレーキ …… 7－48
パーキング　ブレーキ　レバー　&　ケーブル … 7－55
パーキング　ブレーキ …… 7－56
デユアル　P　バルブ …… 7－63

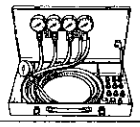
無断複製禁止

注意 • ブレーキ装置の各構成部品の分解，組み付けは，特に慎重かつ正確に行う。
• 分解した部品は常に整理，整頓してホコリなどから保護する。
• 組み付け前に各部品の洗浄，清掃をする。
• 作業終了時の確認は必ず行う。

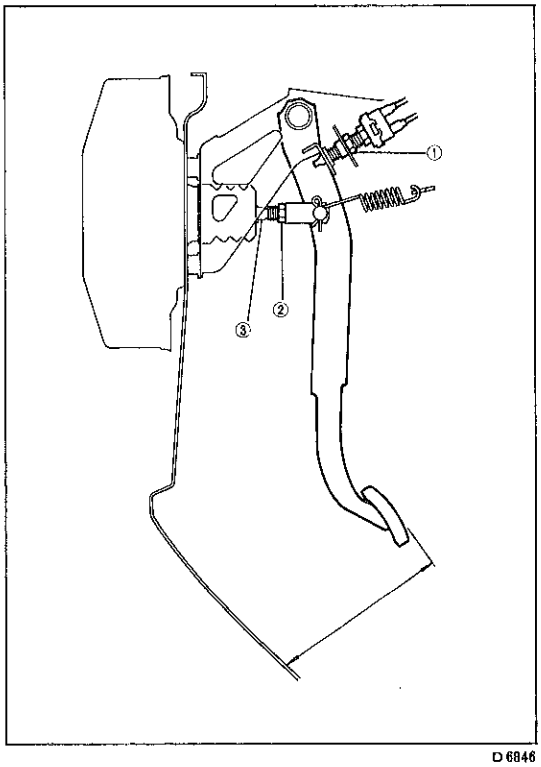
準　備　品

SST		09703-30010	ツール，ブレーキ　シュー　リターン　スプリング	リヤ　ブレーキ　テンションスプリング脱着用
		09717-20010	リムーバ，ブレーキ　シュー　リターン　スプリング	パーキング　ブレーキ　テンションスプリング取りはずし用
		09718-00010	ドライバ，シュー　ホールド　ダウン　スプリング	シュー　ホールド　ダウン　スプリング　ピン脱着用
		09718-20010	リプレーサ，ブレーキ　シュー　リターン　スプリング	パーキング　ブレーキ　テンションスプリング取り付け用
		09736-27010	リムーバ　アンド　リプレーサ，ブースタ　ダイアフラム	ブレーキ　ブースタのダイアフラム脱着用
		09737-00010	ゲージ，ブレーキ　ブースタ　プッシュ　ロッド	マスタ　シリンダ　プッシュ　ロッドのすき間調整用
		09751-36011	レンチ，ブレーキ　チューブ　ユニオン　ナット	ブレーキ　チューブ切り離しおよび接続用
		09753-00012	ツール，ブレーキ　ブースタ　オーバーホール	ブレーキ　ブースタ　ボデーの分解，組み付け用
		09753-30020	リプレーサ，オイル　シール	ブレーキ　ブースタのボデー　シール脱着用
		09753-40010	ベース，プレート	ブレーキ　ブースタ　ボデーの分解，組み付け用

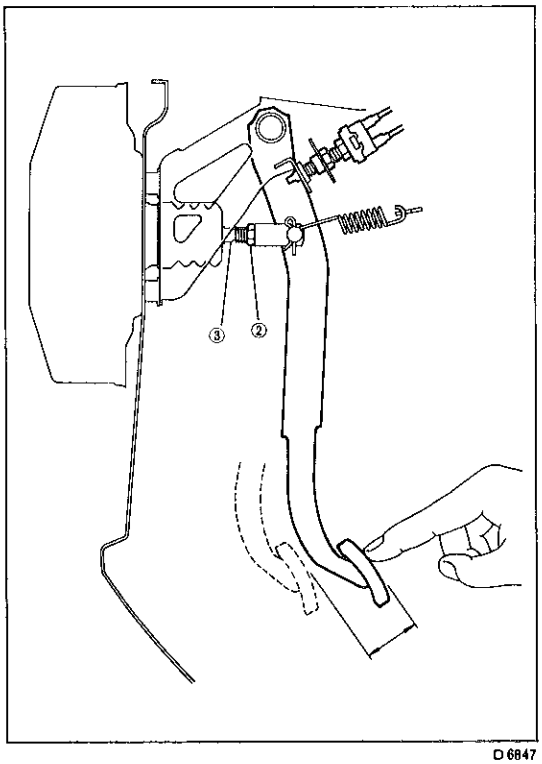
無断複製禁止

工　具		09704-10010　ツール，ブレーキ　アジヤステイング	ドラム　ブレーキ調整用
	スナツプ　リング　エクスパンダ		スナツプ　リング脱着用
計　器		㈱バンザイ扱い　BBT－1TB　ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタ	デユアル　P　バルブおよびブレーキ　ブースタの機能，作動点検用
	ダイヤル　ゲージ		フロント　デイスク振れ点検用
油　脂 その他	トヨタ純正ブレーキ　フルード　2400G		エア抜き用
	キヤツスル　ノンメルト　ルブ		各部への塗布用
	キヤツスル　ラバー　グリース		各部への塗布用
	キヤツスル　デイスク　ブレーキ　グリース		各部への塗布用
	ブレーキ　クリーナ（スプレー　タイプ）		リヤ　ブレーキ　ドラム内の付着物除去用
	ブレーキ　クリーナ　（京華産業㈱扱い　BC－10，15）		リヤ　ブレーキ　ドラム内の粉じん除去用
	アドヘシブ・1344		パーキング　ブレーキ　シユー　ガイド　プレート　ボルトへの塗布用
	円筒形の台（65×55×85）mm		ブレーキ　ブースタのボデー　シール脱着用

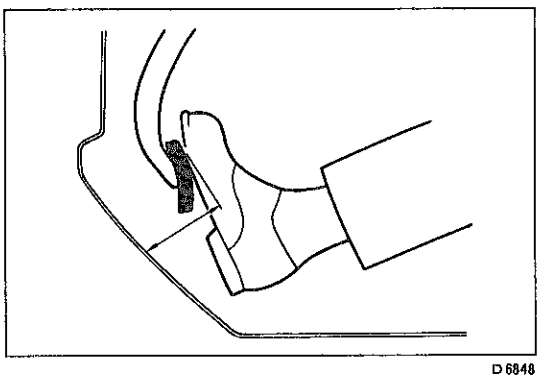
無断複製禁止



D 6846



D 6847


D 6848

ブレーキ点検・調整

ブレーキ　ペダル点検・調整

1　ペダル高さ点検

(1) ブレーキ　ペダルの高さを測定する。

基準値　（アスファルト　シート上面より）152～162mm

（フロア　パネル上面より）　158～168mm ……

……ＳＶ車のみ

2　ペダル高さ調整

(1) ストップ　ランプ　スイッチのコネクタを切り離し，ナット①をゆるめスイッチを回してペダルを遊ばせる。

(2) ナット②をゆるめ，プッシュ　ロッド③を回してペダル高さを調整する。

(3) ストップ　ランプ　スイッチのねじ端部にペダルのクッションが当たるまでスイッチを回してナット①をロックする。

(4) ペダル高さ調整後，ペダル遊び，ストップ　ランプの点灯を点検する。

3　ペダル遊び点検

(1) エンジン停止後ペダルを数回強く踏み込み，ブレーキ　ブースタ内のバキュームがない状態にして，ペダルを指で軽く押して測定する。

基準値　3～6mm

4　ペダル遊び調整

(1) ナット②をゆるめ，プッシュ　ロッド③を回してペダル遊びを調整する。

(2) 調整後，ペダル高さ，ストップ　ランプの点灯を点検する。

5　ペダル踏み残りしろ点検

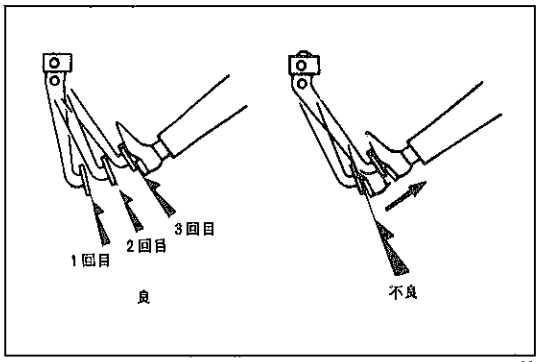
(1) アイドル回転時パーキング　ブレーキ　レバーをもどした状態で，ペダルを踏力50kgで踏み込んで止まった位置と床板とのすき間を測定する。

基準値　（アスファルト　シート上面より）

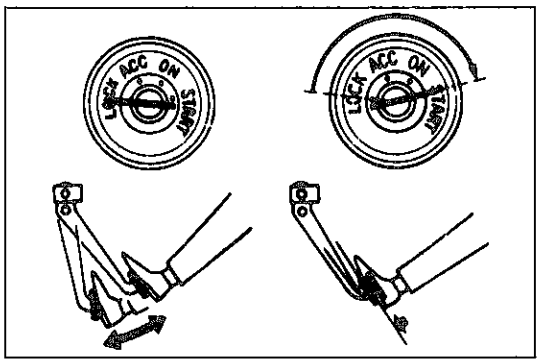
リヤ　ドラム　ブレーキ車　90mm以上

リヤ　デイスク　ブレーキ車　95mm以上

無断複製禁止



B1526



B1525

ブレーキ　ブースタ作動点検

1　ブースタ気密機能点検

(1) エンジンを始動させ，1～2分間回して止め，通常ブレーキを使用する程度の踏力でブレーキ　ペダルを踏んだときの高さを点検する。

基　準　1回目に踏んだときより2回，3回踏んだときのペダル高さの方が高くなる
（1回目と2回目，2回目と3回目の間隔は約5秒以上）

2　ブースタ作動点検

(1) エンジンを停止したまま同じ程度の踏力で数回ブレーキ　ペダルを踏んでペダル高さが変化しないことを点検する。

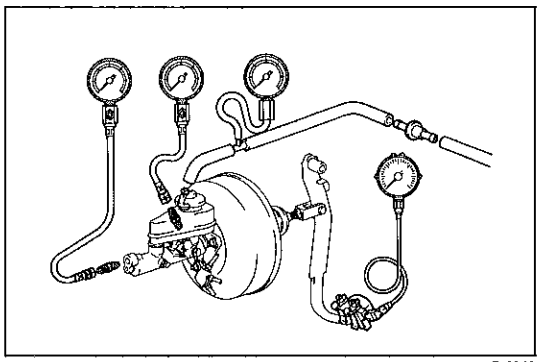
(2) ブレーキ　ペダルを踏んだままエンジンを始動してペダル高さの変化を点検する。

基　準　ペダルを踏んだ状態でエンジン始動時ペダルが少し奥へ入る

3　ブースタ負荷気密機能点検

(1) エンジン回転中ブレーキ　ペダルを踏み，その状態でエンジンを止め30秒間保持してペダル高さの変化を点検する。

基　準　ペダル高さに変化がない


D6849

4　ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタによる点検

(1) ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタを図のように接続しテスタのエア抜きを行う。

(2) 気密機能点検

① エンジンを始動し負圧計が500mmHgになつたらエンジンを止めて負圧を測定する。

基　準　エンジン停止後，15秒間の負圧の低下がない

(3) 負荷気密機能点検

① エンジンを回し，ブレーキ　ペダルを踏力20kgで踏んで負圧計が500mmHgになつたらエンジンを止めて負圧を測定する。

基　準　エンジン停止後，15秒間の負圧の低下が25mmHg以内

(4) 無倍力作動点検

① エンジンを停止し負圧計の読みを0にし踏力と液圧の関係を点検する。

無断複製禁止

基準値

踏　力 (kg)	液　圧 (kg / cm²以上)
10	1.5
30	15

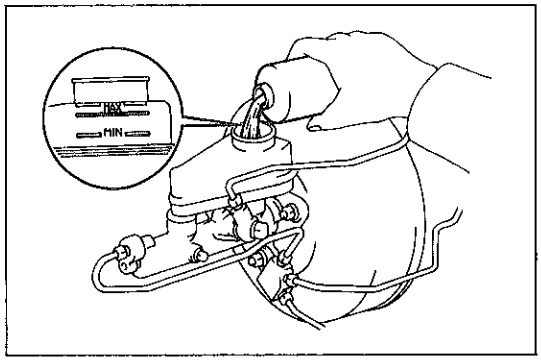
(5) 倍力作動点検

① エンジンを回し負圧計の読みを500mmHgにし，エンジン停止後ブレーキ　ペダルを踏み液圧を測定する。

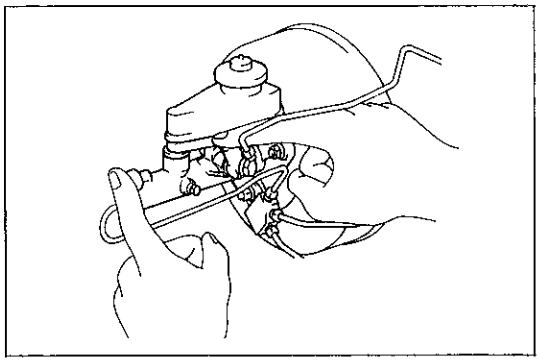
上記を各踏力について行う。

基準値

踏　力 (kg)	液　圧 (kg / cm²)
5	5～16
10	20～37
15	46～57
20	54～65　8インチ 65～76　9インチ



D6850


D6851

ブレーキ系統のエア抜き

注意　誤つてブレーキ　フルードを車両の塗装面に付着させた場合，すみやかに水洗いする。

〈参考〉 チエツク　バルブ　レス　マスタ　シリンダを採用しているためマスタ　シリンダのエア抜きは次の手順で行う。(マスタ　シリンダ内にブレーキ　フルードがない場合)

(1) パーキング　ブレーキを解除する。

(2) ブレーキ　チユーブ２本を切り離す。

(3) ２人で作業を行い，一方の作業者がブレーキ　ペダルをゆつくり踏み込み，踏み込んだまま保持する。

(4) (3)の状態でマスタ　シリンダのアウトレツト部を指などでふさいだ後，ペダルの踏み込みを解く。

(5) (3)，(4)の操作を３～４回繰り返しながら，マスタ　シリンダ内にブレーキ　フルードを充てんする。

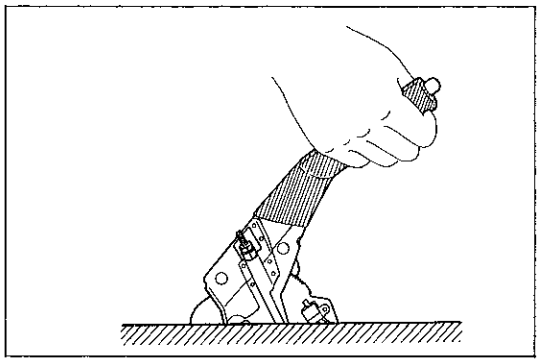
(6) マスタ　シリンダのエア抜き後，マスタ　シリンダにチユーブ２本を取り付ける。

T＝155kg·cm

(7) マスタ　シリンダから一番離れているホイール　シリンダからエア抜きを全輪行う。

T＝85kg·cm

無断複製禁止

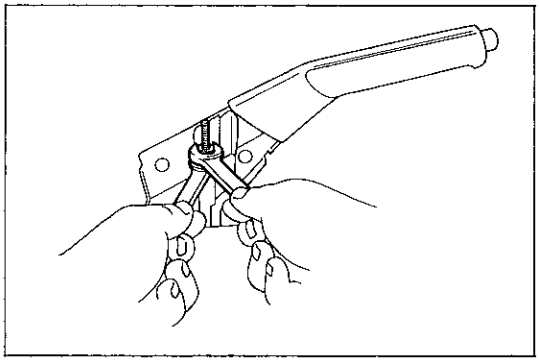

D6852

パーキング　ブレーキ点検・調整

1　パーキング　ブレーキ　レバー引きしろ点検

(1) パーキング　ブレーキ　レバーをゆつくり引つ張り，“カチツ，カチツ”という作動音を数える。

基準値　4～7ノツチ（操作力20kg）


D6853

2　パーキング　ブレーキ　レバー引きしろ調整

(1) パーキング　ブレーキ　レバー引きしろを調整する前に，リヤ　ブレーキのシユーすき間を調整しておく。（S 7-47参照）

(2) コンソール　ボツクスを取りはずす。

(3) ロツク　ナツトをゆるめ，アジヤステイング　ナツトにて基準値になるよう調整する。

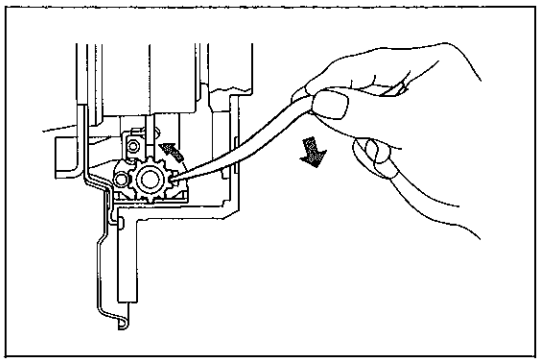
(4) ロツク　ナツトを締め付ける。

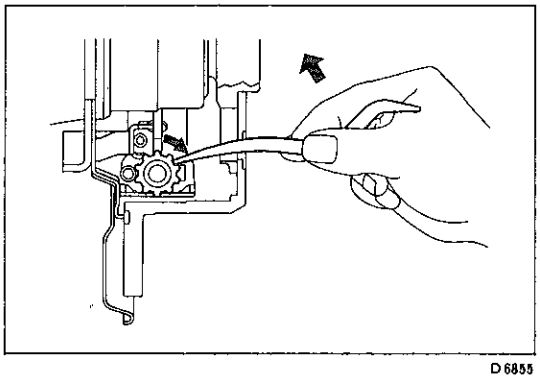
(5) コンソール　ボツクスを取り付ける。

(6) リヤ　ブレーキの引きずりを点検する。

(7) パーキング　ブレーキ　インジケータ　ランプの作動を点検する。

基　準　引きはじめてから1ノツチかかる前までにランプが点灯する


D6854


D6855

3　パーキング　ブレーキ　シユーとリヤ　デイスクのすき間調整

(1) リヤ　ホイールを取りはずし，ハブ　ナツトにてデイスクを固定する。

(2) シユー　アジヤステイング　プラグを取りはずす。

(3) デイスクのサービス　ホールをアジヤステイング　スクリユセツトの位置に合わせる。

(4) ブレーキ　アジヤステイング　ツールを使用して，アジヤステイング　ナツトを回転させ，デイスク内面に密着するまで，シユーを拡張させる。

(5) シユーが完全にデイスクに密着していることを確認して，その後アジヤステイング　ナツトを逆回転させデイスクが軽く回転するまでシユーを収縮させる。

標準もどしコマ数　約8コマ

注意　ブレーキの引きずりがない。

(6) シユー　アジヤステイング　プラグを取り付ける。

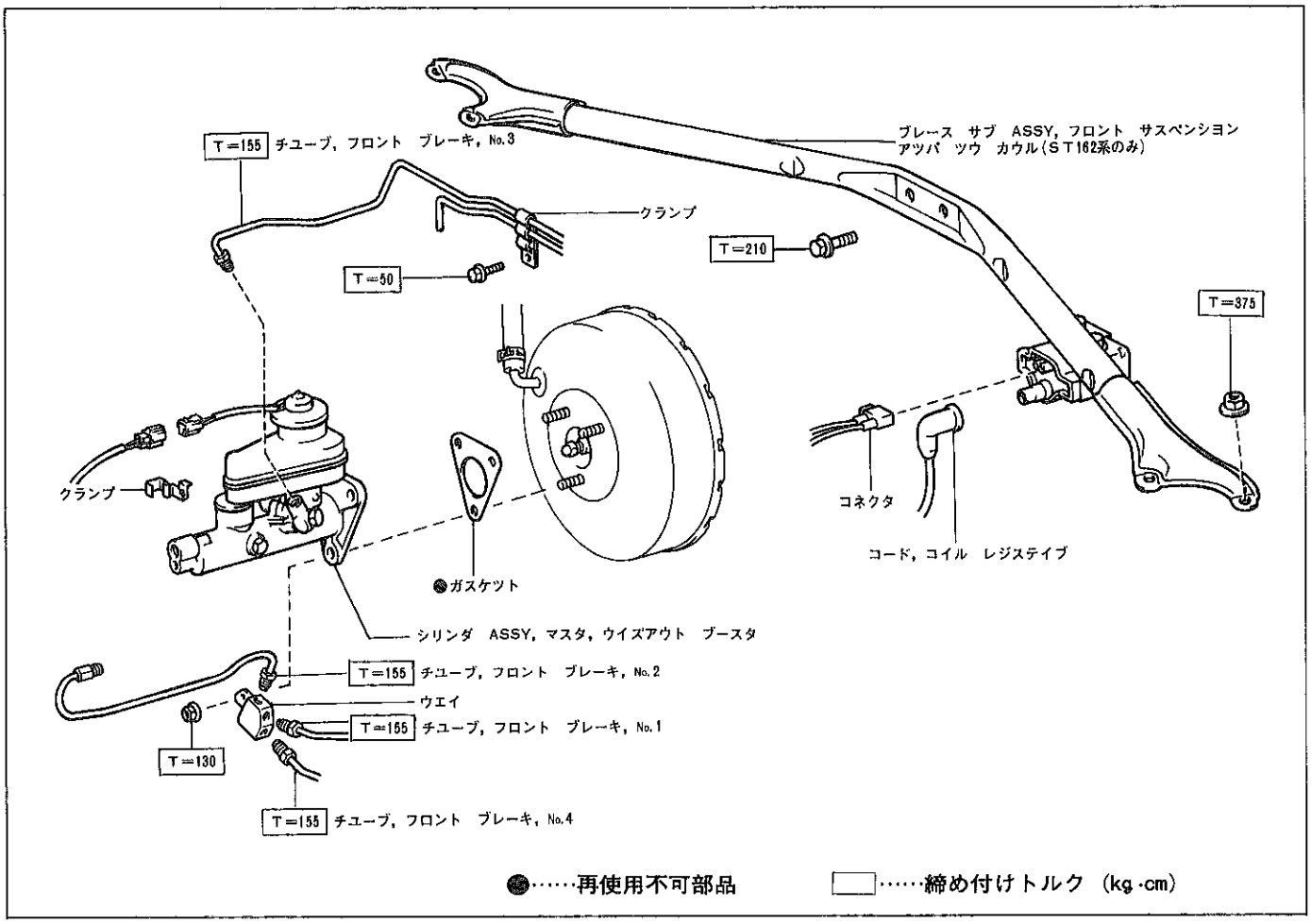
(7) ハブ　ナツトを取りはずし，リヤ　ホイールを取り付ける。

(8) パーキング　ブレーキ　レバーの引きしろを点検する。

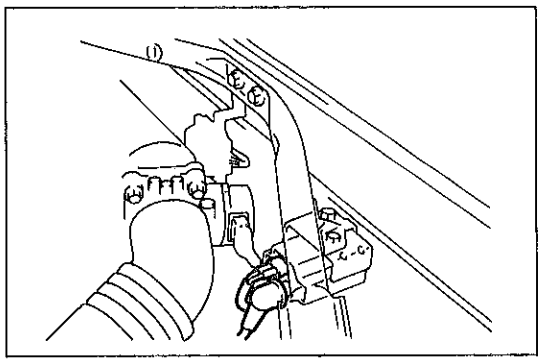
無断複製禁止

マスタ シリンダ

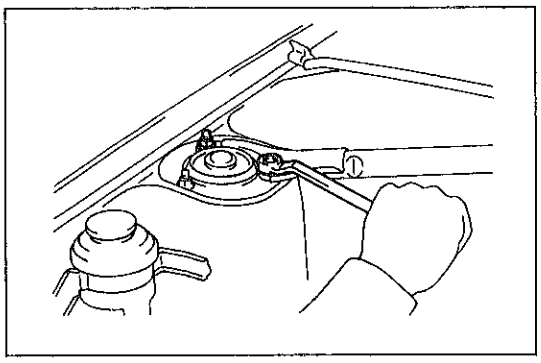
構成図（脱着）



D6856



D6916



D6857

マスタ シリンダ取りはずし

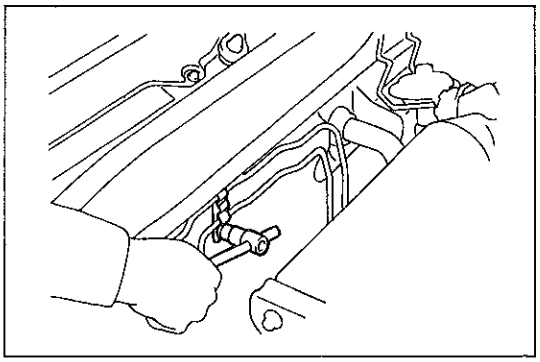
注意 誤つてブレーキ フルードを車両の塗装面に付着させた場合，すみやかに水洗いする。

1 コイル レジステイブ コードおよびコネクタ取りはずし

2 フロント サスペンシヨン アツパ ツウ カウル ブレース取りはずし（ST162系）

(1) ボルト2本およびナツト4個を取りはずし，ブレースを取りはずす。

無断複製禁止

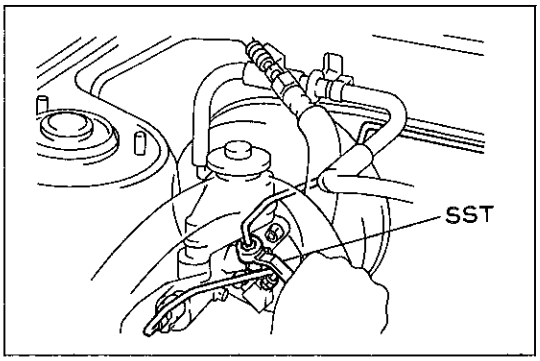


D 6858

3　レベル　ウオーニング　スイツチ　コネクタ切り離し

4　ブレーキ　フルード抜き取り

5　クランプ取りはずし

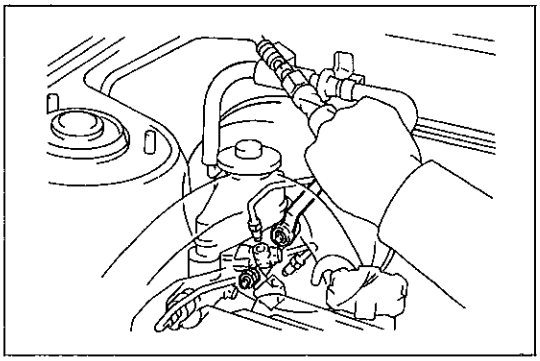


D 6859

6　ブレーキ　チユーブ切り離し

(1)　ＳＳＴを使用して，マスタ　シリンダからブレーキ　チユーブ２本を切り離す。

ＳＳＴ　　09751-36011



D 6860

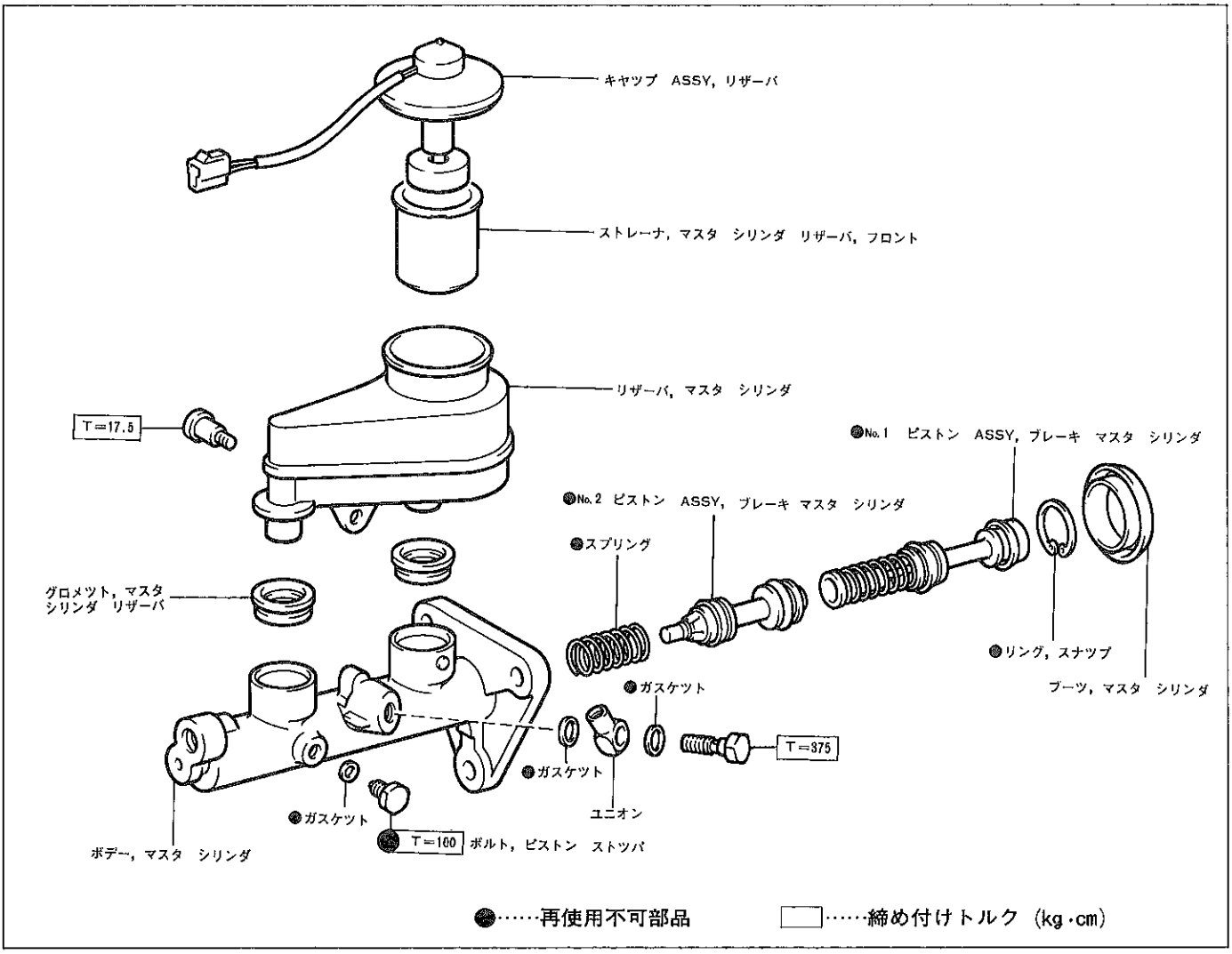
7　マスタ　シリンダ取りはずし

(1)　ナット３個を取りはずし，マスタ　シリンダおよびガスケットを取りはずす。

注意　ブレーキ　チユーブを変形させない。

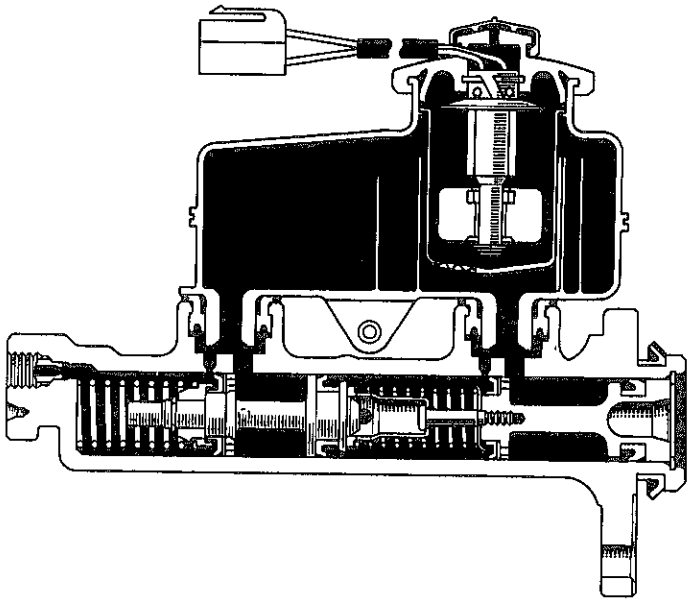
無断複製禁止

構 成 図



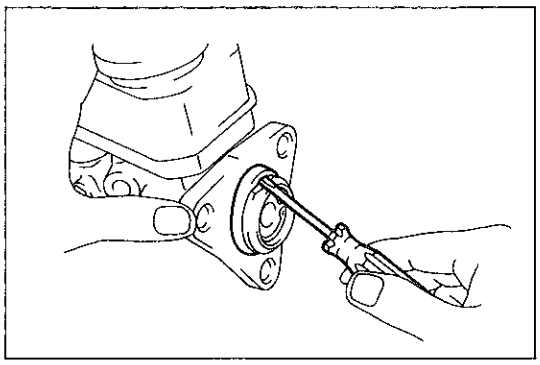
D6861

断 面 図



D6820

無断複製禁止

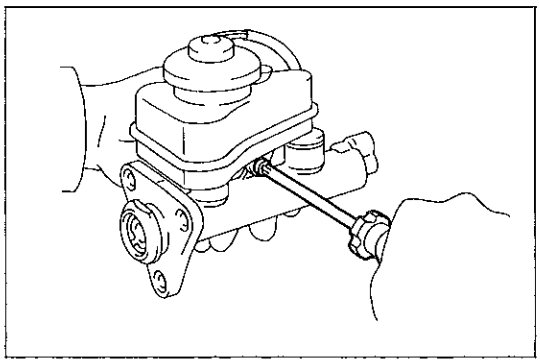


D6862

マスタ　シリンダ分解

1　マスタ　シリンダ　ブーツ取りはずし

(1) ⊖薄刃ドライバを使用して，マスタ　シリンダ　ブーツを取りはずす。



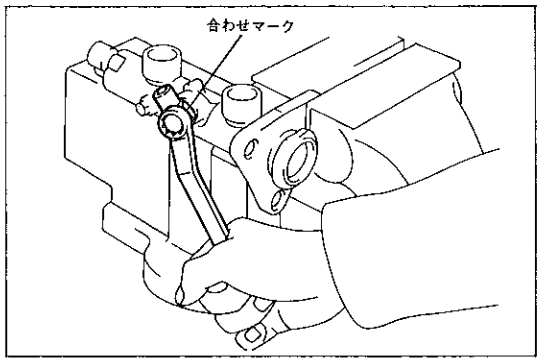
D6863

2　マスタ　シリンダ　リザーバ取りはずし

(1) スクリユを取りはずし，マスタ　シリンダ　リザーバを取りはずす。

(2) リザーバからキヤツプおよびストレーナを取りはずす。

3　マスタ　シリンダ　リザーバ　グロメツト(2個)取りはずし



D6864

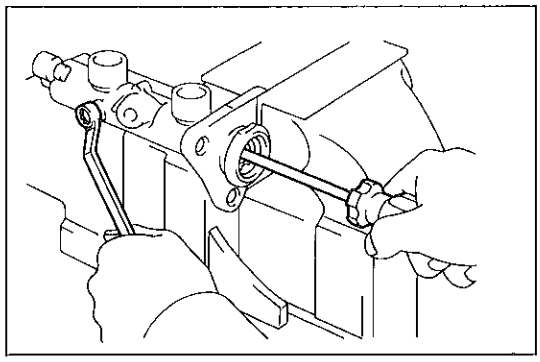
4　マスタ　シリンダ固定

注意　シリンダ部は変形するおそれがあるのでバイスではさまない。

5　ユニオン取りはずし

(1) ユニオンとマスタ　シリンダに合わせマークを付ける。

(2) ユニオン　ボルトを取りはずし，ユニオンおよびガスケツト2個を取りはずす。

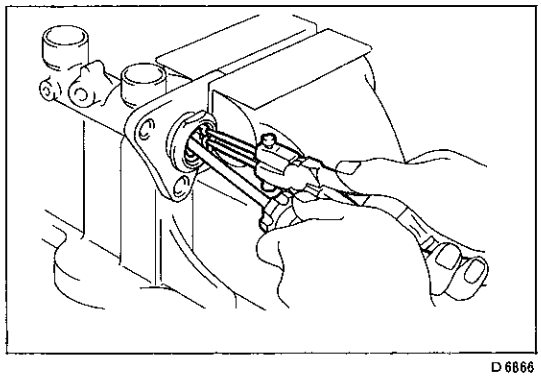


D6865

6　ピストン　ストツパ　ボルト取りはずし

(1) ドライバを使用して，ピストンをいつぱいに押し，ピストンストツパ　ボルトおよびガスケツトを取りはずす。

注意　ピストンを押すときフルードを飛散させない。



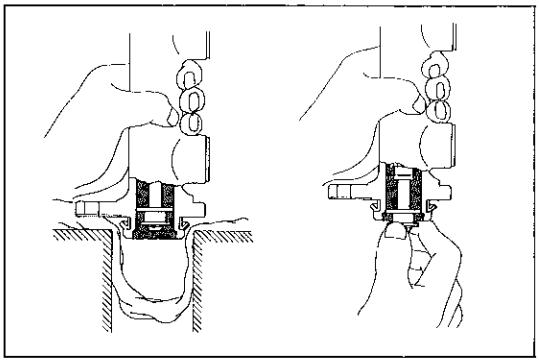
D6866

7　No.1，No.2　ピストンおよびスプリング取りはずし

(1) スナツプ　リング　エクスパンダとドライバを使用して，ピストンを押し込んだ状態で，スナツプ　リングを取りはずす。

(2) No.1　ピストンおよびスプリングを取りはずす。

無断複製禁止

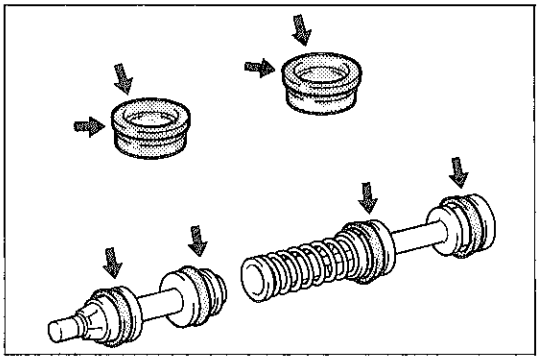


D6867 D6868

(3) No.2　ピストンの端面が出てくるまで，フランジ部を木片に対し軽くたたく。

(4) No.2　ピストンの端面が出てきたら，手でピストンをまつすぐに引き抜く。

注意　ピストンを傾けて引き抜き，シリンダ内面を傷つけない。



D6869

マスタ　シリンダ点検

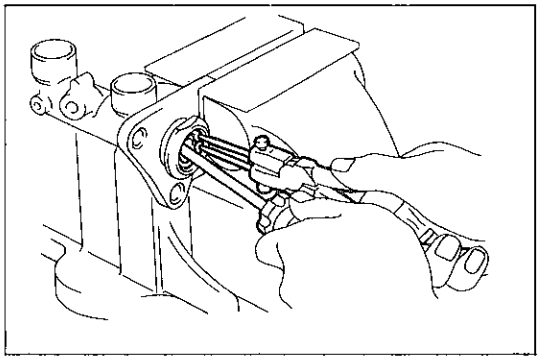
1　シリンダ内面の傷の有無点検

2　シリンダの変形，損傷の有無点検

マスタ　シリンダ組み付け

1　ラバー　グリース塗布

(1) 矢印の示す部位にキヤツスル　ラバー　グリースを塗布する。



D6866

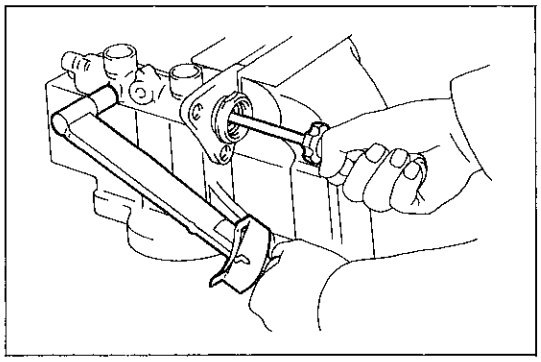
2　No.1，No.2　ピストン組み付け

(1) マスタ　シリンダへ新品のスプリングおよび　No.1　ピストンをそう入する。

(2) 新品の　No.2　ピストンをそう入する。

注意
- ピストンが傾いたまま無理にそう入するとシリンダ内面を傷つけるおそれがある。
- カツプの方向に注意する。
- カツプのリツプ部を間違えない。

(3) スナツプ　リング　エクスパンダとドライバを使用して，ピストンを押し込んだ状態にし，新品のスナツプ　リングを組み付ける。

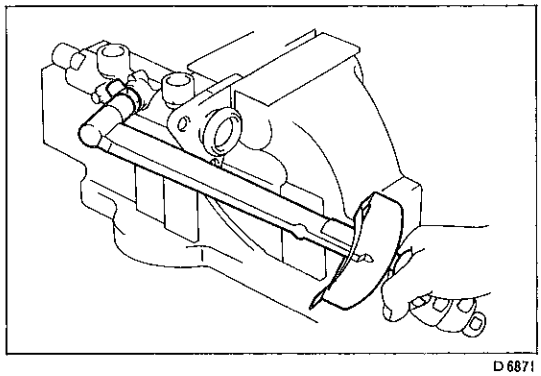


D6870

3　ピストン　ストツパ　ボルト組み付け

(1) ドライバを使用して，ピストンをいつぱいに押し込んで，新品のガスケツトを介して，新品のピストン　ストツパ　ボルトを組み付ける。

T＝100kg・cm



D6871

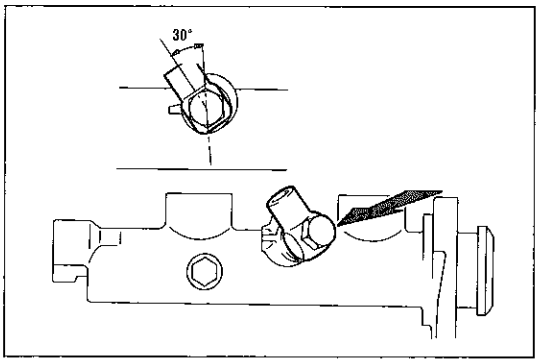
4　ユニオン組み付け

(1) ユニオンとマスタ　シリンダの合わせマークに合わせて，新品のガスケツト2個を介して，ユニオンをユニオン　ボルトで組み付ける。

T＝375kg・cm

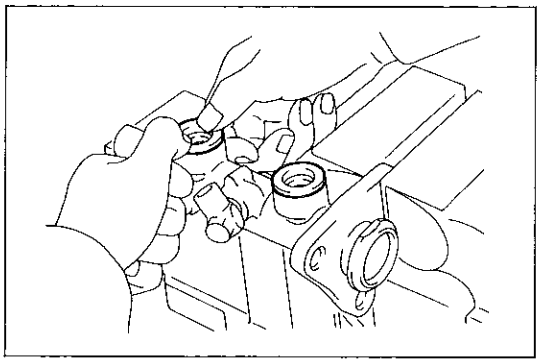
注意　ガスケツトはユニオンの両面に組み付ける。

無断複製禁止



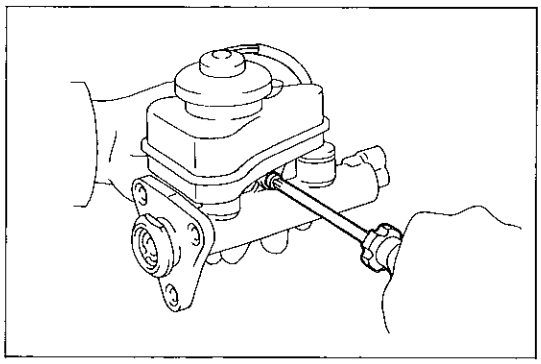
D 6872

(2) ユニオンが図に示す位置であることを確認する。


D 6673

5　マスタ　シリンダ　リザーバ　グロメット組み付け

(1) グロメット2個をマスタ　シリンダ　ボデーに組み付ける。

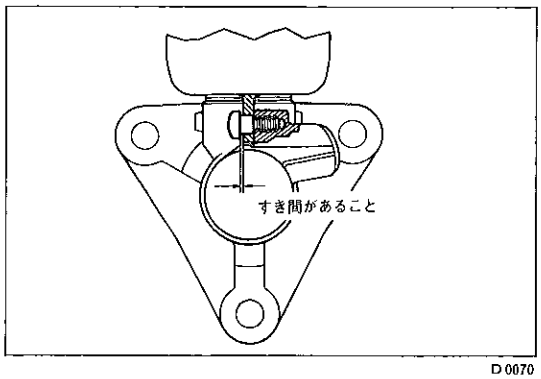

D 6863

6　マスタ　シリンダ　リザーバ組み付け

(1) マスタ　シリンダ　リザーバにストレーナおよびキャップを組み付ける。

(2) マスタ　シリンダ　リザーバを押し付けて，スクリュを締め付ける。

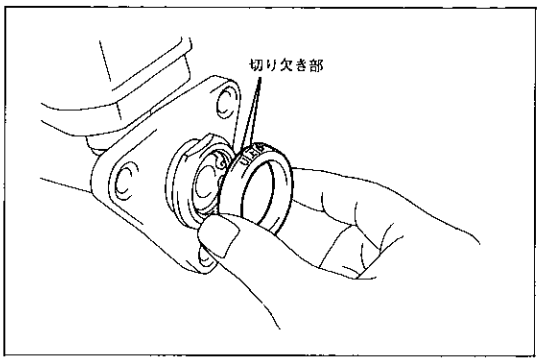
T＝17.5kg·cm



D 0070

注意　スクリュの頭部とリザーバ本体の間のすき間にワッシャなどをはさまない。

〈参考〉 マスタ　シリンダとリザーバの結合は，グロメット方式を採用している。



D 6874

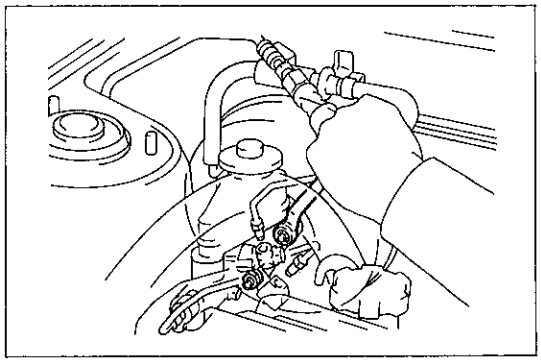
マスタ　シリンダ取り付け

1　マスタ　シリンダのブーツ取り付け面清掃

2　マスタ　シリンダ　ブーツ取り付け

(1) ブーツの切り欠き部を上にして取り付ける。

無断複製禁止


D6860

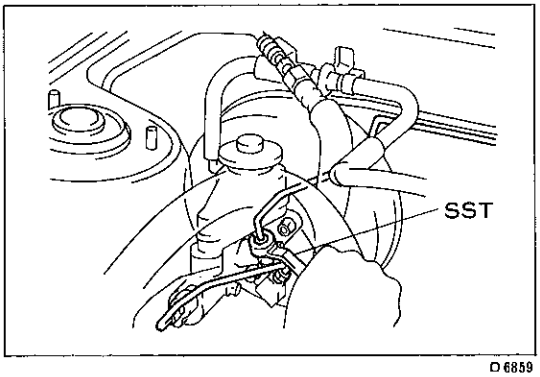
3　ブレーキ　ブースタ　プツシユ　ロツドのすき間調整

（S 7-23参照）

4　マスタ　シリンダ取り付け

(1)　ブレーキ　ブースタに新品のガスケツトを介して，マスタ　シリンダをナツト3個で取り付ける。

T＝130kg･cm



D6859

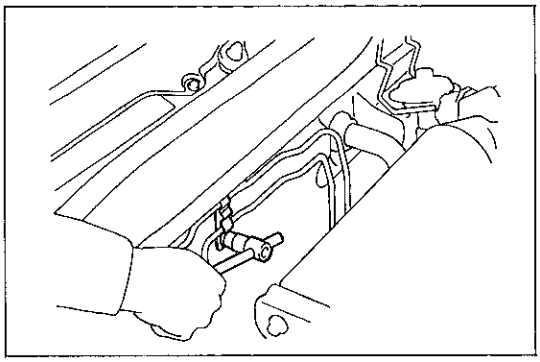
5　ブレーキ　チユーブ接続

(1)　マスタ　シリンダにブレーキ　チユーブ2本を仮付けする。

(2)　ＳＳＴを使用して，ブレーキ　チユーブを締め付ける。

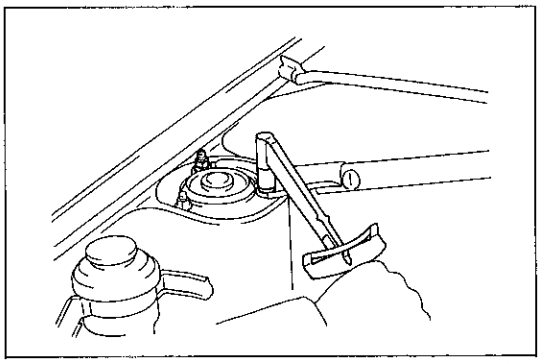
ＳＳＴ　09751-36011

T＝155kg･cm


D6858

6　クランプ取り付け

T＝50kg･cm

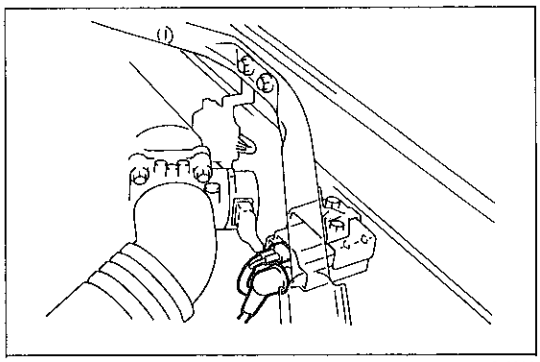

D6875

7　フロント　サスペンシヨン　アツパ　ツウ　カウル　ブレース取り付け（ＳＴ162系）

(1)　ボルト2本およびナツト4個で，ブレースを取り付ける。

T＝375kg･cm（ナツト）

T＝210kg･cm（ボルト）


D6916

8　コイル　レジステイブ　コードおよびコネクタ取り付け

無断複製禁止

9　レベル　ウオーニング　スイツチ　コネクタ接続

10　ブレーキ　フルード注入

11　ブレーキ系統のエア抜き

（S 7-6参照）

(1) マスタ　シリンダを分解または交換した時，あらかじめマスタシリンダ内にブレーキ　フルードを充てんしてからエア抜き作業を行う。

12　ブレーキ　フルード漏れ点検

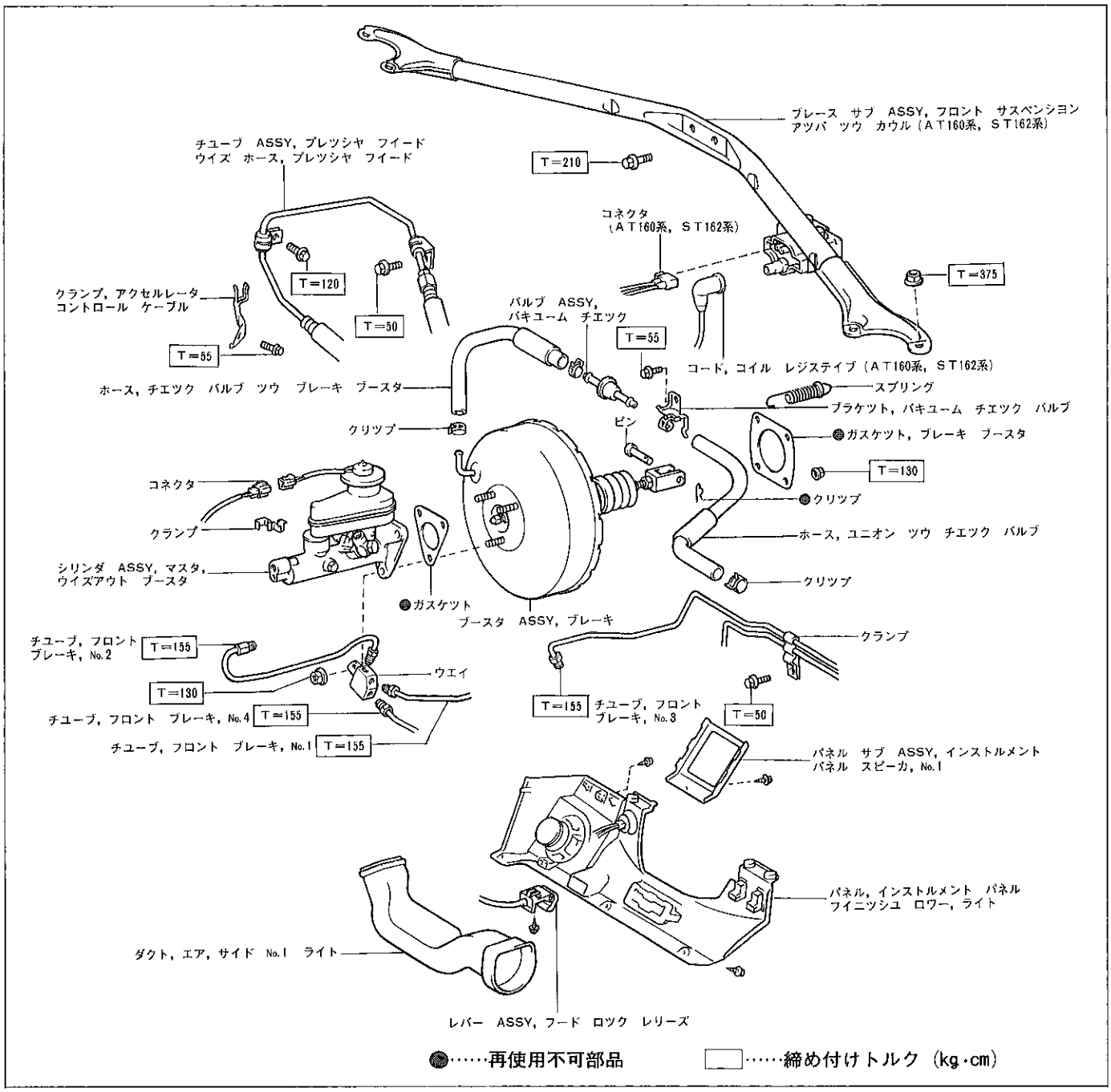
13　ブレーキ　ペダル点検・調整

（S 7-4参照）

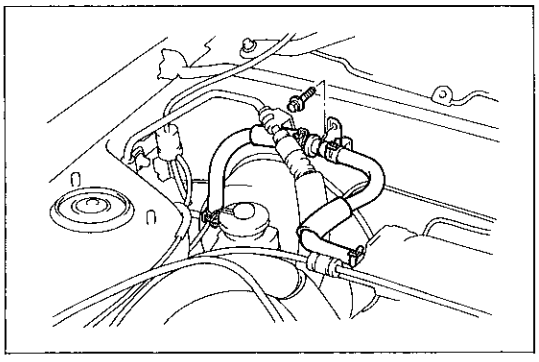
無断複製禁止

ブレーキ　ブースタ

構成図（脱着）



D6876



D6877

ブレーキ　ブースタ取りはずし

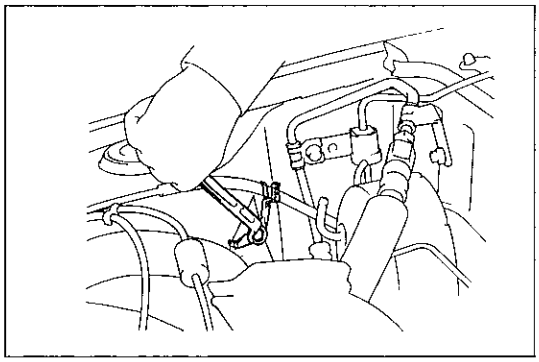
1　マスタ　シリンダ取りはずし
（S 7－8参照）

2　バキユーム　ホース切り離し（AT160系）

3　バキユーム　ホース　ASSY取りはずし（ST160系，ST162系）

(1) ボルトを取りはずし，バキユーム　ホース　ASSYを取りはずす。

無断複製禁止

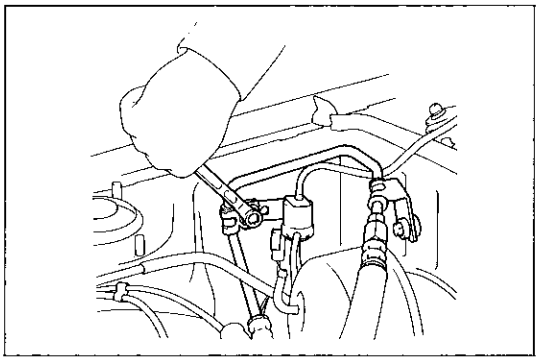


D6878

4　アクセルレータ　コントロール　ケーブル　クランプ取りはずし

(1)　アクセルレータ　ワイヤをクランプから取りはずす。

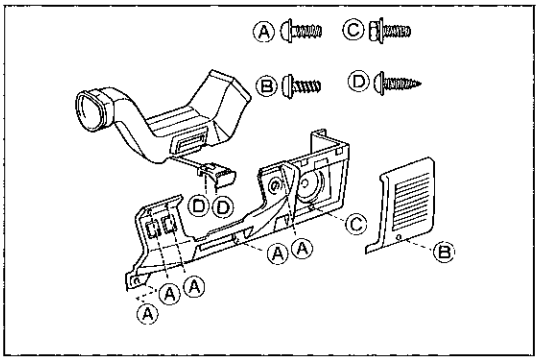
(2)　ボルトを取りはずし，クランプを取りはずす。



D6879

5　プレツシヤ　フイード　チユーブ固定ボルト取りはずし(ＳＴ160系，ＳＴ162系)

(1)　プレツシヤ　フイード　チユーブ固定ボルト２本を取りはずし，インテーク　マニホルド側へ移す。



D6984

6　インストルメント　パネル　スピーカ　No.1　パネル取りはずし

(1)　スクリユを取りはずし，スピーカ　No.1　パネルを取りはずす。

7　フード　ロツク　レリーズ　レバー取りはずし

(1)　スクリユ２本を取りはずし，フード　ロツク　レリーズ　レバーを取りはずす。

8　インストルメント　パネル　フイニツシユ　ロワー　ライト　パネル取りはずし

(1)　スクリユ５本，ボルトおよびコネクタを取りはずし，フイニツシユ　ロワー　ライト　パネルを取りはずす。

9　エア　サイド　No.1　ライト　ダクト取りはずし

10　ブレーキ　ペダル　リターン　スプリング取りはずし

11　クリツプおよびピン取りはずし

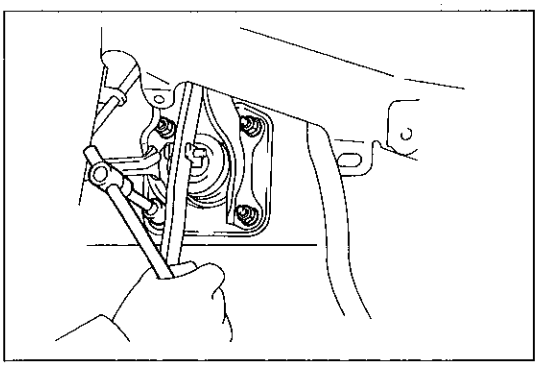
12　ブレーキ　ブースタ取りはずし

(1)　ナツト４個を取りはずし，ブレーキ　ブースタを少し引き出す。

(2)　プツシユ　ロツド　クレビスを取りはずす。

(3)　ブレーキ　ブースタおよびガスケツトを取りはずす。

注意　ボデーを傷つけない。

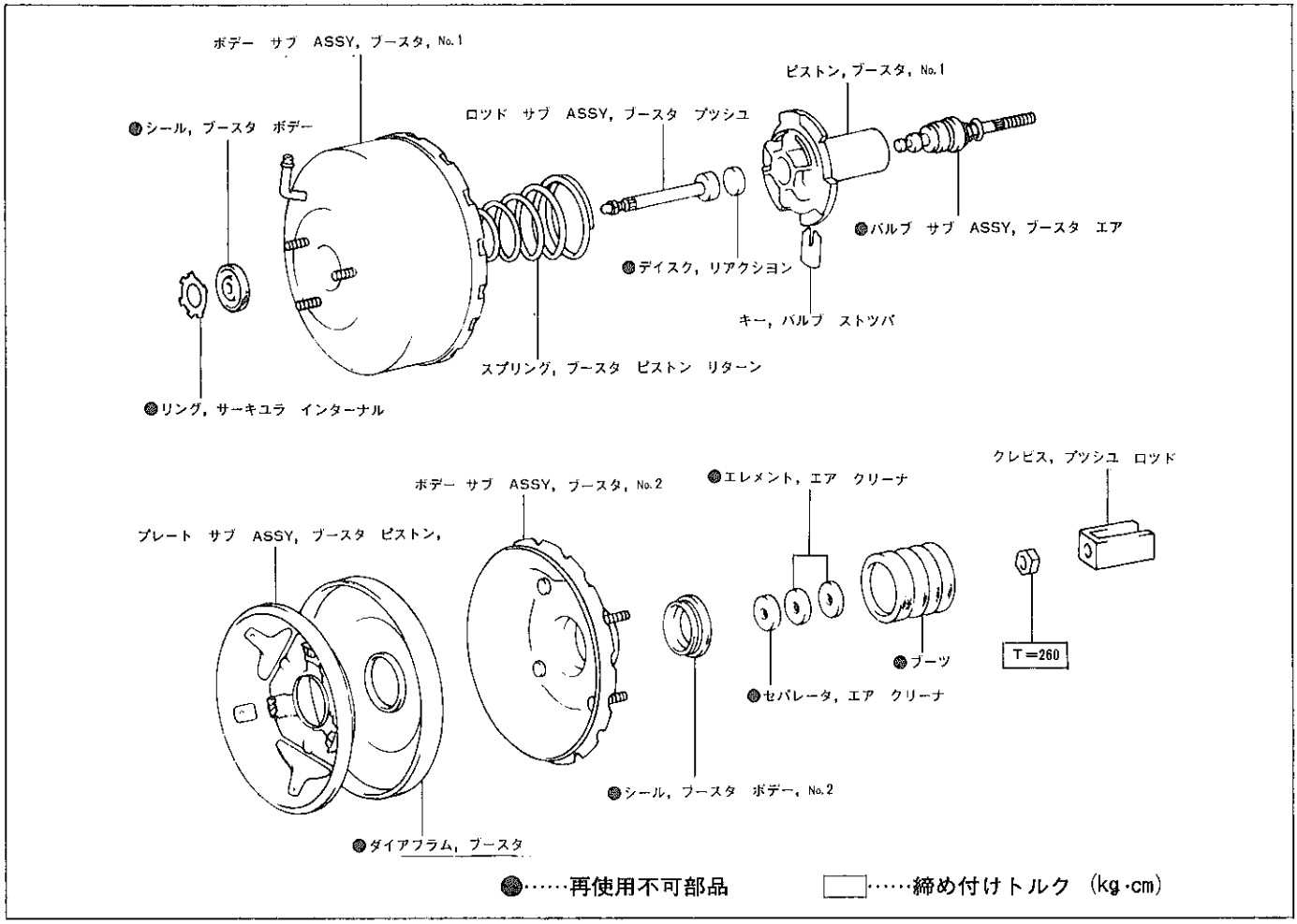


D6880

無断複製禁止

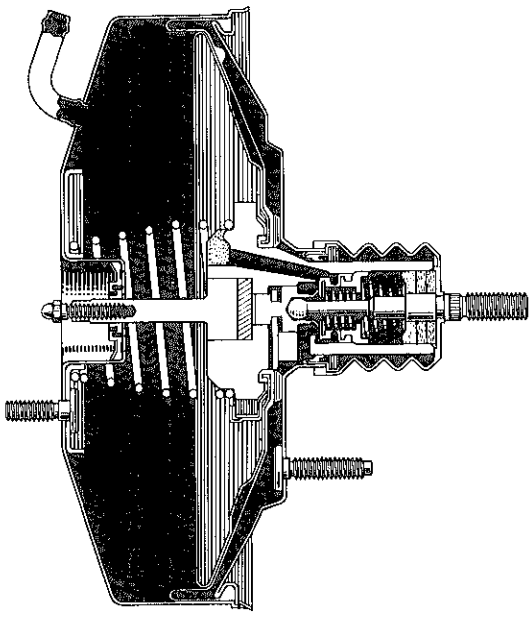
ブレーキ　ブースタ（アイシン精機製）

構　成　図



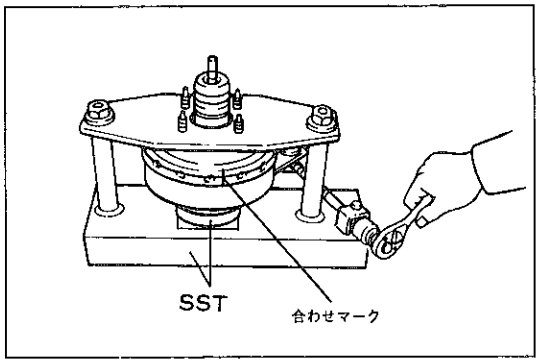
D0073

断　面　図

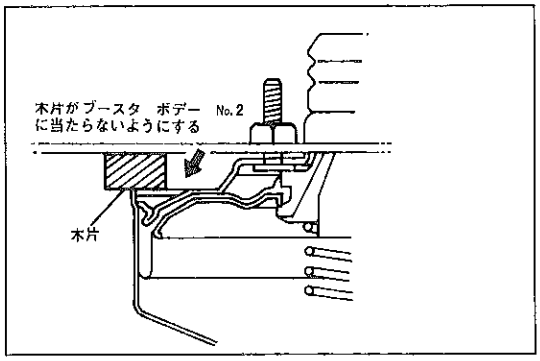


D6821

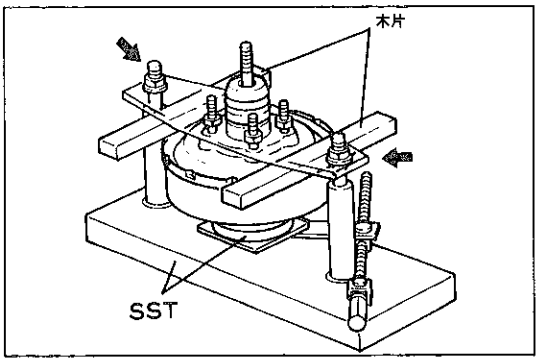
無断複製禁止



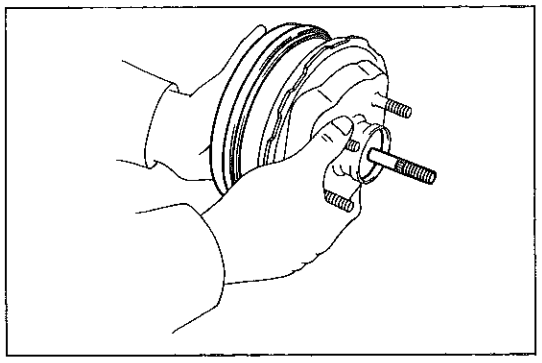
B1584

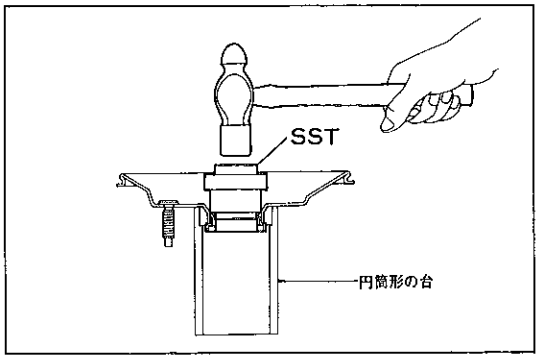


A1853



A1852


D3622



D8354

ブレーキ　ブースタ分解

1　ナット取りはずし

2　ブースタ　ボデー　No.1，No.2切り離し

(1)　ブースタ　ボデー　No.1とNo.2に合わせマークを付ける。

(2)　ＳＳＴにブースタを取り付け，左右のセット　ナットを均等に締め付ける。

ＳＳＴ　09753-00012　09753-40010

Ｔ＝50kg・cm

注意　ＳＳＴのセット　ナットの締めすぎはブースタ　ボデーを変形させるおそれがある。

(3)　ＳＳＴのスクリユを時計方向に回転させ，ブースタ　ボデーのかん合をはずす。

(4)　ＳＳＴのアツパ　プレートの左右のナットをゆるめ，木片（またはハンマの柄）を両側にはさむ。

注意　木片がブースタ　ボデー　No.2に当たらない。

(5)　左図のように4個のナットを均等に締め付け，ブースタ　ボデー　No.1とNo.2を分離する。

(6)　ＳＳＴのセット　ナットを取りはずし，ブースタ　ピストン　リターン　スプリングおよびプツシユ　ロツドを取りはずす。

3　ブーツ取りはずし

4　ブースタ　ダイアフラム　ＡＳＳＹ取りはずし

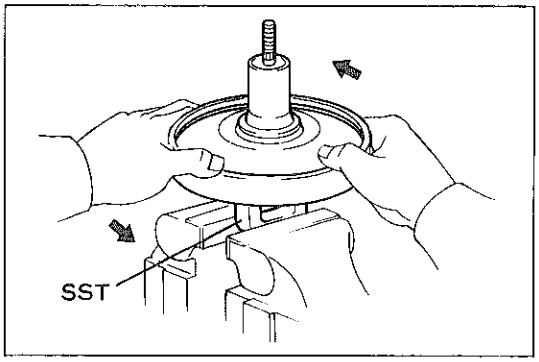
(1)　ブースタ　ダイアフラム　ＡＳＳＹをブースタ　ボデー　No.2から取りはずす。

5　ブースタ　ボデー　No.2　シール取りはずし

(1)　ＳＳＴを使用して，ブースタ　ボデー　No.2からブースタ　ボデー　No.2　シールを取りはずす。

ＳＳＴ　09753-30020

無断複製禁止



B1240

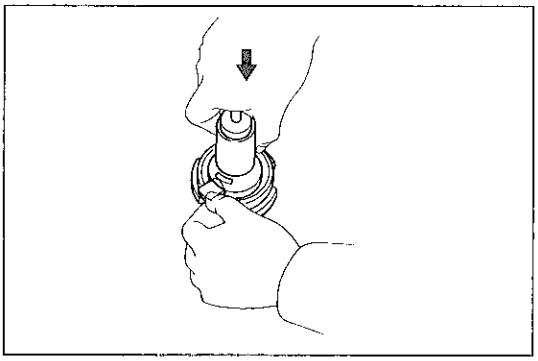
6　ブースタ　ピストン切り離し

(1)　ＳＳＴをバイスに固定する。

ＳＳＴ　09736-27010

(2)　ＳＳＴの上にブースタ　ピストン　ＡＳＳＹをセットし，反時計方向に回転させ，ブースタ　ピストン　プレートとブースタ　ピストン　No.1を切り離す。

(3)　ブースタ　ピストン　プレートからダイアフラムを取りはずす。

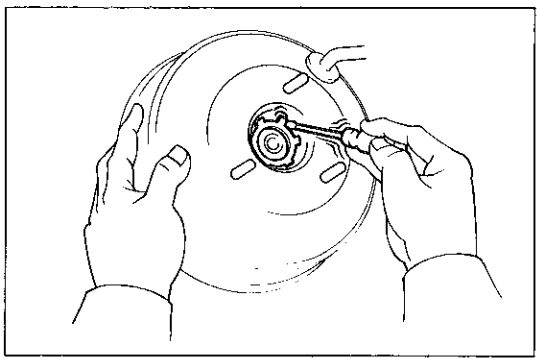

B1241

7　ブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹ取りはずし

(1)　ブースタ　ピストン　No.1の差し込み穴を下にしてブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹを押して，バルブ　ストツパキーを取りはずす。

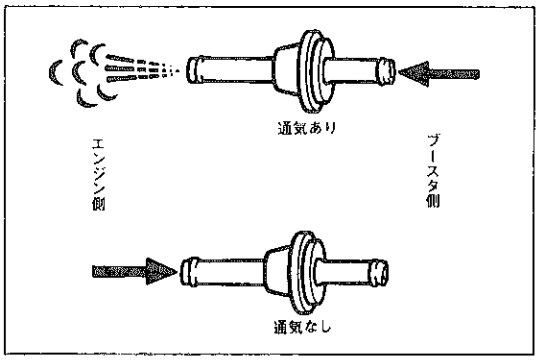
(2)　エア　クリーナ　セパレータ，エア　クリーナ　エレメント２個とともにブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹを引き抜く。

8　リアクシヨン　デイスク取りはずし


D0074

9　ブースタ　ボデー　No.1　シール取りはずし

(1)　⊖薄刃ドライバを使用して，サーキユラ　インターナル　リングおよびブースタ　ボデー　シールをブースタ　ボデー　No.1から取りはずす。



D0568

チエツク　バルブ点検

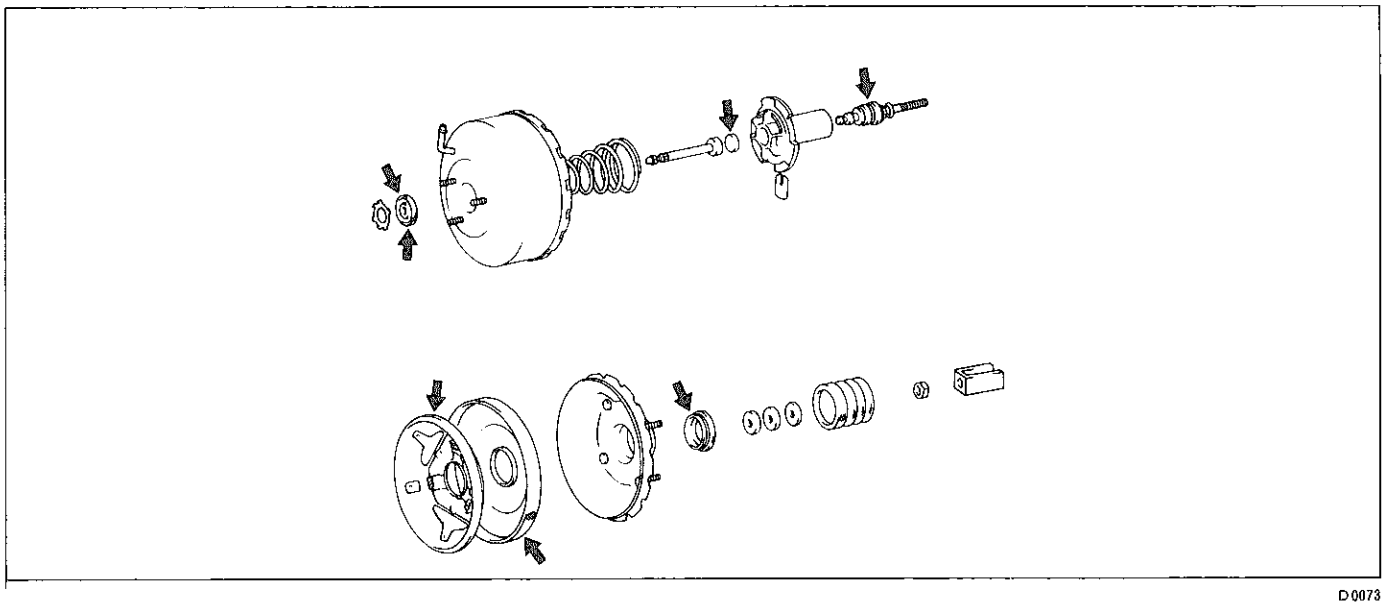
(1)　ブースタ側からエンジン側に通気があることを，また，エンジン側からブースタ側に通気のないことを点検する。不良の場合は，チエツク　バルブを交換する。

無断複製禁止

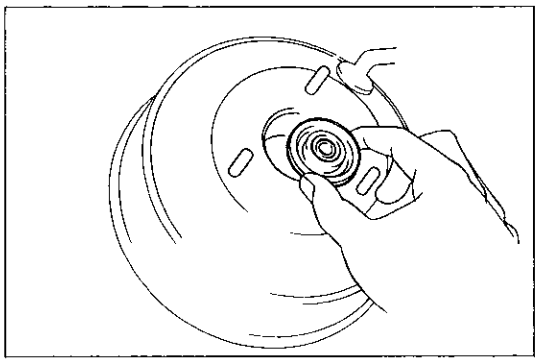
ブレーキ　ブースタ組み付け

1　シリコン　グリース塗布

(1)　矢印の示す部位にシリコン　グリースを塗布する。



D0073

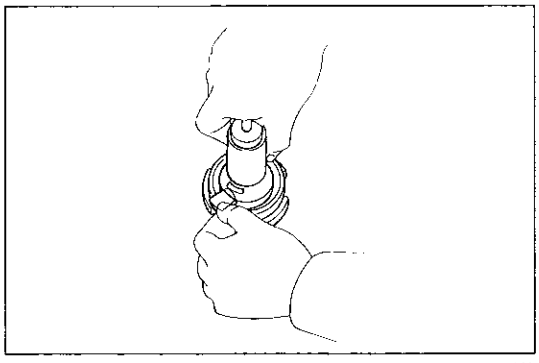


D0075

2　ブースタ　ボデー　シール組み付け

(1)　新品のブースタ　ボデー　シールをブースタ　ボデー　No.1に組み付ける。

(2)　新品のサーキュラ　インターナル　リングにて固定する。

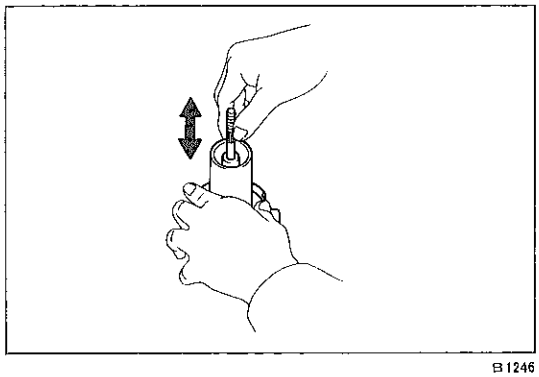


D1241

3　ブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹ組み付け

(1)　ブースタ　ピストン　No.1に新品のブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹをそう入する。

(2)　ブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹを押してバルブ　ストツパ　キーを組み付ける。

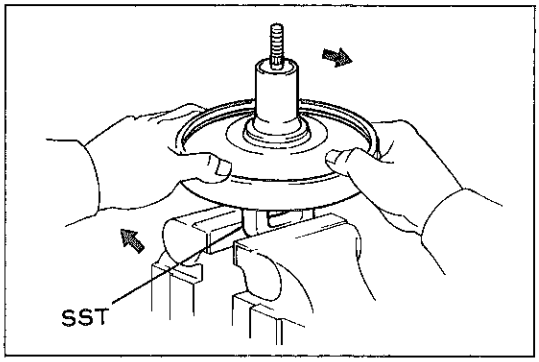


B1246

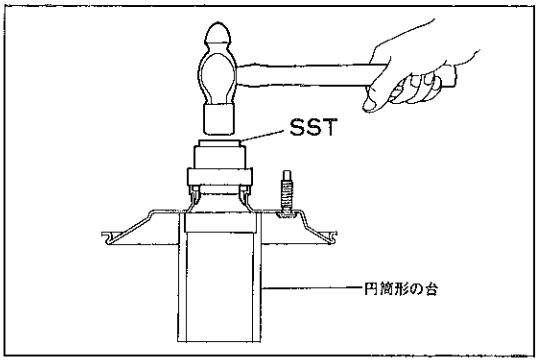
(3)　ブースタ　エア　バルブ　サブ　ＡＳＳＹを引つ張つて確実にキーが効いていることを確認する。

4　リアクション　デイスク(新品)組み付け

無断複製禁止



B1240



D8355

5　ブースタ　ピストン組み付け

(1) ブースタ　ピストン　プレートに新品のダイアフラムを組み付ける。

(2) ブースタ　ピストン　プレートにブースタ　ピストン　No.1をそう入する。

(3) ＳＳＴをバイスに固定する。

ＳＳＴ　09736-27010

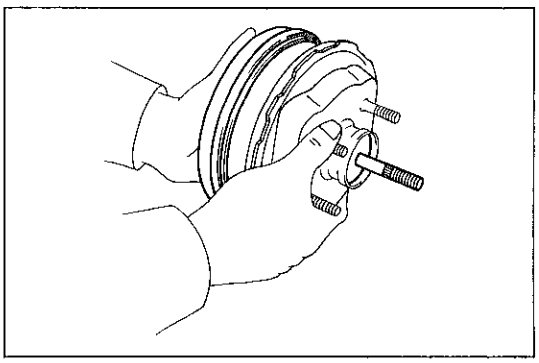
(4) ＳＳＴの上にブースタ　ピストンをセットし，時計方向に回転させ，ブースタ　ピストン　プレートとブースタ　ピストン　No.1を固定する。

(5) ピストンの溝にリテーナのツメが確実にはまっていることを点検する。

6　ブースタ　ボデー　No.2　シール取り付け

(1) ＳＳＴを使用して，新品のブースタ　ボデー　No.2　シールをブースタ　ボデー　No.2に打ち込む

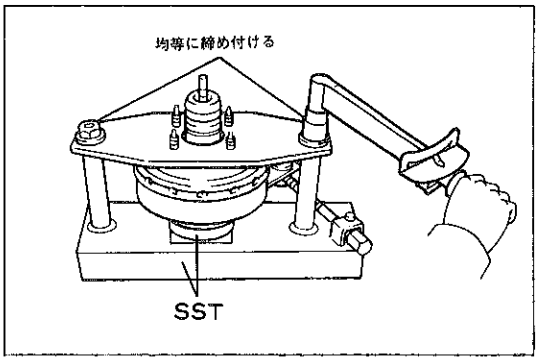
ＳＳＴ　09753-30020


D3622

7　ブースタ　ダイアフラム　ＡＳＳＹ取り付け

8　エア　クリーナ　セパレータおよびエレメント組み付け

(1) 新品のセパレータおよびエレメント２個を組み付ける。



D1458

9　ブースタ　ボデー　No.1，No.2結合

(1) ブースタ　ボデー　No.1にブースタ　ピストン　リターン　スプリングおよびプツシユ　ロッドを組み付ける。

(2) ＳＳＴを使用して，ブースタ　ピストン　リターン　スプリングを押し縮める。

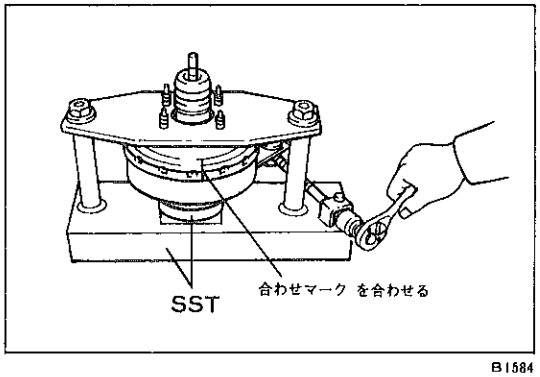
ＳＳＴ　09753-00012　09753-40010

(3) ＳＳＴのセット　ナットを左右均等に締め付け，かん合位置にする。

Ｔ＝50kg・cm

注意　ＳＳＴのセット　ナットの締めすぎはブースタ　ボデーを変形させるおそれがある。

(4) ＳＳＴのスクリユを反時計方向に回転させ，合わせマークが合うまでかん合させる。回転が重い場合は，ブースタ　ボデーNo.1とNo.2が接触する部分に少量のシリコン　グリースを塗布する。

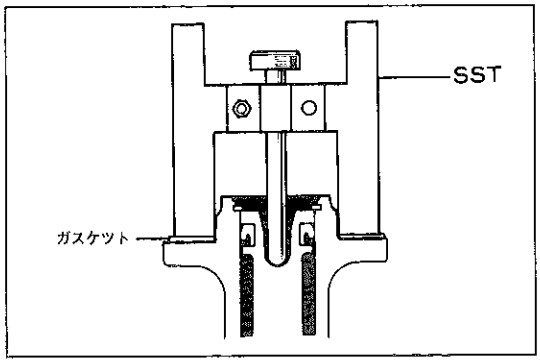


B1584

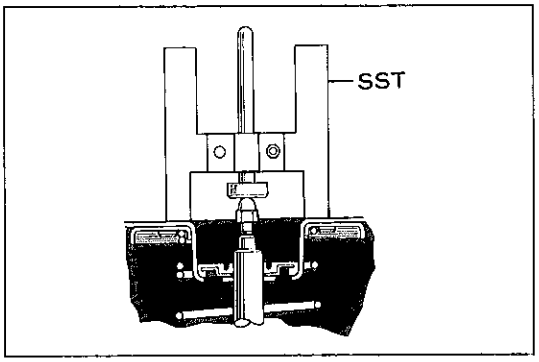
10　ブーツ(新品)組み付け

11　ナット組み付け

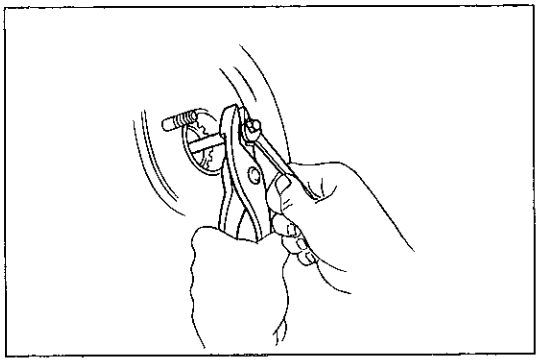
無断複製禁止

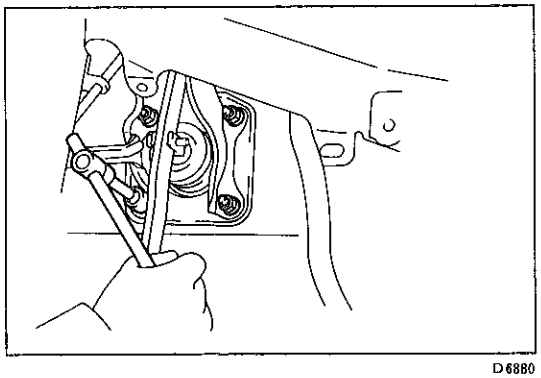


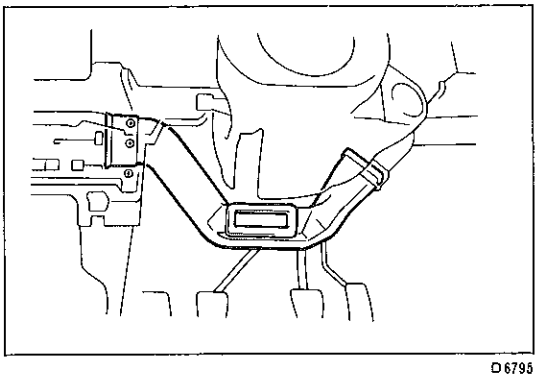
B1254



D1226


B1256


D6880


D6795

ブレーキ　ブースタ取り付け

1　ブレーキ　ブースタ　プツシユ　ロツドすき間調整

(1)　ＳＳＴのロツドがマスタ　シリンダのピストンに軽く当たる位置にセツトする。

ＳＳＴ　09737-00010

注意　マスタ　シリンダにガスケツトを取り付けて行う。

(2)　ＳＳＴを反転させて，ブースタの上にセツトする。

(3)　ＳＳＴのロツドとプツシユ　ロツドのすき間が０になるようにプツシユ　ロツドの長さを調整する。

2　ブレーキ　ブースタ取り付け

(1)　新品のガスケツトを介して，ブレーキ　ブースタを取り付ける。

(2)　プツシユ　ロツド　クレビスをブレーキ　ブースタに取り付ける。

(3)　ナツト４個でブラケツトに取り付ける。

Ｔ＝130kg･cm

3　ピンおよびクリツプ取り付け

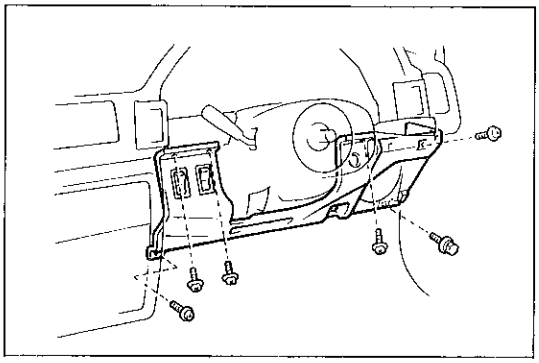
(1)　ピンにキヤツスル　ＭＰ　グリース　No.２を塗布する。

(2)　プツシユ　ロツド　クレビスにピンをそう入し，クリツプにて固定する。

4　ブレーキ　ペダル　リターン　スプリング取り付け

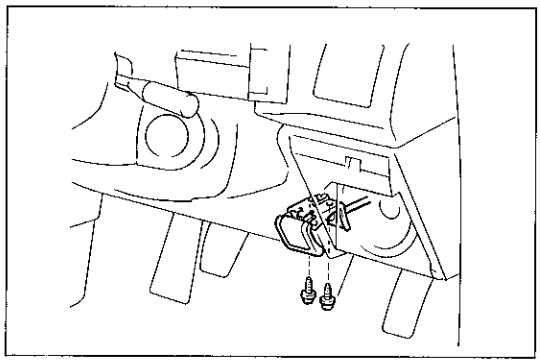
5　エア　サイド　No.１　ライト　ダクト取り付け

無断複製禁止


U3234

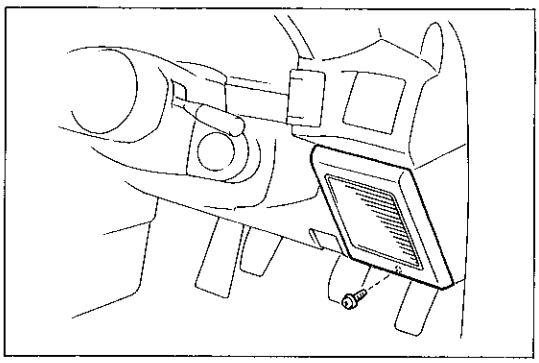
6　インストルメント　パネル　フイニツシユ　ロワー　ライト　パネル取り付け

(1) 各コネクタを接続し，スクリユ５本およびボルトでフイニツシユ　ロワー　ライト　パネルを取り付ける。


D6794

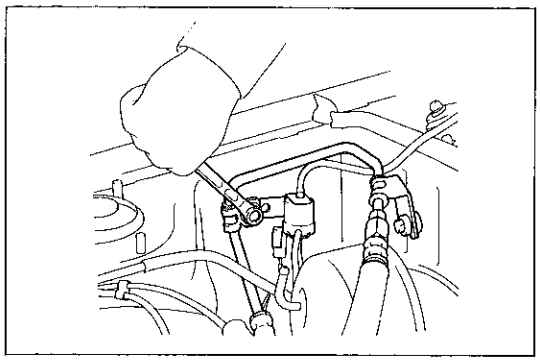
7　フード　ロツク　レリーズ　レバー取り付け

(1) スクリユ２本でフード　ロツク　レリーズ　レバーを取り付ける。


D6793

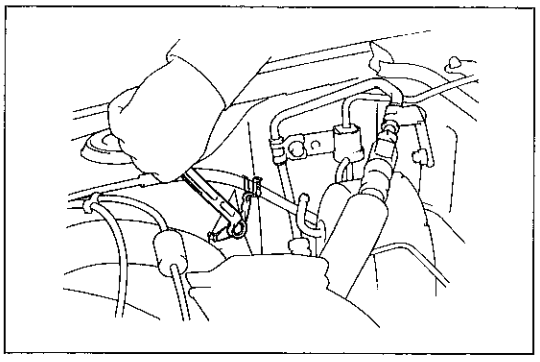
8　インストルメント　パネル　スピーカ　No.1　パネル取り付け

(1) スクリユでスピーカ　No.1　パネルを取り付ける。


D6879

9　プレツシヤ　フイード　チユーブ固定ボルト取り付け（ＳＴ160系，ＳＴ162系）

(1) ボルト２本でプレツシヤ　フイード　チユーブを固定する。

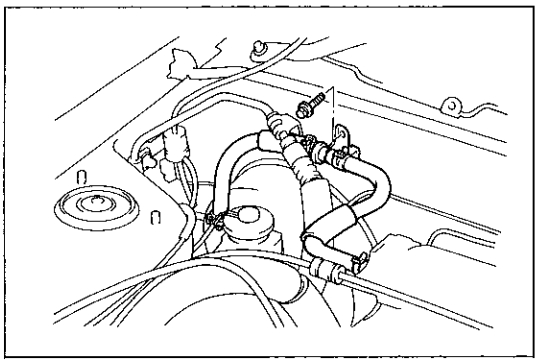

D6878

10　アクセルレータ　コントロール　ケーブル　クランプ取り付け

(1) ボルトでアクセルレータ　コントロール　ケーブル　クランプを取り付ける。

(2) アクセルレータ　ワイヤをクランプに取り付ける。

無断複製禁止


D6877

11　バキユーム　ホース　ＡＳＳＹ取り付け（ＳＴ162系）

(1) バキユーム　ホース　ＡＳＳＹをブレーキ　ブースタおよびインテーク　マニホルドに取り付け，ボルトで固定する。

12　バキユーム　ホース接続（ＡＴ160系）

13　マスタ　シリンダ取り付け

（Ｓ 7-13参照）

14　ブレーキ　フルード注入

15　ブレーキ系統のエア抜き

（Ｓ 7-6 参照）

16　ブレーキ　フルード漏れ点検

17　ブレーキ　ペダル点検・調整

（Ｓ 7-4 参照）

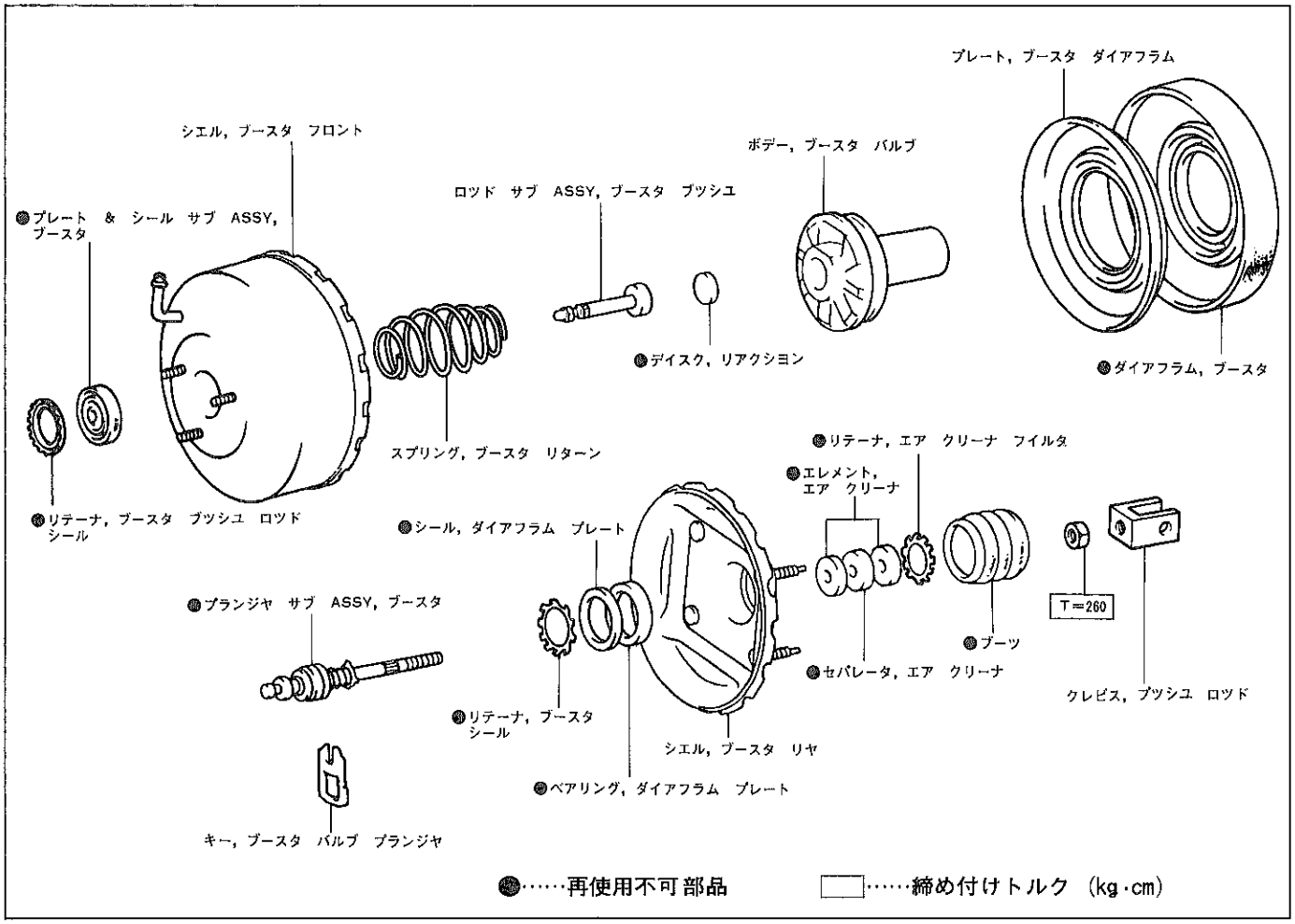
18　ブレーキ　ブースタ作動点検

（Ｓ 7-5 参照）

無断複製禁止

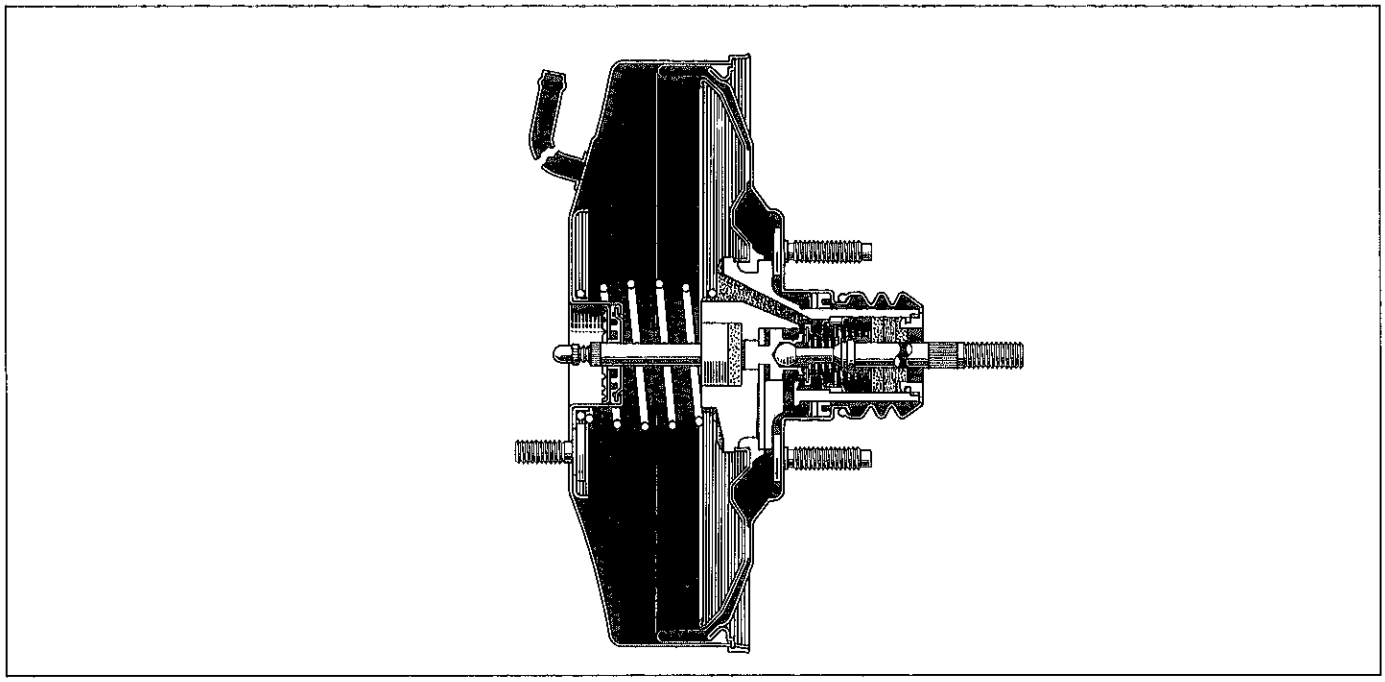
ブレーキ　ブースタ（自動車機器製）

構　成　図



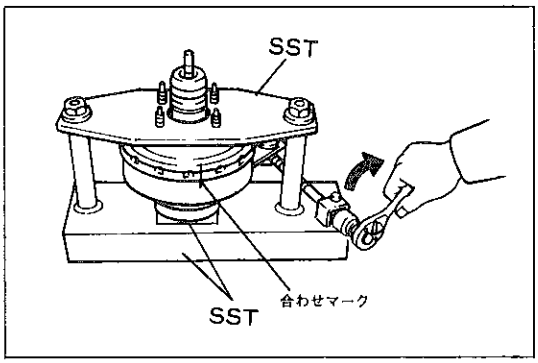
D6881

断　面　図

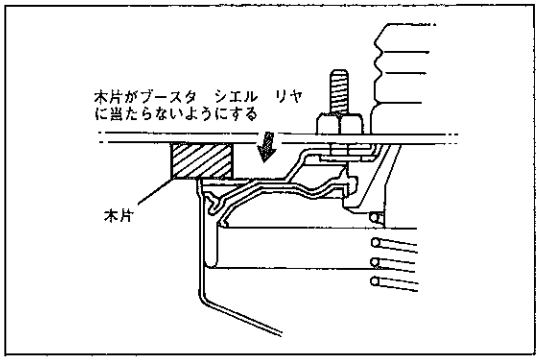


D6822

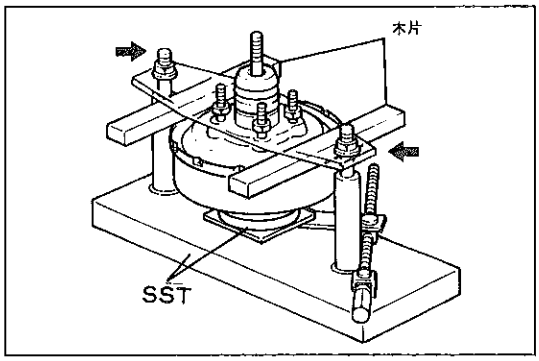
無断複製禁止



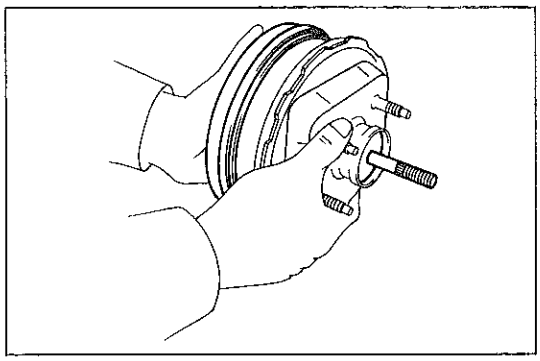
B1584

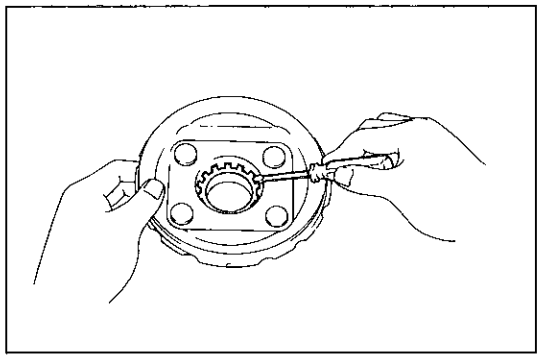


A1853



A1852


D2506


D2850

ブレーキ　ブースタ取りはずし
(S 7-16参照)

ブレーキ　ブースタ分解

1　ナット取りはずし

2　ブースタ　シエル　フロント，リヤ切り離し

(1)　ブースタ　シエル　フロントとリヤに合わせマークを付ける。

(2)　ＳＳＴにブースタを固定する。

ＳＳＴ　09753-00012　09753-40010

Ｔ＝50kg･cm

注意　ＳＳＴのセット　ナットの締めすぎはブースタ　シエルを変形させるおそれがある。

(3)　ＳＳＴのスクリユを時計方向に回転させ，ブースタ　シエルのかん合をはずす。

(4)　ＳＳＴのアツパ　プレートの左右のナットをゆるめ，木片(またはハンマの柄)を両側にはさむ。

注意　木片がブースタ　シエル　リヤに当たらないこと。

(5)　左図のように4個のナットを均等に締め付け，ブースタ　シエル　フロントとリヤを分離する。

(6)　ＳＳＴのセット　ナットを取りはずし，ブースタ　リターンスプリングおよびプツシユ　ロツドを取りはずす。

3　ブーツ取りはずし

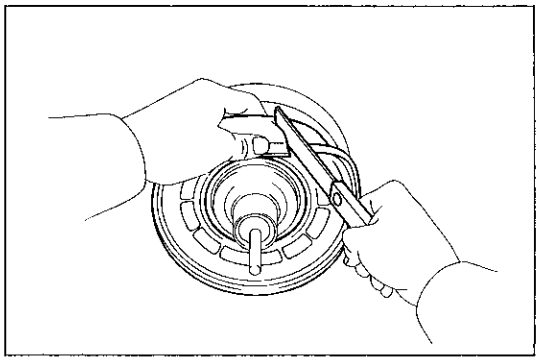
4　ブースタ　ダイアフラム　ＡＳＳＹ取りはずし

(1)　ブースタ　ダイアフラム　ＡＳＳＹをブースタ　シエル　リヤより取りはずす。

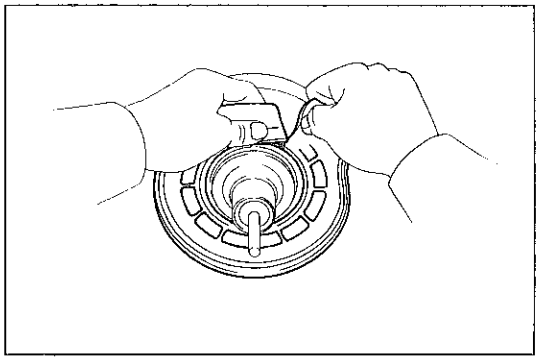
5　ダイアフラム　プレート　シールおよびベアリング取りはずし

(1)　⊖薄刃ドライバを使用して，ブースタ　シール　リテーナを取りはずし，ダイアフラム　プレート　シールおよびベアリングをリヤ　シエルから取りはずす。

無断複製禁止



B1248



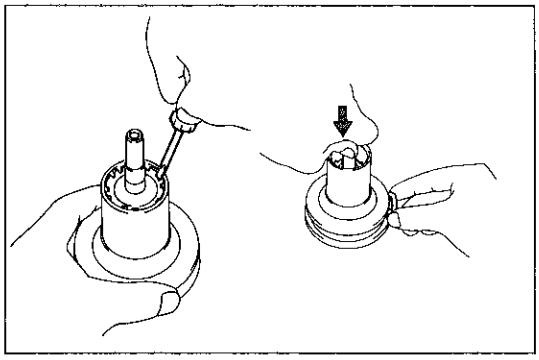
B1249

6　ブースタ　ダイアフラム取りはずし

(1)　カツタを使用して，ダイアフラムに切り込みを入れる。

注意　ダイアフラムに切り込みを入れる際，ブースタ　バルブ　ボデーを傷つけない。

(2)　ダイアフラムを手で引つぱつて取りはずすとともに，ブースタ　バルブ　ボデーを取りはずす。



D2510　D2511

7　ブースタ　バルブ　プランジヤ　サブ　ＡＳＳＹ取りはずし

(1)　⊖ドライバを使用して，エア　クリーナ　フイルタ　リテーナをはずし，エア　クリーナ　フイルタ２個およびエア　クリーナ　セパレータを取りはずす。

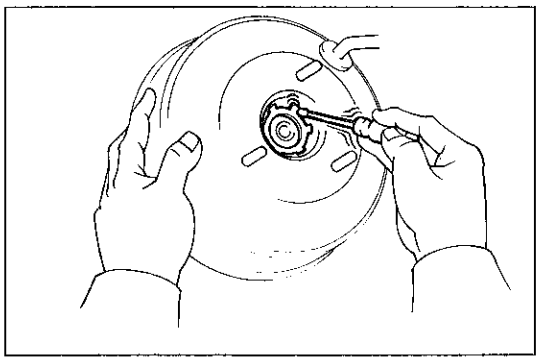
(2)　ブースタ　プランジヤ　サブ　ＡＳＳＹを押して，バルブ　プランジヤ　キーを取りはずす。

(3)　ブースタ　バルブ　ボデーからブースタ　プランジヤ　サブ　ＡＳＳＹを取りはずす。

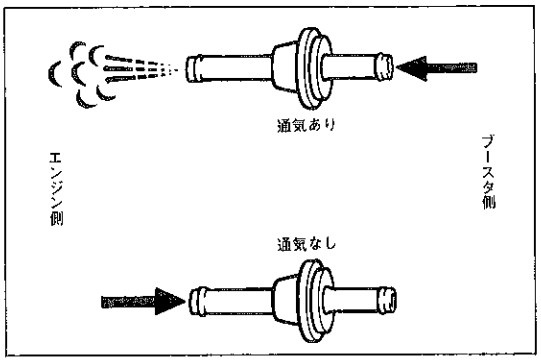
8　リアクシヨン　デイスク取りはずし

9　ブースタ　プレート　＆　シール取りはずし

(1)　⊖薄刃ドライバを使用して，ブースタ　プツシユ　ロツド　シール　リテーナをはずし，ブースタ　プレート　＆　シールをフロント　シエルから取りはずす。



D0074



D0568

チエツク　バルブ点検

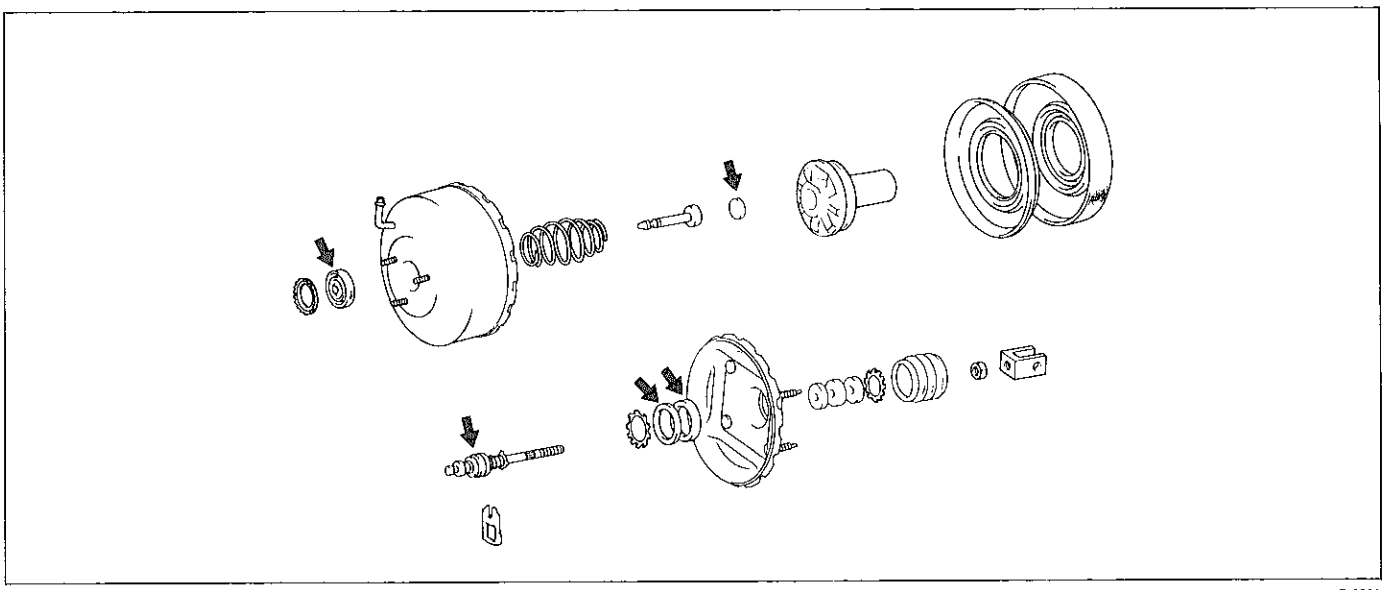
(1)　ブースタ側からエンジン側に通気があることを，また，エンジン側からブースタ側に通気がないことを点検する。不良の場合は，チエツク　バルブを交換する。

無断複製禁止

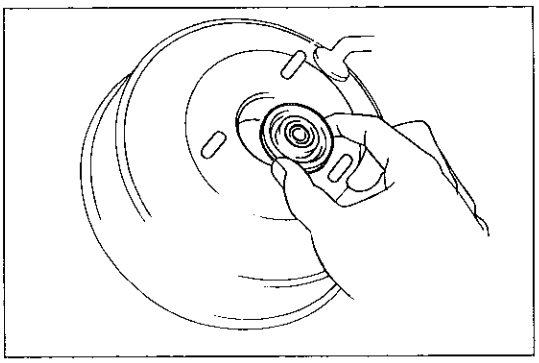
ブレーキ　ブースタ組み付け

1　シリコン　グリース塗布

(1)　矢印の示す部位にシリコン　グリースを塗布する。



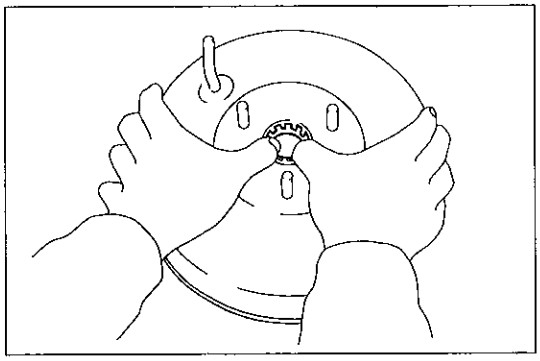
D6881



D0075

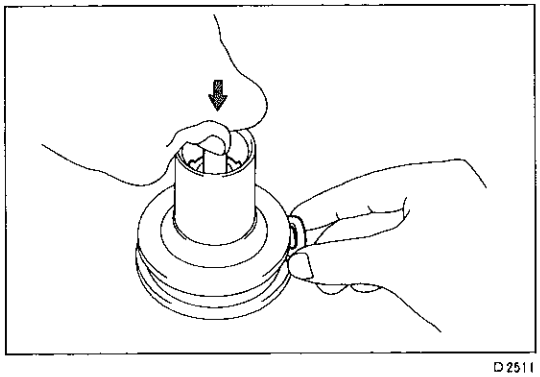
2　ブースタ　プレート　&　シール組み付け

(1)　新品のブースタ　プレート　&　シールをフロント　シエルに組み付ける。



D6882

(2)　新品のブースタ　プツシユ　ロツド　シール　リテーナにて固定する。



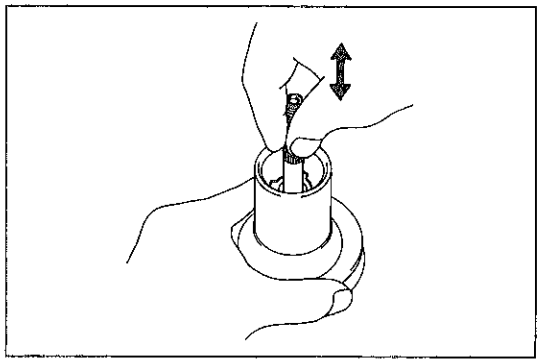
D2511

3　ブースタ　バルブ　プランジヤ　サブ　ＡＳＳＹ組み付け

(1)　バルブ　ボデーに新品のバルブ　プランジヤ　サブ　ＡＳＳＹをそう入する。

(2)　プランジヤ　サブ　ＡＳＳＹを押してバルブ　プランジヤ　キーを組み付ける。

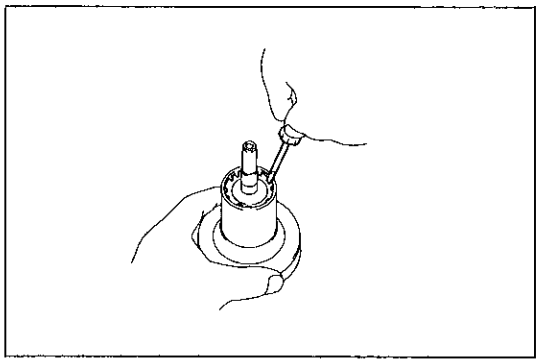
無断複製禁止



D2514

(3) プランジヤ　サブ　ＡＳＳＹを引つ張つて確実にキーが効いていることを点検する。

4　リアクシヨン　デイスク(新品)組み付け

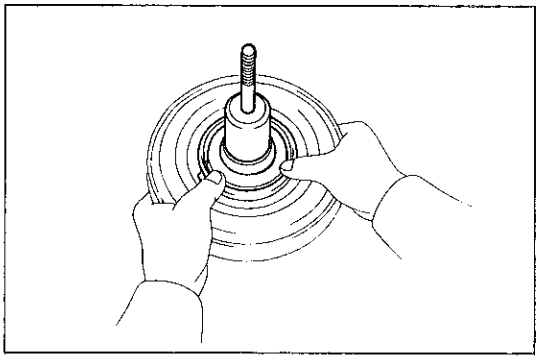


D2510

5　エア　クリーナ　セパレータおよびフイルタ組み付け

(1) 新品のエア　クリーナ　セパレータとエア　クリーナ　フイルタ２個をバルブ　ボデーに組み付ける。

(2) ㊀薄刃ドライバを使用して，新品のエア　クリーナ　フイルタリテーナを組み付ける。

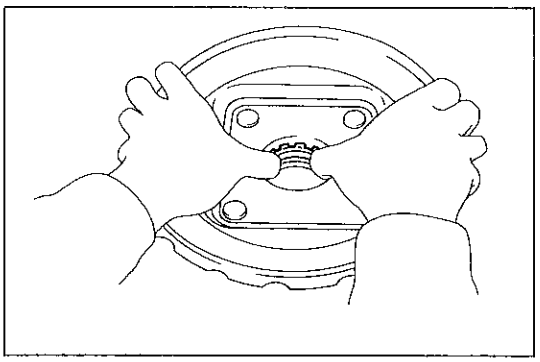


B1252

6　ブースタ　バルブ　ボデーおよびダイアフラム組み付け

(1) ダイアフラム　プレートにバルブ　ボデーをそう入する。

(2) ダイアフラム　プレートとバルブ　ボデーの間に新品のダイアフラムを組み付ける。

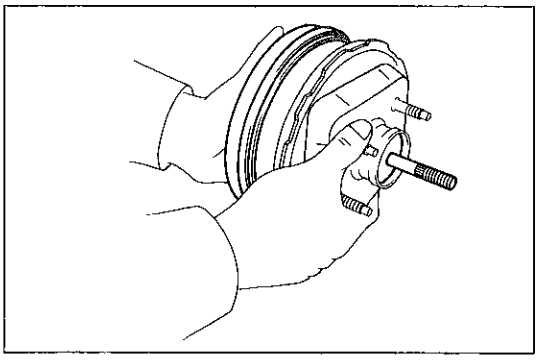


D6883

7　ダイアフラム　プレート　ベアリングおよびシール組み付け

(1) 新品のダイアフラム　プレート　ベアリングおよびシールをリヤ　シエルにそう入する。

(2) 新品のブースタ　シール　リテーナにて固定する。

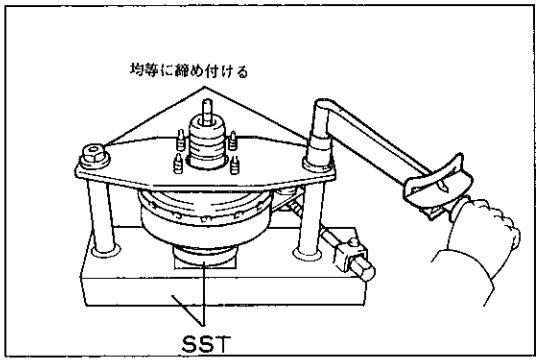


D2506

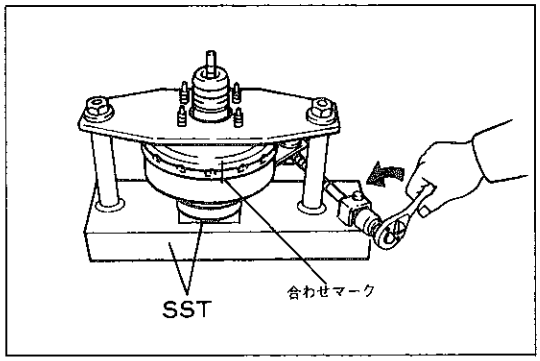
8　ブースタ　ダイアフラム　ＡＳＳＹ組み付け

9　ブーツ(新品)組み付け

無断複製禁止



D1458



B1584

10　ブースタ　シエル　フロント，リヤ結合

(1)　ブースタ　シエル　フロントにブースタ　リターン　スプリングおよびブースタ　プツシユ　ロツドを組み付ける。

(2)　ＳＳＴを使用して，ブースタ　リターン　スプリングを押し縮める。

ＳＳＴ　09753-00012　09753-40010

(3)　ＳＳＴのセツト　ナツトを左右均等に締め付け，かん合位置にする。

Ｔ＝50kg･cm

注意　ＳＳＴのセツト　ナツトの締めすぎはブースタ　ボデーを変形させるおそれがある。

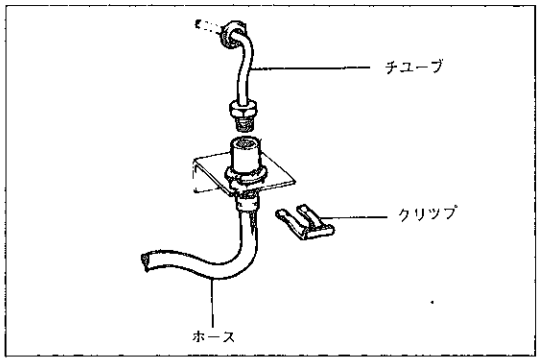
(4)　ＳＳＴのスクリユを反時計方向に回転させ，合わせマークが合うまでかん合させる。回転が重い場合は，ブースタ　シエル　フロントとリヤが接触する部分に少量のシリコン　グリースを塗布する。

11　プツシユ　ロツド　クレビスおよびナツト組み付け

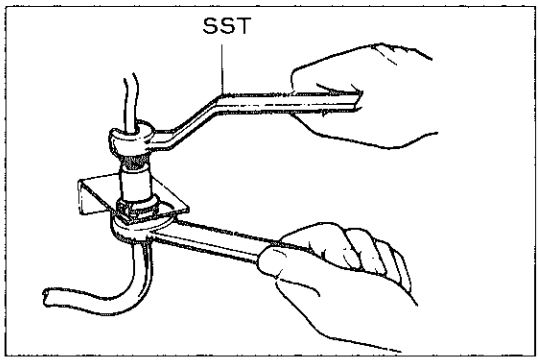
ブレーキ　ブースタ取り付け

（Ｓ 7-23参照）

無断複製禁止



B4808



B4809

フレキシブル　ホースとブレーキ　チユーブ

ホースとチユーブの脱着

1　ホースとチユーブ切り離し

(1)　ホース　クリツプを取りはずす。

(2)　ホース側をスパナで，チユーブ側をＳＳＴでそれぞれ固定してホースとチユーブを切り離す。

ＳＳＴ　09751-36011

2　ホースとチユーブ接続

(1)　ホースとチユーブを仮付けする。

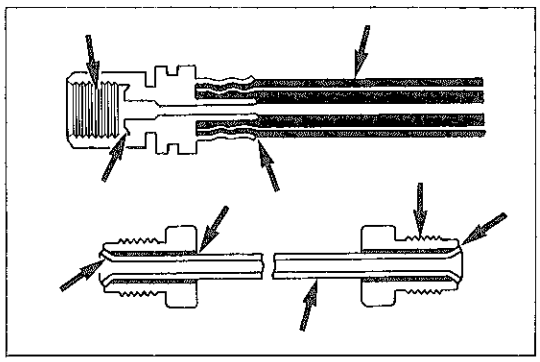
(2)　ホース側をスパナで，チユーブ側をＳＳＴでそれぞれ固定してホースとチユーブを締め付ける。その際ホースにねじれ，張りすぎなどのないことを確認する。

ＳＳＴ　09751-36011

Ｔ＝155kg･cm

(3)　ホース　クリツプを取り付ける。

注意　フレキシブル　ホースの交換後には，ホイールを左右に据え切り状態にし，ホイールおよびボデーと接触しないことを確認する。


D8356

フレキシブル　ホースとブレーキ　チユーブ点検

1　フレキシブル　ホース点検

(1)　ホースの損傷，き裂，隆起などを点検する。

(2)　ねじ山の損傷を点検する。

2　ブレーキ　チユーブ点検

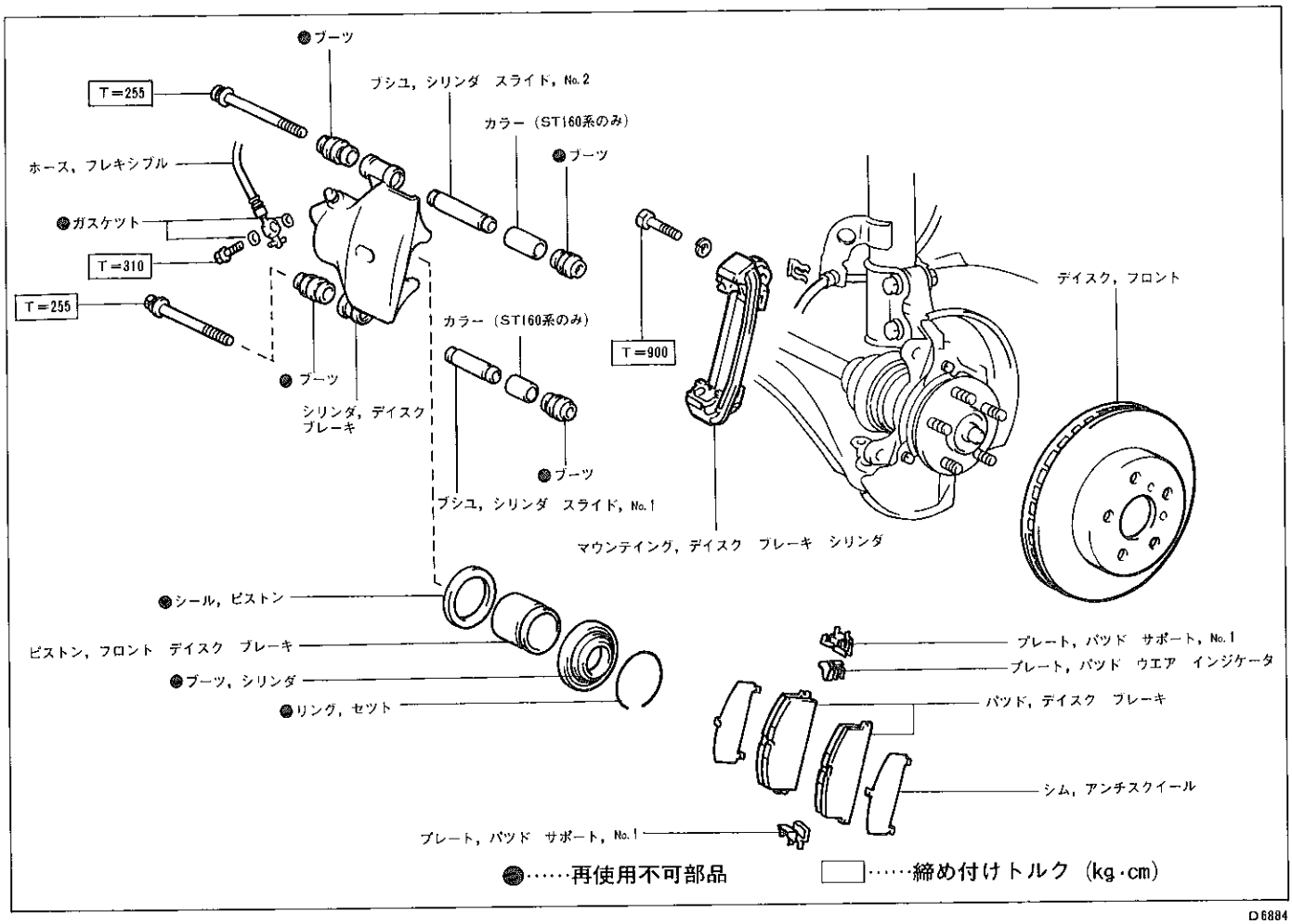
(1)　チユーブの損傷，き裂，へこみ，腐食などを点検する。

(2)　ねじ山の損傷を点検する。

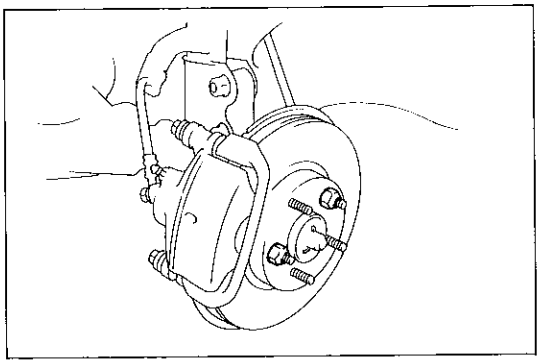
無断複製禁止

フロント　ブレーキ

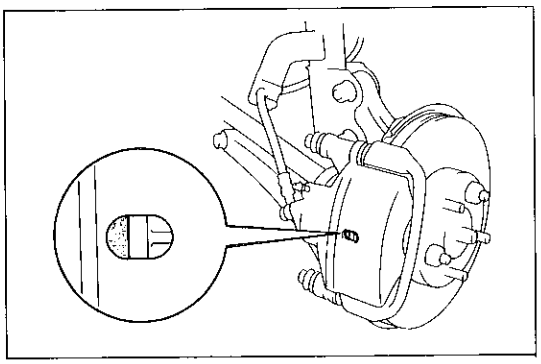
構　成　図



D6884



D6885



D6886

デイスク　ブレーキ　パツドの交換

1　フロント　ホイール取りはずし

2　フロント　デイスク固定

(1) ハブ　ナツトにて，フロント　デイスクを固定する。

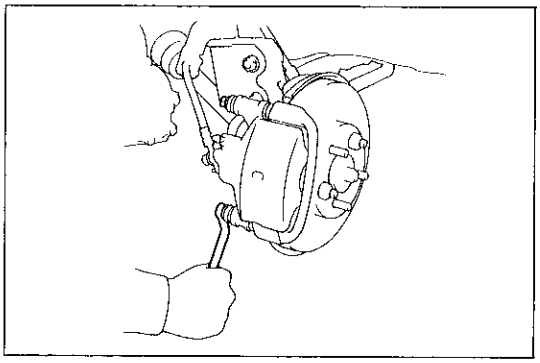
3　デイスク　ブレーキ　パツドの厚さ点検

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダの点検穴からパツドの厚さを点検する。

基準値　10.0mm

限　度　1.0mm

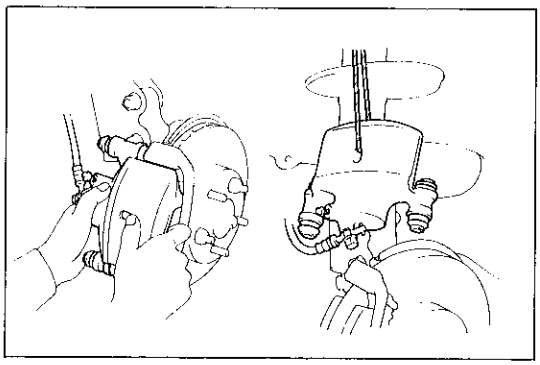
無断複製禁止



D6887

3　デイスク　ブレーキ　シリンダ取りはずし

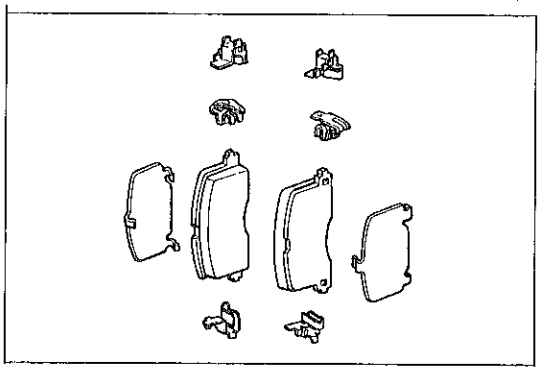
(1) デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングからボルト 2 本を取りはずす。



D6888　D6889

(2) デイスク　ブレーキ　シリングを取りはずし，フレキシブル ホースを引つ張らないよう針金などで吊るす。

〈参考〉 フレキシブル　ホースは切り離す必要はない。



C8072

4　下記部品の取りはずし

(1) デイスク　ブレーキ　パツド(2枚)

(2) アンチスクイール　シム(2枚)

(3) パツド　ウエア　インジケータ　プレート(2枚)

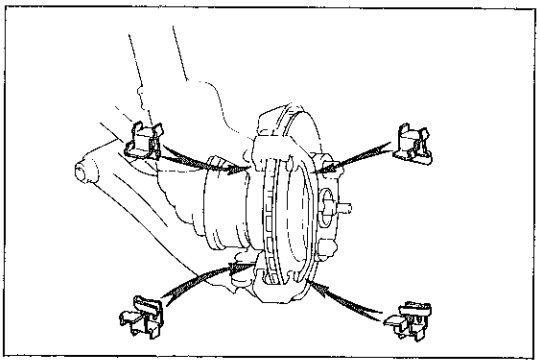
(4) パツド　サポート　プレート(4枚)

5　デイスクの厚さ点検

(S 7-37参照)

6　デイスクの振れ点検

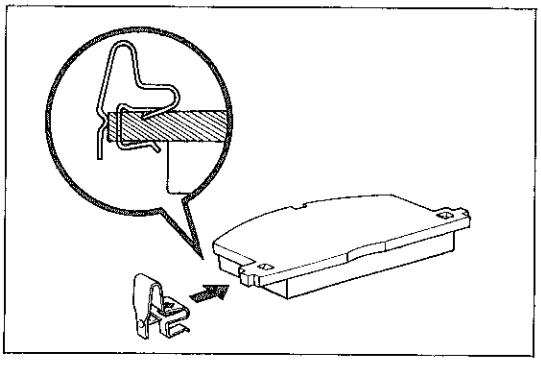
(S 7-37参照)



D6891

7　パツド　サポート　プレート取り付け

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングに新品のパツド　サポート　プレートを取り付ける。



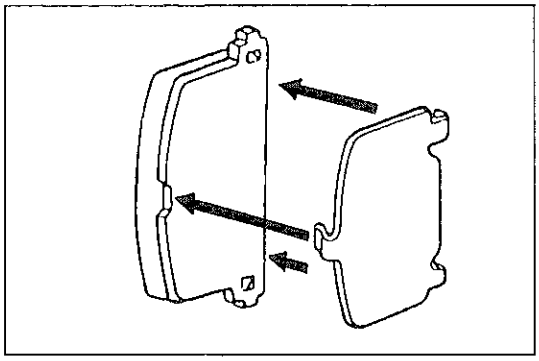
C9934

8　パツド　ウエア　インジケータ　プレート取り付け

(1) パツド裏面の凹部にパツド　ウエア　インジケータ　プレートのツメが確実にそう入されるよう押し込む。

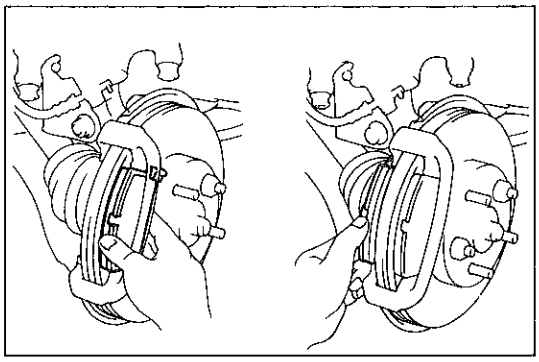
注意　パツド　ウエア　インジケータ　プレートの矢印が，デイスクの前進回転方向になるように取り付ける。

無断複製禁止



C8074

(2) パッドの下側にアンチスクイール　シムのツメ(2箇所)を付けてから，パッドの凹部にシムのツメを入れる。

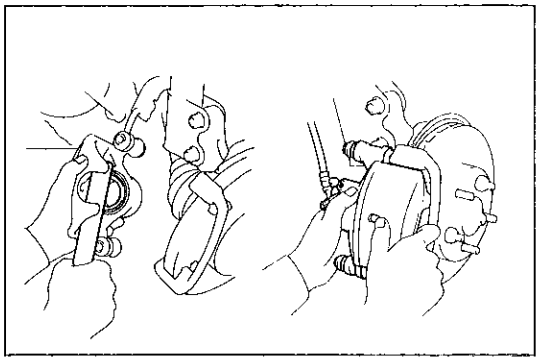


D6892　D6980

(3) 新品のデイスク　ブレーキ　パッドをデイスク　ブレーキ　マウンテイングに取り付ける。

注意 • パッドおよびデイスクの摩擦面に油脂，その他の汚れを付着させない。

• アウタ　パッドの取り付けの際，パッド　ウエア　インジケータ　プレートをデイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングのブリッジ部に当てない。



D6893　D6886

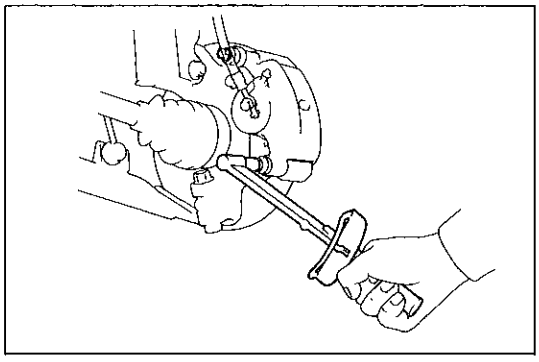
9　デイスク　ブレーキ　シリンダ取り付け

(1) マスタ　シリンダ　リザーバよりブレーキ　フルードを少量抜き取る。

(2) ハンマの柄などでピストンを押し込む。

注意 反対側のピストンが飛び出すことがあるのでパッドの交換作業は必ず片輪ごとに行う。

(3) ダスト　ブーツがかみ込まないよう注意して，デイスク　ブレーキ　シリンダを取り付ける。



D6894

(4) デイスク　ブレーキ　シリンダをデイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングにボルト2本で取り付ける。

T＝255kg·cm

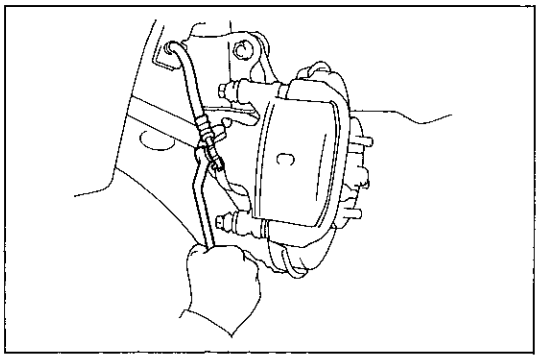
10　フロント　ホイール取り付け

T＝1050kg·cm

11　フロント　ブレーキの引きずり点検

12　ブレーキ　フルード注入

(1) ブレーキ　フルードをマスタ　シリンダ　リザーバのＭＡＸ基準線まで注入する。



D6895

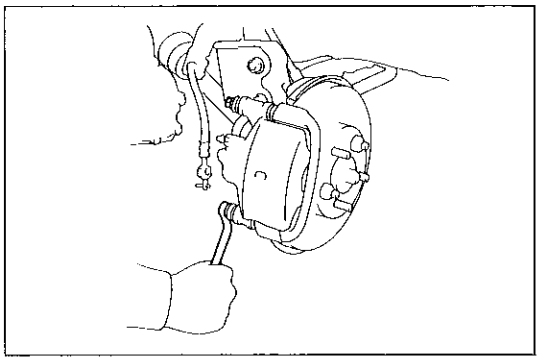
デイスク　ブレーキ　シリンダ取りはずし

1　フロント　ホイール取りはずし

2　フレキシブル　ホース切り離し

(1) ユニオン　ボルトおよびガスケット2個を取りはずし，フレキシブル　ホースを切り離す。

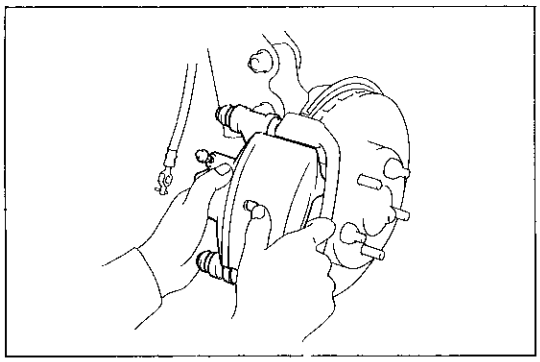
無断複製禁止



D6896

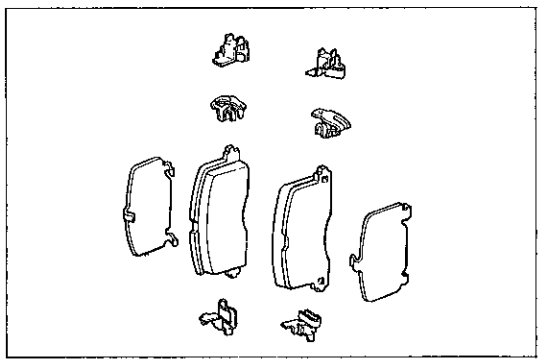
3　デイスク　ブレーキ　シリンダ取りはずし

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングからボルト２本を取りはずす。



D6897

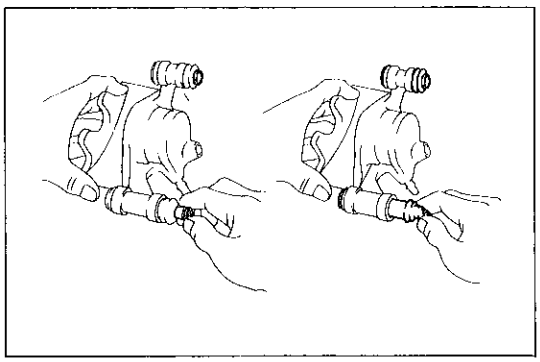
(2)　デイスク　ブレーキ　シリンダを取りはずす。



C8072

4　デイスク　ブレーキ　パツド取りはずし

デイスク　ブレーキ　シリンダ分解



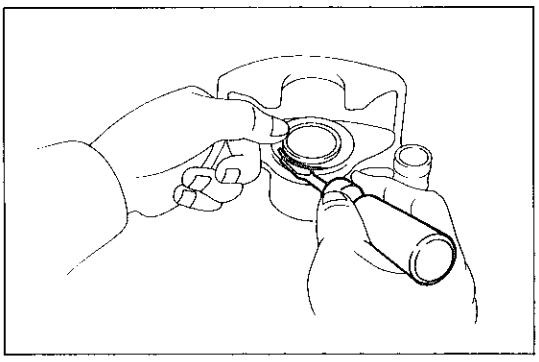
B0905　B0906

1　次の部品を取りはずす。

(1)　シリンダ　スライド　ブシユ(２個)

(2)　ブシユ　ダスト　ブーツ(４個)

(3)　カラー(２個)

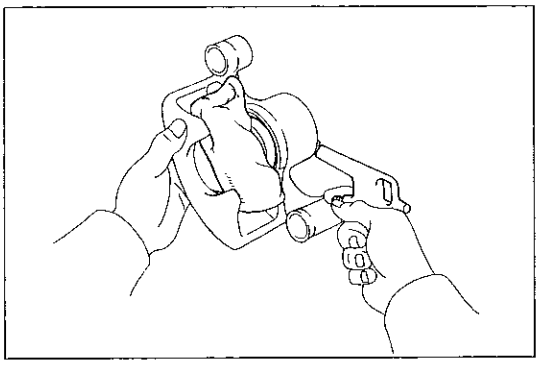


B0907

2　シリンダ　ブーツ取りはずし

(1)　⊖ドライバを使用して，シリンダ　ブーツ　セツト　リングおよびシリンダ　ブーツを取りはずす。

無断複製禁止


B0908

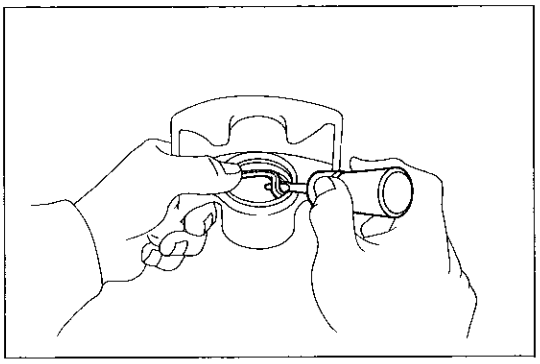
3　ピストン取りはずし

(1) ピストンとシリンダの間にピストン傷つき防止用の木片，ウエスなどをはさむ。

(2) エア　ガンを使用して，シリンダからピストンを取りはずす。

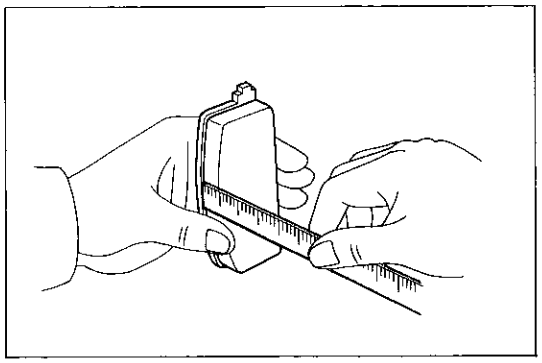
注意 • 指などをはさまないようにする。

• フルードを飛散させない。


B0909

4　ピストン　シール取りはずし

(1) ⊖薄刃ドライバを使用して，ピストン　シールを取りはずす。


C9939

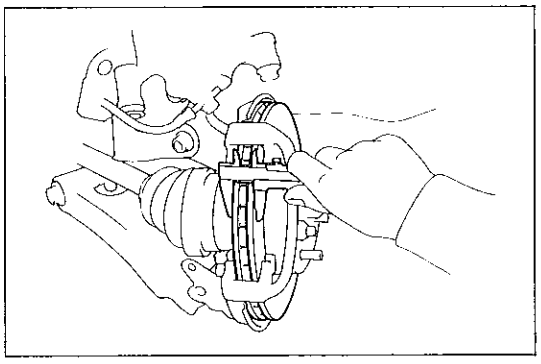
フロント　ブレーキ構成部品の点検および交換

1　パッドの厚さ測定

基準値　10.0mm

限　度　1.0mm

パッドの厚さが限度以下，または著しい偏摩耗がある場合は交換する。


D6898

2　デイスクの厚さ点検

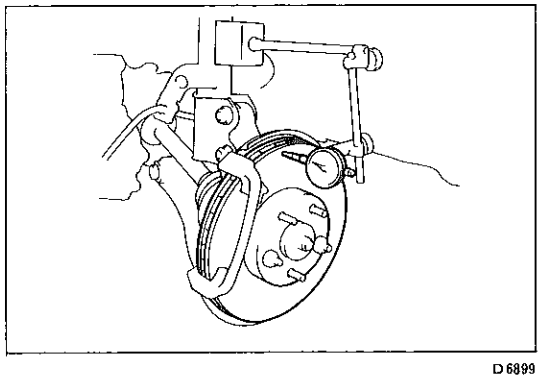
基準値　18.0mm（ＳＴ160系）

22.0mm（ＡＴ160系，ＳＴ162系）

限　度　17.0mm（ＳＴ160系）

21.0mm（ＡＴ160系，ＳＴ162系）

デイスクの厚さが限度以下，または著しい偏摩耗，損傷がある場合は交換する。


D6899

3　デイスクの振れ点検

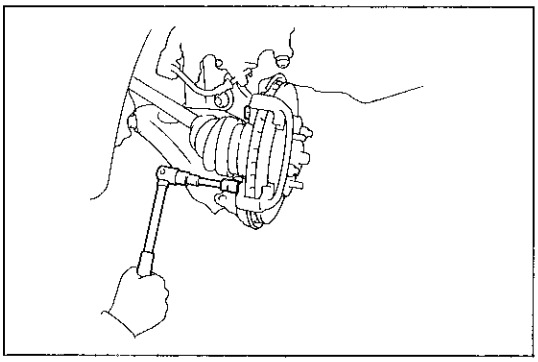
(1) デイスクの振れ点検前に，フロント　ホイール　ベアリングのガタがないことを点検する。

(2) ダイヤル　ゲージを使用して，デイスク外側端面の振れを測定する。

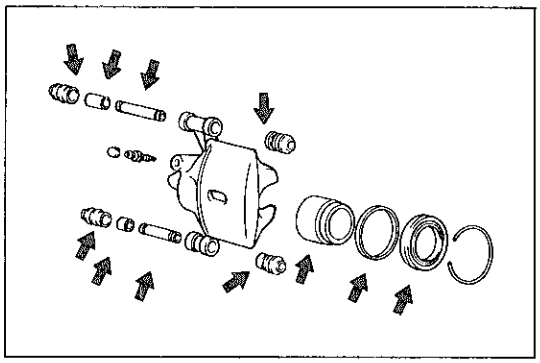
限　度　0.15mm（外周より10mm内側の点）

デイスクの振れが限度以上のときは，デイスクを交換する。

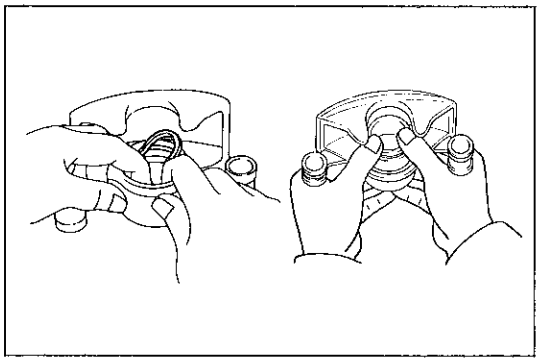
無断複製禁止



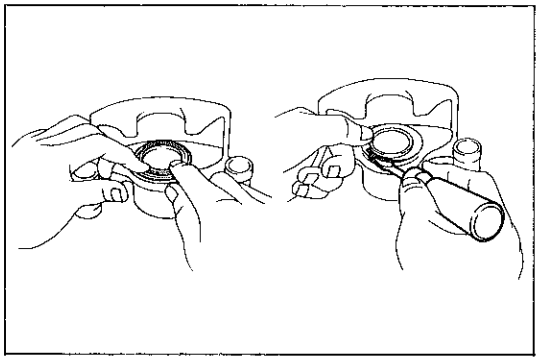
D6900



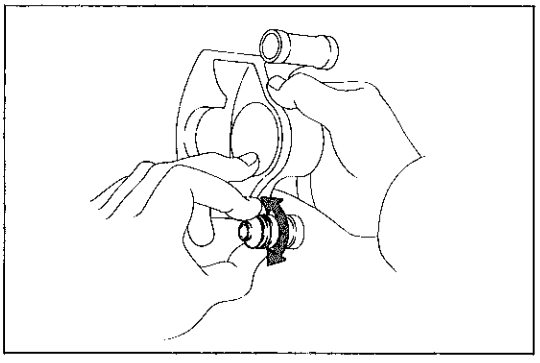
D6901



B0915　A9508



B0916　B0907



B0917

4　デイスクの交換

(1) ボルト２本を取りはずし，ステアリング　ナツクルからデイスク　ブレーキ　マウンテイングを取りはずす。

(2) 仮り付けしてあつたハブ　ナツトを取りはずし，アクスル　ハブからデイスクを取りはずす。

(3) 新品のデイスクを取り付け，ハブ　ナツトにて仮付けする。

(4) ボルト２本で，デイスク　ブレーキ　マウンテイングをステアリング　ナツクルに取り付ける。

T＝900kg·cm

デイスク　ブレーキ　シリンダ組み付け

1　組み付け部品の洗浄

(1) 組み付け部品はアルコールまたはブレーキ　フルードで洗浄する。

2　ラバー　グリース塗布

(1) 矢印の示す部位にキヤツスル　ラバー　グリースを塗布する。

3　ピストン　シールおよびピストン組み付け

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダの溝に新品のピストン　シールを組み付ける。

(2) デイスク　ブレーキ　シリンダにピストンをこじらないように押し込む。

4　シリンダ　ブーツおよびセツト　リング組み付け

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダに新品のシリンダ　ブーツを組み付ける。

注意　ブーツをピストンの溝にしつかりはめ込む。

(2) ⊖薄刃ドライバを使用して，新品のセツト　リングを組み付ける。

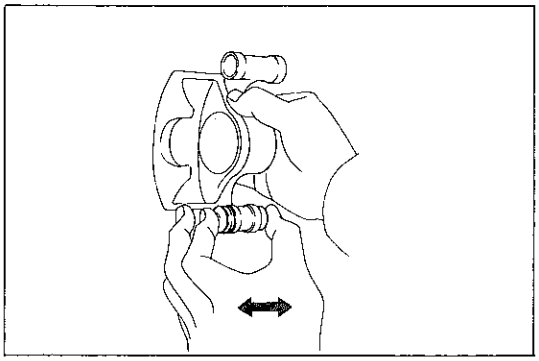
注意　ブーツを傷つけない。

5　カラー，ダスト　ブーツおよびシリンダ　スライド　ブシユ組み付け

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダにカラー２個および新品のダスト　ブーツ４個を組み付ける。

(2) ダスト　ブーツはデイスク　ブレーキ　シリンダの溝に確実に組み付ける。

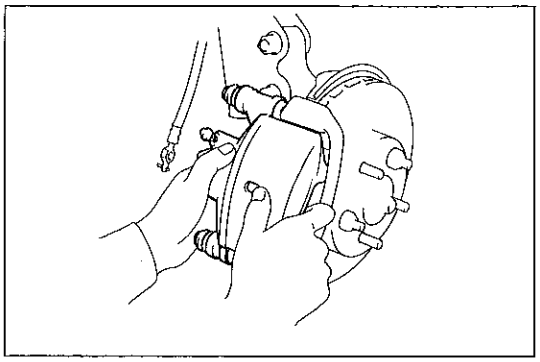
無断複製禁止



B0918

(3) ダスト　ブーツにブシユを組み付ける。

(4) ダスト　ブーツはブシユの溝に確実に組み付ける。



D6897

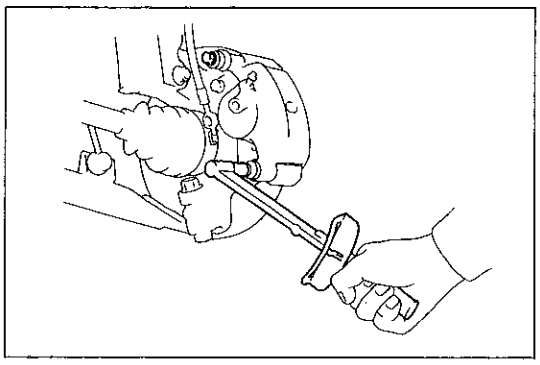
デイスク　ブレーキ　シリンダ取り付け

1　デイスク　ブレーキ　パツド取り付け

（S 7-34参照）

2　デイスク　ブレーキ　シリンダ取り付け

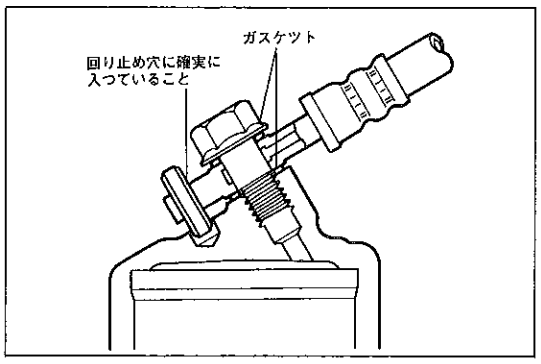
(1) ダスト　ブーツがかみ込まないよう注意して，デイスク　ブレーキ　シリンダを取り付ける。



D6902

(2) ボルト2本で，デイスク　ブレーキ　シリンダをデイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングに取り付ける。

T＝255kg·cm



D7166

3　フレキシブル　ホース接続

(1) フレキシブル　ホースのシール面(両側)に新品のガスケツトを取り付け，フレキシブル　ホースの回り止めをデイスク　ブレーキ　シリンダの回り止め穴に確実に入れて，ユニオン　ボルトを締め付ける。

T＝310kg·cm

注意　デイスク　ブレーキ　シリンダのシール面およびフレキシブル　ホースのシール面(両側)を傷つけない。

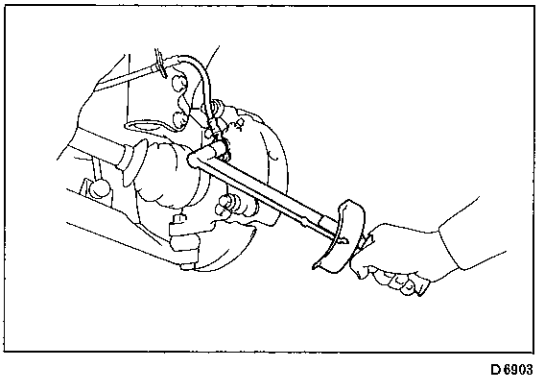
4　ブレーキ系統のエア抜き

（S 7-6参照）

5　ブレーキ　フルード漏れ点検

6　フロント　ホイール取り付け

T＝1050kg·cm

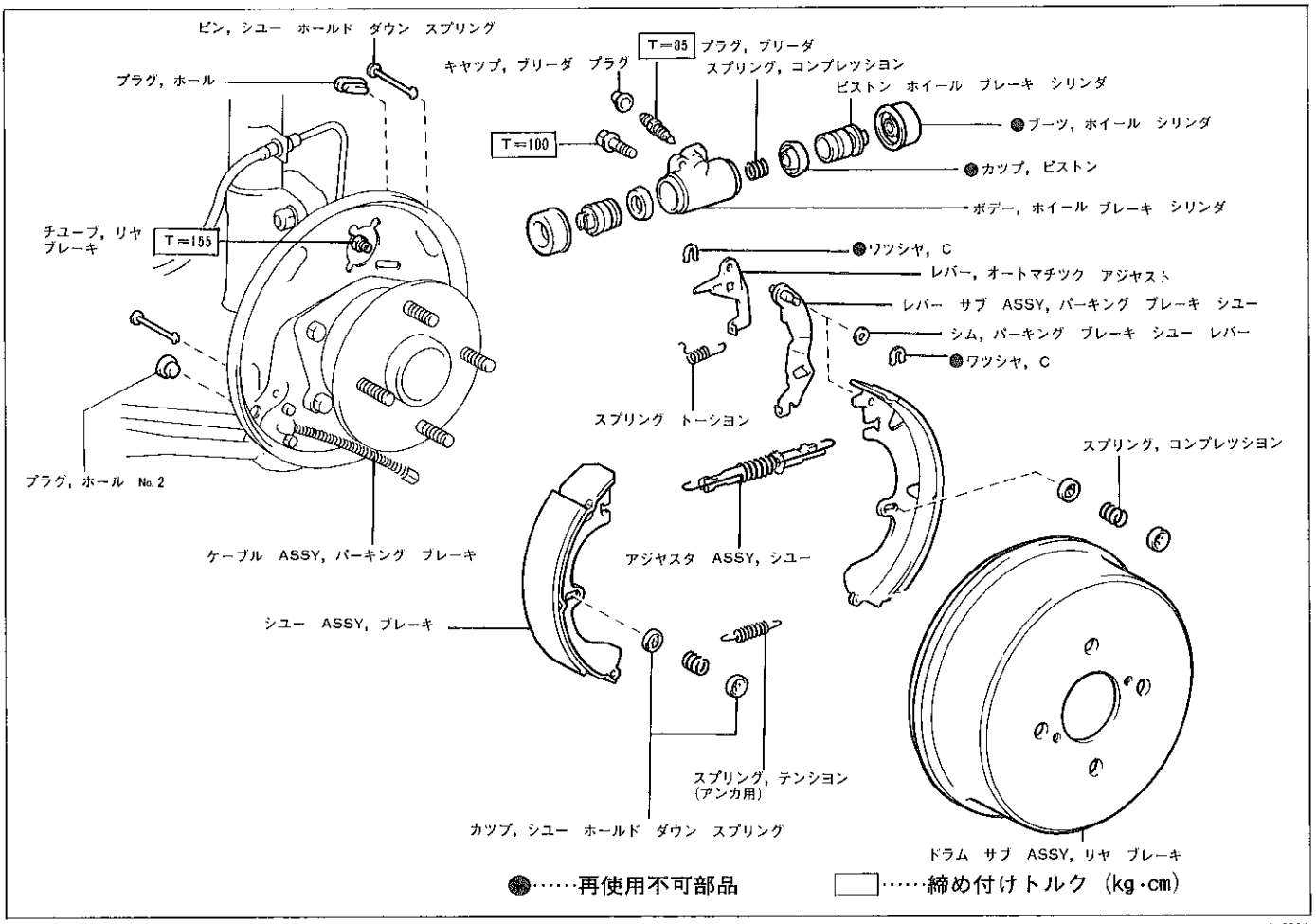


D6903

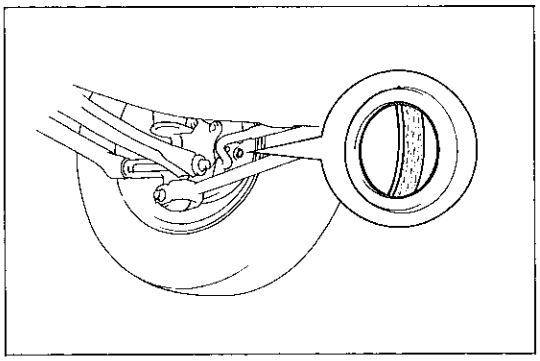
無断複製禁止

リヤ ドラム ブレーキ

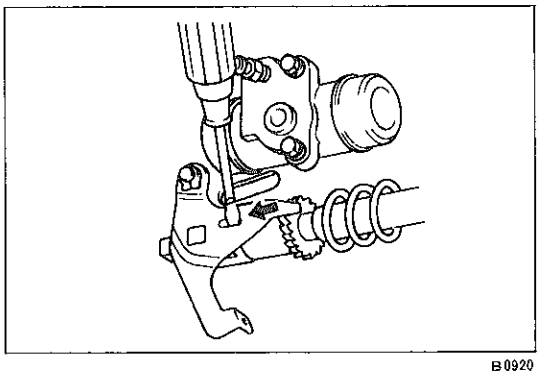
構 成 図



D6904



D6905



B0920

リヤ ブレーキの取りはずし

1 シユー ライニングの厚さ点検

(1) バツキング プレート裏点検穴のホール プラグ No.2を取りはずし，シユー ライニングの厚さを点検する。
点検終了後は必ずホール プラグ No.2を取り付ける。

基準値 4.0mm

限 度 1.0mm

2 リヤ ホイール取りはずし

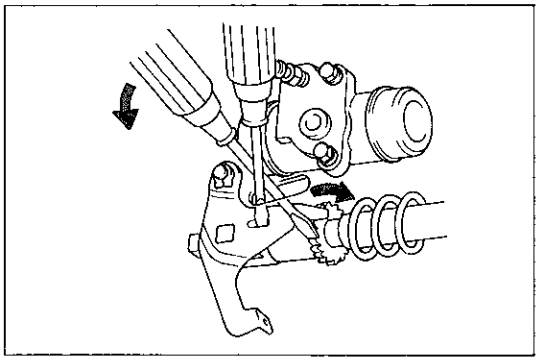
3 ブレーキ ドラム取りはずし

(1) ブレーキ ドラムが容易に取りはずせない場合は，次の要領で行う。

① バツキング プレート裏側のアジヤスト ホールより⊖ドライバを入れ，アジヤステイング ボルトから，アジヤステイング レバーを離す。

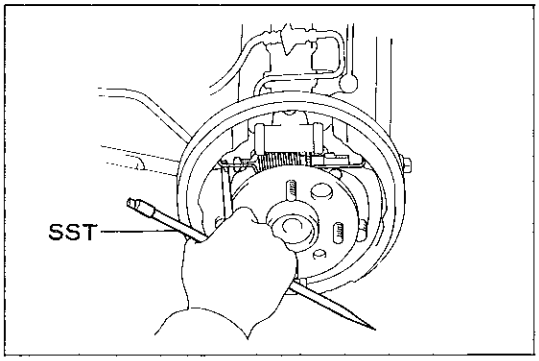
注意 ⊖ドライバは押し下げるだけで回転させない。

無断複製禁止



A9510

② 同じアジヤスト　ホールからもう一方の⊖ドライバを入れて，矢印の方向へ動かし，アジヤステイング　ボルトを逆回転させて，ブレーキ　シユーを縮める。



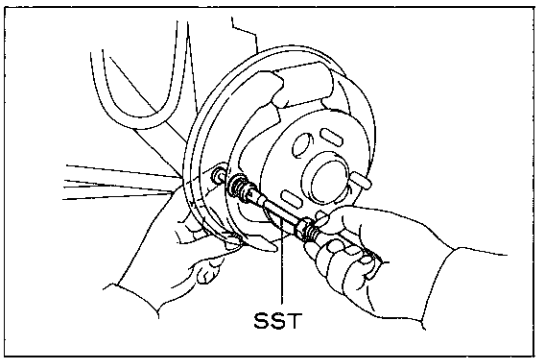
D6906

4　ブレーキ　シユー(リーデイング側)取りはずし

(1) ＳＳＴを使用して，テンシヨン　スプリング(シユー　リターン用)を取りはずす。

ＳＳＴ　09703-30010

注意　ホイール　シリンダ　ブーツを傷つけない。



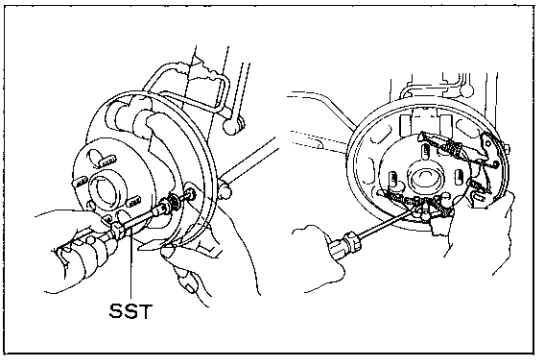
B0922

(2) ＳＳＴを使用して，シユー　ホールド　ダウン　スプリング　カップ，スプリングおよびピンを取りはずす。

ＳＳＴ　09718-00010

(3) ブレーキ　シユー(リーデイング側)とテンシヨン　スプリング(アンカ用)を切り離し，ブレーキ　シユー(リーデイング側)を取りはずす。

5　テンシヨン　スプリング(アンカ用)取りはずし



D6907　D6908

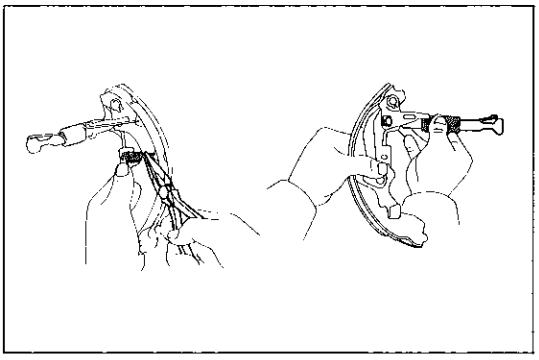
6　ブレーキ　シユー(トレーリング側)取りはずし

(1) ＳＳＴを使用して，シユー　ホールド　ダウン　スプリング　カップ，スプリングおよびピンを取りはずす。

ＳＳＴ　09718-00010

(2) ⊖ドライバを使用して，アンカ　プレートのツメ部の間に入つているパーキング　ブレーキ　ケーブルを引き出す。

(3) ニードル　ノーズ　プライヤを使用して，パーキング　ブレーキ　シユー　レバーからパーキング　ブレーキ　ケーブルを取りはずす。



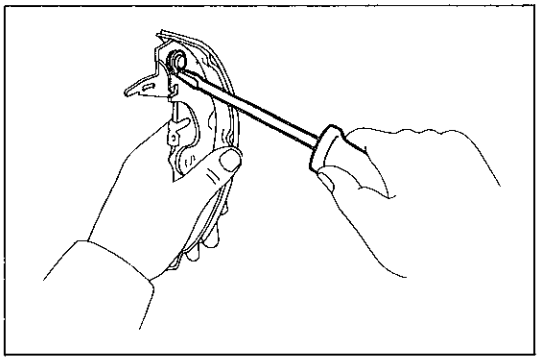
B0924　B0925

7　パーキング　ブレーキ　シユー　ストラツト取りはずし

(1) テンシヨン　スプリング(オートマチツク　アジヤスタ用)を取りはずす。

(2) テンシヨン　スプリング(シユー　リターン用)とともに，パー　テンキング　ブレーキ　シユー　ストラツトを取りはずす。

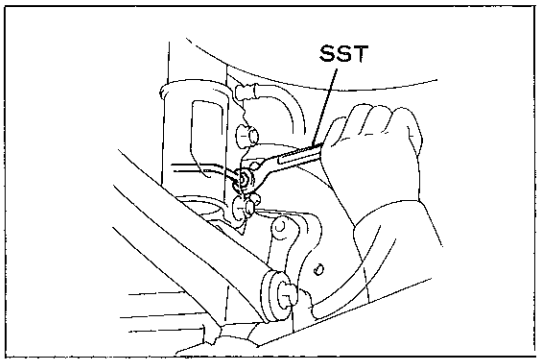
無断複製禁止



B0926

8 パーキング ブレーキ シユー レバーおよびオートマチツク アジヤスト レバー取りはずし

(1) ㊀ドライバを使用して，C ワツシヤを上方へ引き上げ，ブレーキ シユー(トレーリング側)から，パーキング ブレーキ シユー レバーおよびオートマチツク アジヤスト レバーを取りはずす。

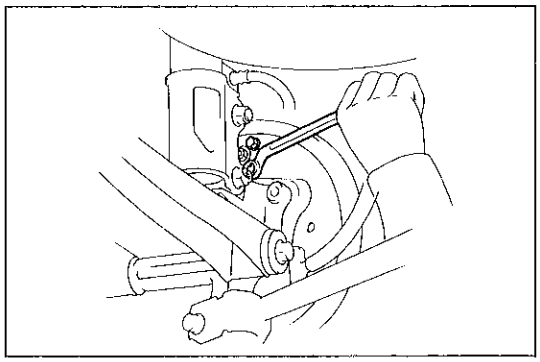


D6909

9 ブレーキ チユーブ切り離し

(1) ＳＳＴを使用して，ホイール シリンダからブレーキ チユーブを切り離す。

ＳＳＴ 09751-36011

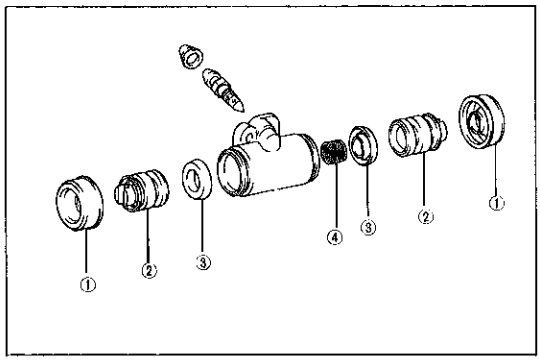


D6910

10 ホイール シリンダ取りはずし

(1) ボルト２本を取りはずし，バツキング プレートからホイール シリンダを取りはずす。

〈参考〉 ホイール シリンダの分解，点検はバツキング プレートに取り付けた状態でできるので，ＡＳＳＹ交換などの場合以外は取りはずす必要はない。

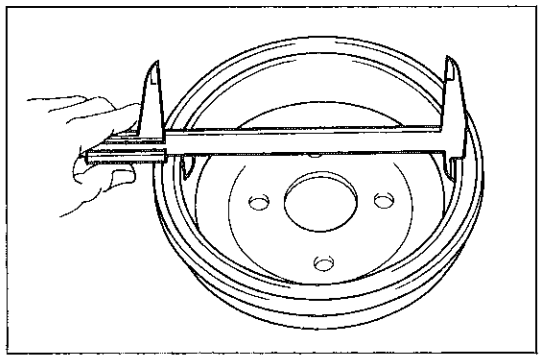


A9522

11 ホイール シリンダ分解

(1) ホイール シリンダから次の部品を取りはずす。

① ホイール シリンダ ブーツ(２個)
② ホイール シリンダ ピストン(２個)
③ ホイール シリンダ ピストン カツプ(２個)
④ コンプレツシヨン スプリング



B0929

リヤ ブレーキ構成部品の点検

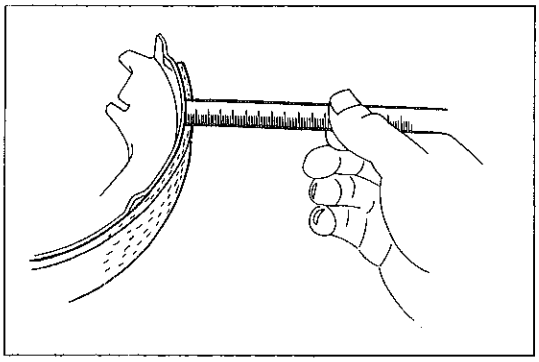
1 ブレーキ ドラムの内径点検

基準値 200.0mm

限 度 201.0mm

ブレーキ ドラムに著しい偏摩耗がみられる場合は，ブレーキ ドラムを研磨するか，交換する。

無断複製禁止


B0930

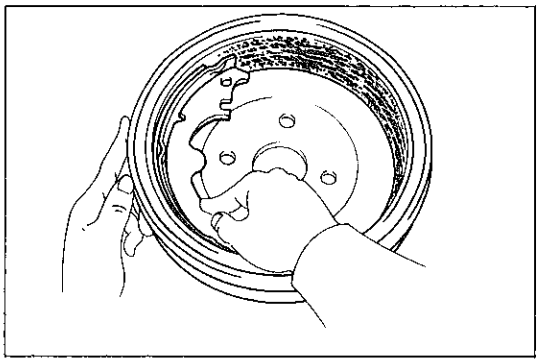
2　シユー　ライニングの厚さ点検

基準値　4.0mm

限　度　1.0mm

シユー　ライニングの厚さが限度以上，または著しい偏摩耗がある場合はブレーキ　シユーを交換する。

注意　ブレーキ　シユー交換時は片効きを防止するため，車両左右両側をセツトで交換する。


B0931

3　シユー　ライニングとブレーキ　ドラムの当たり点検

(1) ブレーキ　ドラムの内面にチヨークを塗布し，ブレーキ　シユーとこすり合わせる。

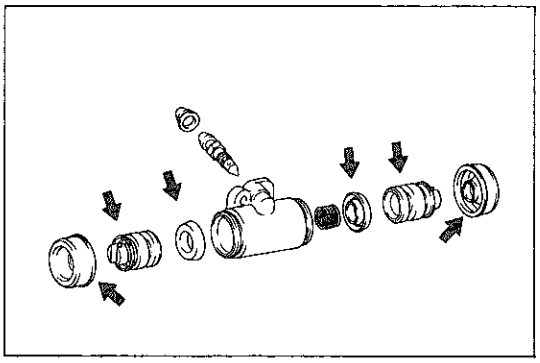
基　準　著しい当たり不良がない

著しい当たり不良が生じている場合，ブレーキ　シユー交換またはブレーキ　ドラムを研磨する。

注意　点検終了後，チヨークをふき取る。

4　ホイール　シリンダの腐食，損傷状況点検

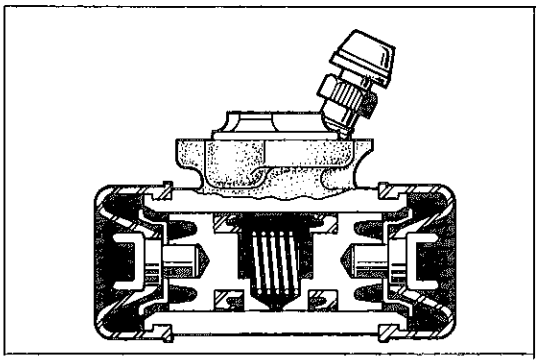
5　バツキング　プレートの摩耗，損傷状況点検


A9522

リヤ　ブレーキ組み付け

1　ラバー　グリース塗布

(1) 矢印の示す部位にキヤツスル　ラバー　グリースを塗布する。


D7275

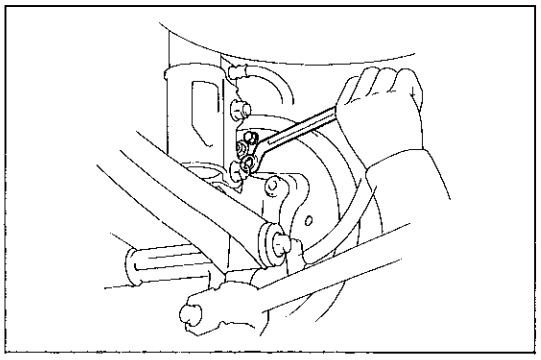
2　ホイール　シリンダ組み付け

(1) ホイール　シリンダ　ピストンに新品のカツプ2個を組み付ける。

注意　カツプの取り付け方向を間違えない。

(2) ホイール　シリンダにピストン2個とコンプレツシヨン　スプリングを組み付ける。

(3) 新品のホイール　シリンダ　ブーツ2個を組み付ける。

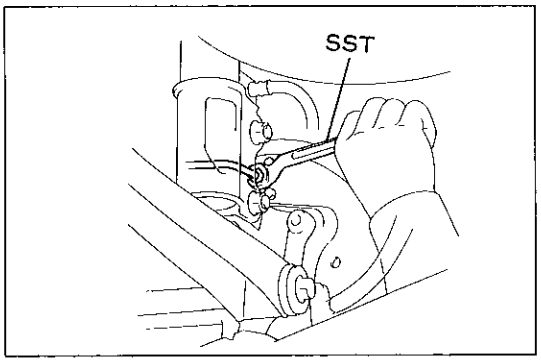

D6910

3　ホイール　シリンダ取り付け

(1) ボルト2本で，バツキング　プレートにホイール　シリンダを取り付ける。

T＝100kg·cm

無断複製禁止



D6909

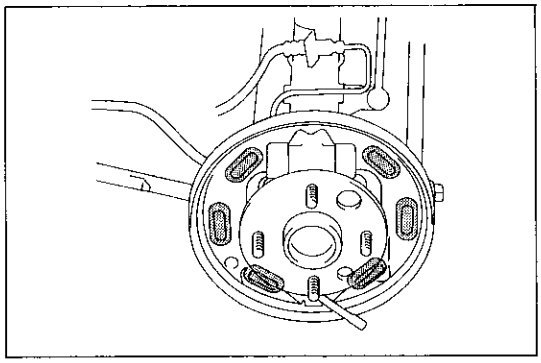
4　ブレーキ　チユーブ取り付け

(1)　ホイール　シリンダにブレーキ　チユーブを仮付けする。

(2)　ＳＳＴを使用して，ホイール　シリンダにブレーキ　チユーブを締め付ける。

ＳＳＴ　　09751-36011

Ｔ＝155kg･cm


D6911

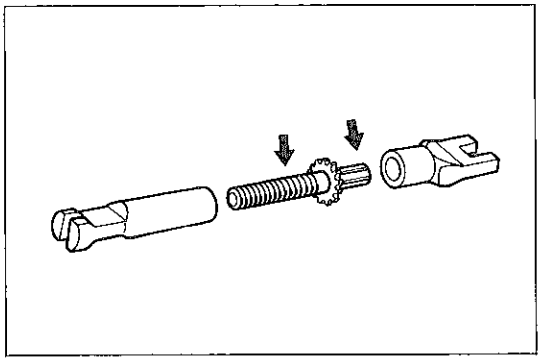
5　キヤツスル　ノンメルト　ルブ塗布

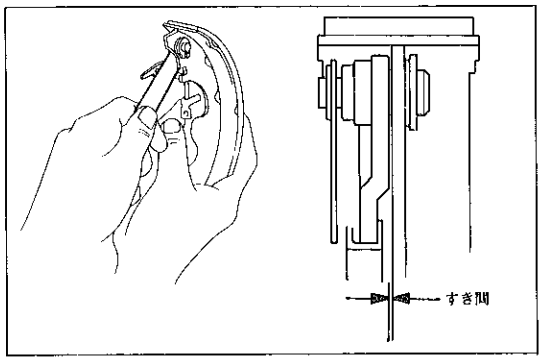
(1)　図に示す部位にキヤツスル　ノンメルト　ルブを薄く塗布する。

①　バツキング　プレートとブレーキ　シユーの接触部分

②　アンカ　プレートとブレーキ　シユーの接触部分

③　パーキング　ブレーキ　シユー　ストラツトとオートマチツク　アジヤステイング　ボルトの接触部分


B0934



B0935　B0936

6　パーキング　ブレーキ　シユー　レバーおよびオートマチツク　アジヤスト　レバー組み付け

(1)　新品のＣ　ワツシヤにて，パーキング　ブレーキ　シユー　レバーとオートマチツク　アジヤスト　レバーをブレーキ　シユー(トレーリング側)に仮付けする。

(2)　シツクネス　ゲージを使用して，ブレーキ　シユー(トレーリング側)とパーキング　ブレーキ　シユー　レバーとのすき間を測定する。

基準値　　0～0.35mm

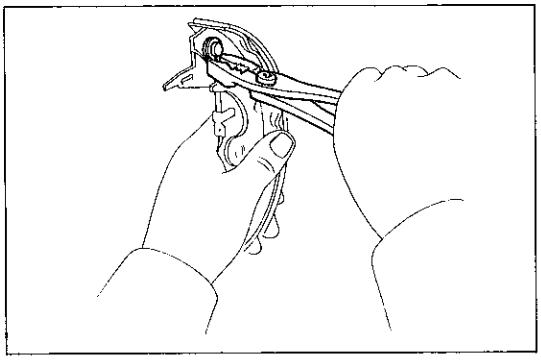
基準値以外の場合，シムの厚さを変えて調整する。

〈参考〉　シムの種類

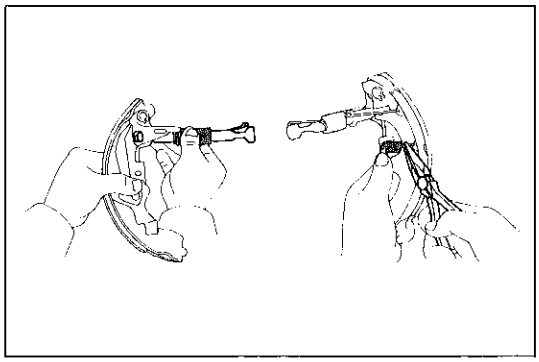
シムの厚さ(mm)	品　番	シムの厚さ(mm)	品　番
0.2	90564-08172	0.5	90564-08174
0.3	90564-08150	0.6	90564-08151
0.4	90564-08173	0.9	90564-08152

(3)　プライヤを使用して，Ｃ　ワツシヤを取り付ける。

注意　Ｃ　ワツシヤは必ず新品と交換する。


B0937

無断複製禁止

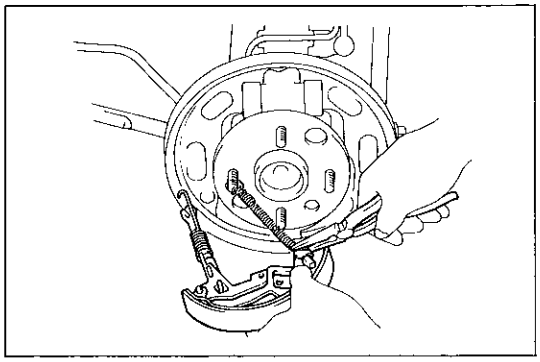


B0925　B0924

7　シユー　アジヤスタ　ＡＳＳＹ組み付け

(1)　シユー　アジヤスタ　ＡＳＳＹをオートマチツク　アジヤスト　レバーに組み付ける。

(2)　トーシヨン　スプリング(オートマチツク　アジヤスタ用)をオートマチツク　アジヤスト　レバーに組み付ける。

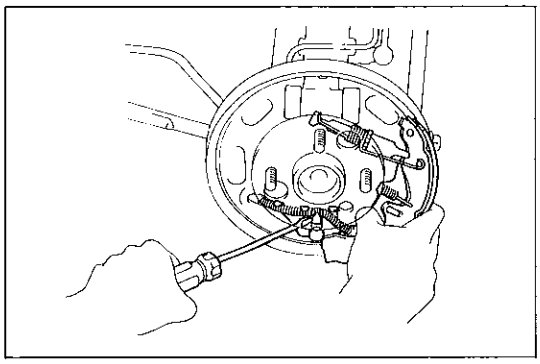


D6912

8　ブレーキ　シユー(トレーリング側)組み付け

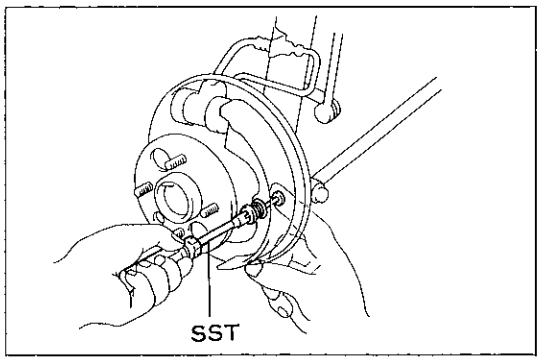
注意　ホイール　シリンダ　ブーツにグリースなどの油脂類を付着させない。

(1)　ニードル　ノーズ　プライヤを使用して，パーキング　ブレーキ　シユー　レバーにパーキング　ブレーキ　ケーブルを組み付ける。



D6908

(2)　⊖ドライバを使用して，パーキング　ブレーキ　ケーブルをアンカ　プレートのツメの間に通す。

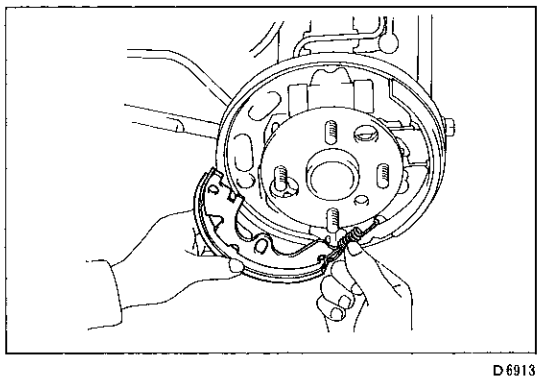


D6907

(3)　ブレーキ　シユー(トレーリング側)のホイール　シリンダ側とアンカ　プレート側をそれぞれ所定の位置に組み付ける。

(4)　ＳＳＴを使用して，シユー　ホールド　ダウン　スプリング　カツプ，スプリングおよびカツプを組み付ける。

ＳＳＴ　09718-00010



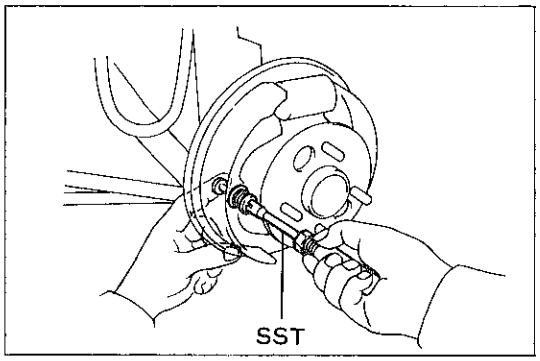
D6913

9　ブレーキ　シユー(リーデイング側)組み付け

注意　ホイール　シリンダ　ブーツにグリースなどの油脂類を付着させない。

(1)　テンシヨン　スプリング(アンカ用)を組み付ける。

無断複製禁止

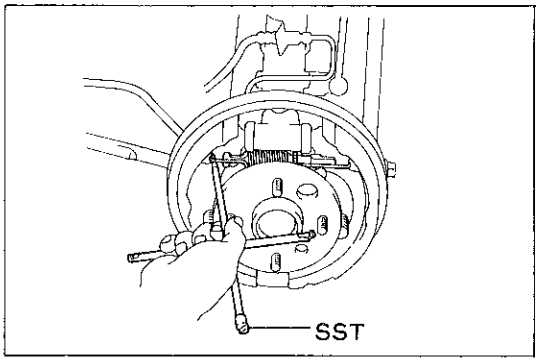


B0922

(2) ブレーキ　シユー(リーデイング側)のホイール　シリンダ側とアンカ　プレート側をそれぞれ所定の位置に組み付ける。

(3) ＳＳＴを使用して，シユー　ホールド　ダウン　スプリング　カツプ，スプリングおよびカツプを組み付ける。

ＳＳＴ　09718-00010



D6914

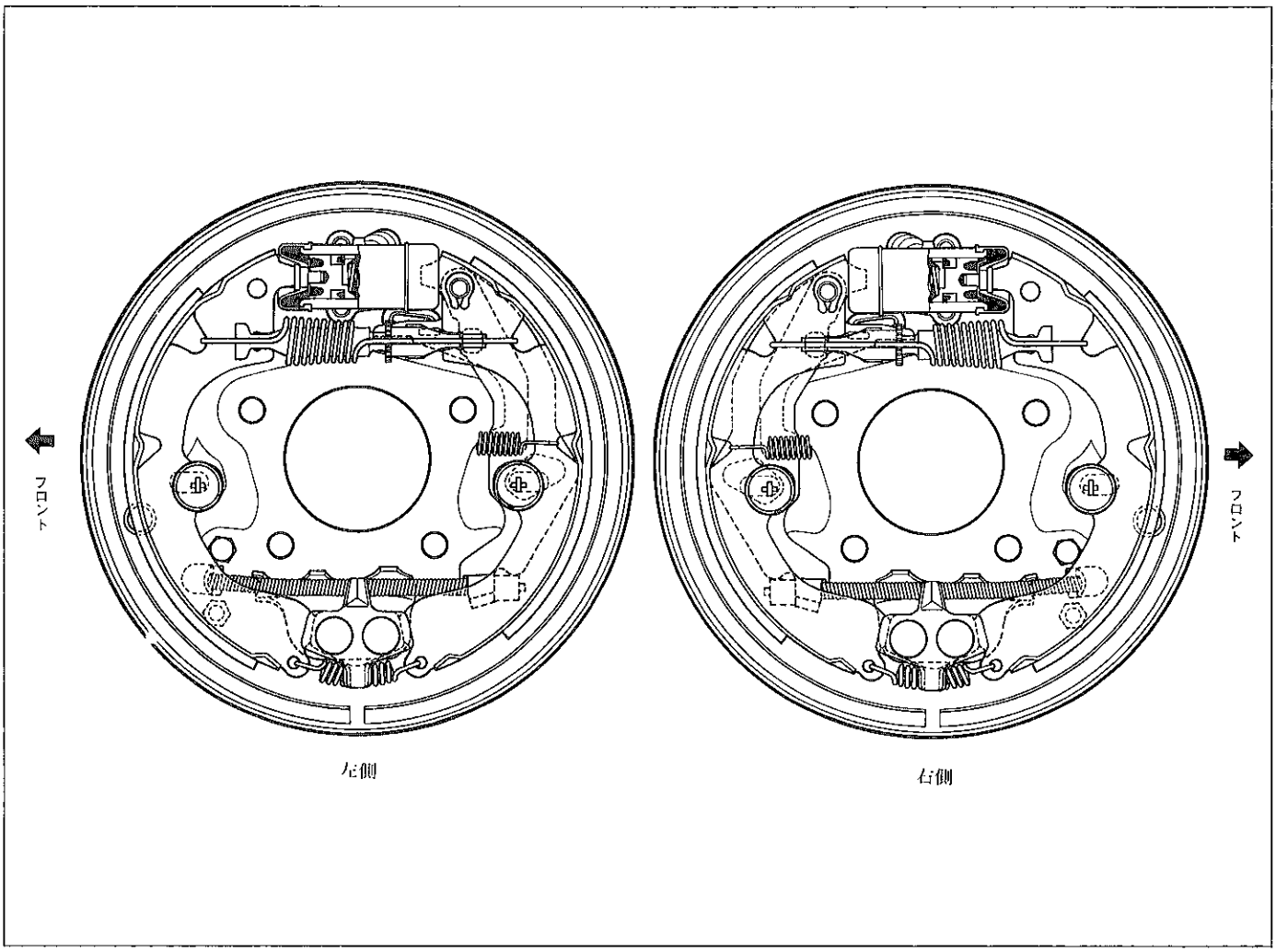
(4) ＳＳＴを使用して，テンシヨン　スプリング(シユー　リターン用)を組み付ける。

ＳＳＴ　09703-30010

注意 ホイール　シリンダ　ブーツを傷つけない。

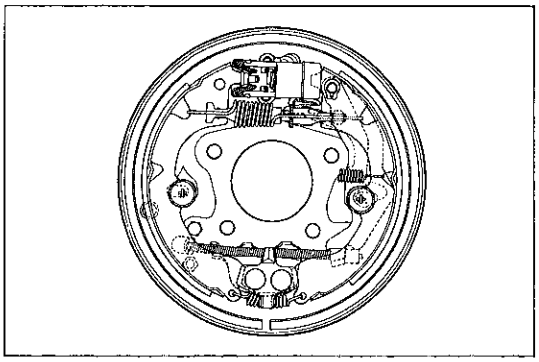
10 リヤ　ブレーキ組み付け点検

(1) 各部品が正規に組み付けられていることを点検する。

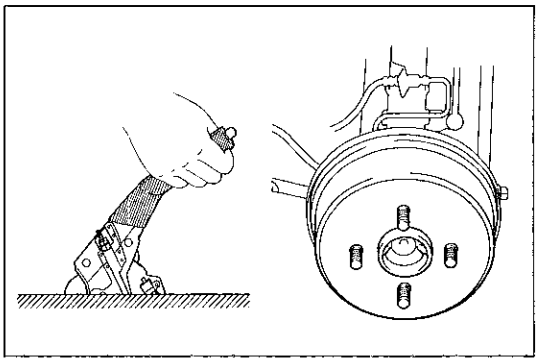


D6915 D6915

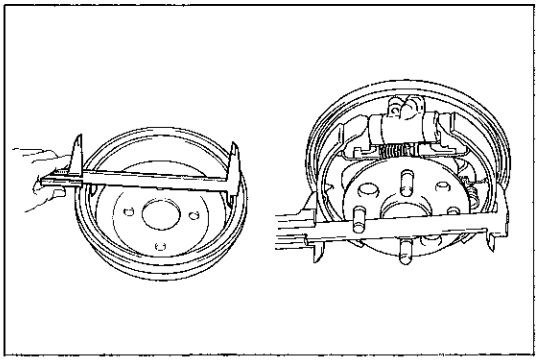
無断複製禁止



D6915



D6852　D6917



B0929　A9511

11　オートマチツク　アジヤスタ機構の作動点検

(1) ブレーキ　シユー(トレーリング側)のパーキング　ブレーキ　シユー　レバーを前後に動かし，アジヤステイング　ボルトが回転することを点検する。

(2) アジヤステイング　ボルトが回転しない場合，リヤ　ブレーキ構成部品が正常に組み付けられているか点検する。

(3) シユー　アジヤスタをいつぱいに締め込んだ状態に調整する。

(4) ブレーキ　ドラムを取り付け，ナツトを仮り締めする。

(5) パーキング　ブレーキ　レバーを，カチツ　カチツという音が聞こえなくなるまで繰り返しいつぱいに引く。

12　ブレーキ　シユーとブレーキ　ドラムのすき間点検

(1) ブレーキ　ドラムを取りはずす。

(2) ブレーキ　ドラムの内径とブレーキ　シユーの最大径をノギスで測定する。

(3) ブレーキ　ドラムの内径とブレーキ　シユーの最大径の差が下記の基準値以内であることを点検する。

基準値　0.6mm

基準値外の場合，パーキング　ブレーキ系統を点検する。

13　ブレーキ　ドラム取り付け

14　リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg·cm

15　ブレーキ系統のエア抜き

（S 7-6参照）

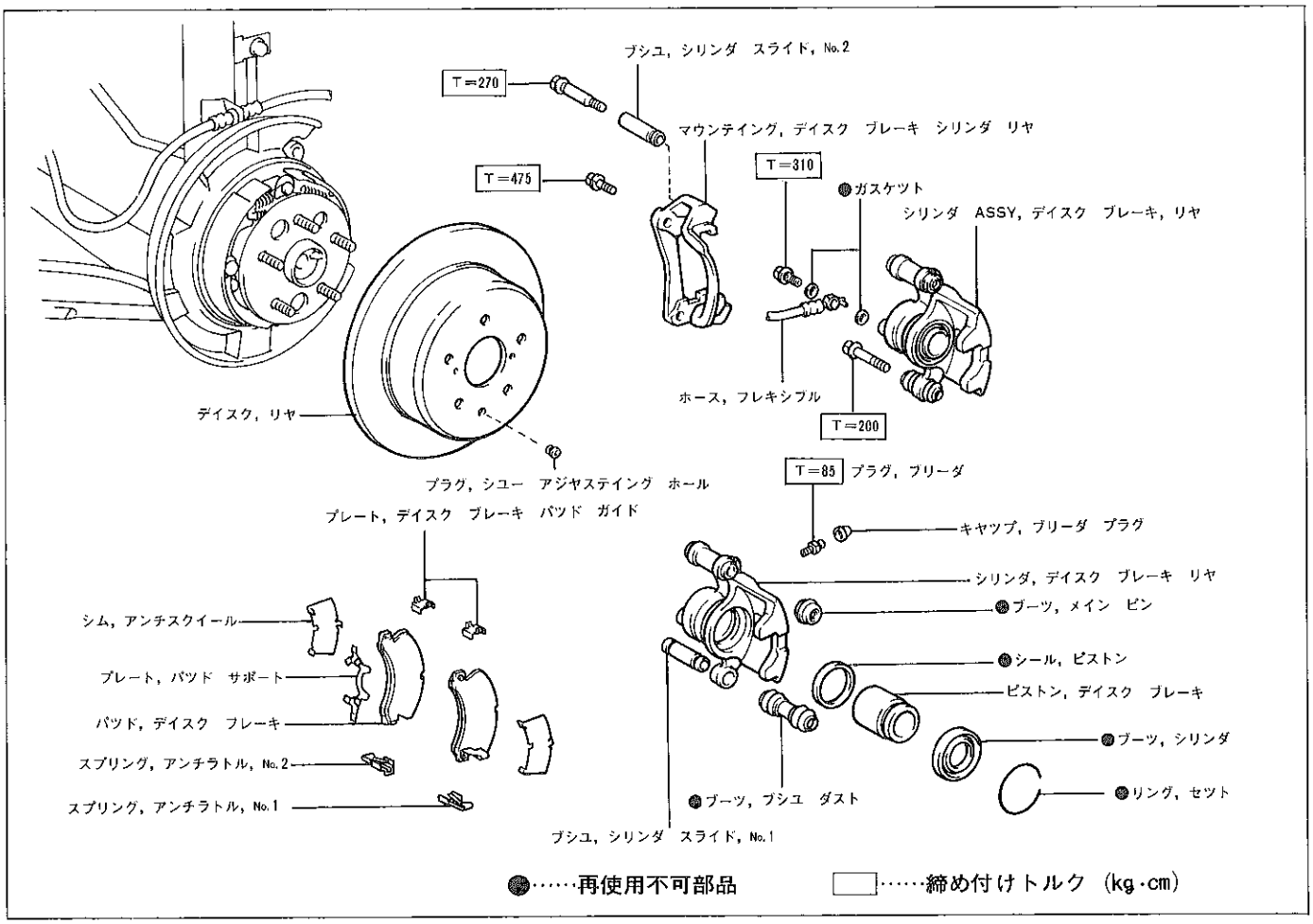
16　ブレーキ　フルード漏れ点検

17　リヤ　ブレーキの引きずり点検

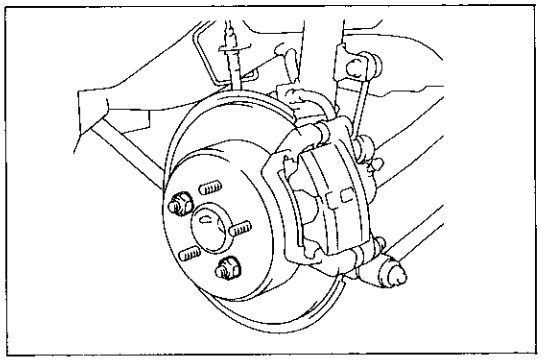
無断複製禁止

リヤ デイスク ブレーキ

構 成 図



D6918



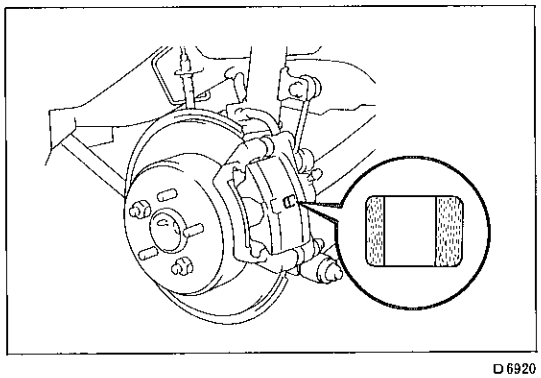
D6919

デイスク ブレーキ パツド交換

1 リヤ ホイール取りはずし

2 リヤ デイスク固定

(1) ハブ ナツトにてリヤ デイスクを固定する。



D6920

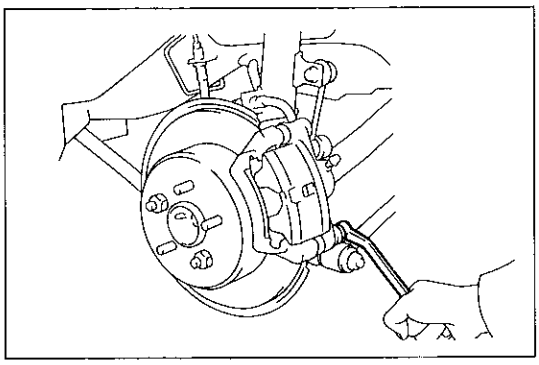
3 デイスク ブレーキ パツドの厚さ点検

(1) デイスク ブレーキ シリンダの点検穴からパツドの厚さを点検する。

基準値 10.0mm

限 度 1.0mm

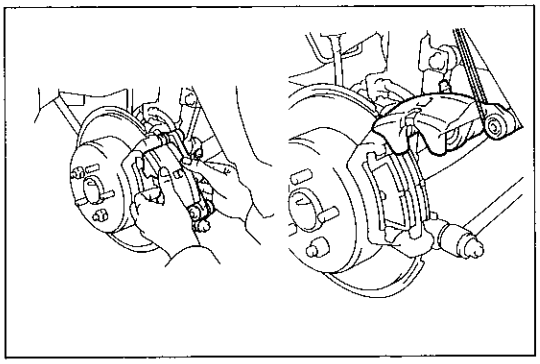
無断複製禁止



D6921

4　デイスク　ブレーキ　シリンダ取りはずし

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングからボルトを取りはずす。

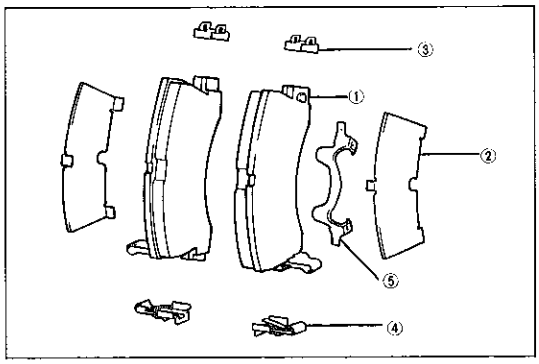


D6922　D6923

(2)　デイスク　ブレーキ　シリンダを上方へ回転させ，針金などでつるしておく。

注意　フレキシブル　ホースに無理な力を加えない。

〈参考〉　• フレキシブル　ホースは切り離しの必要はない。
• デイスク　ブレーキ　シリンダはガイド　ピンから取りはずす必要はない。

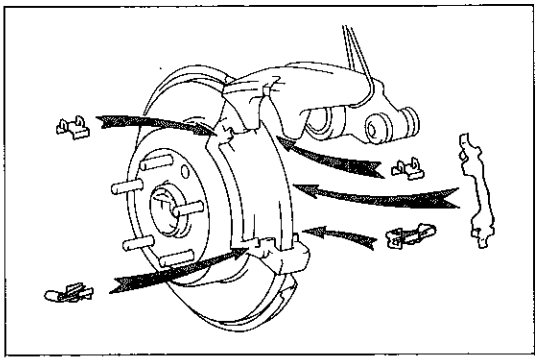


D6924

5　デイスク　ブレーキ　パツド取りはずし

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングから次の部品を取りはずす。

① デイスク　ブレーキ　パツド２枚
② アンチスクイール　シム２枚
③ デイスク　ブレーキ　パツド　ガイド　プレート２個
④ アンチラトル　スプリング２個
⑤ パツド　サポート　プレート



D6925

6　デイスクの厚さ点検

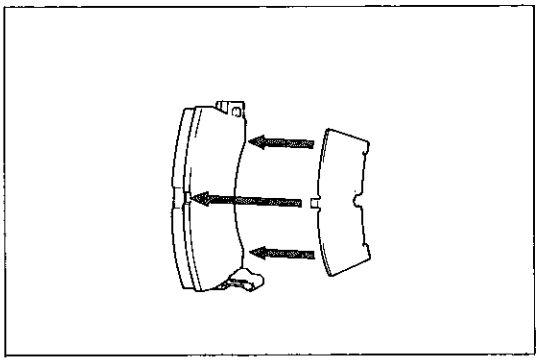
（S 7-52参照）

7　デイスクの振れ点検

（S 7-52参照）

8　アンチラトル　スプリングおよびパツド　ガイド　プレート取り付け

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングに新品のアンチラトル　スプリング２個，パツド　ガイド　プレート２個およびパツド　サポート　プレートを取り付ける。

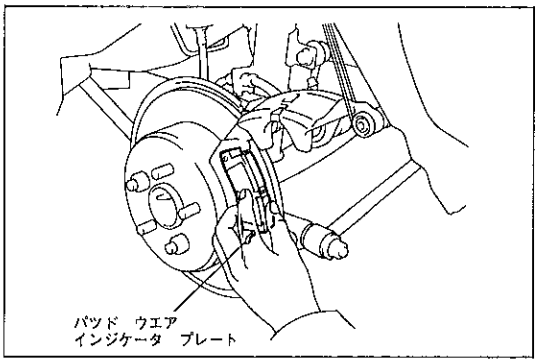


D6926

9　デイスク　ブレーキ　パツド取り付け

(1)　パツドの下側にアンチスクイール　シムのツメ２箇所を付けてから，パツドの凹部にシムのツメを入れる。

無断複製禁止

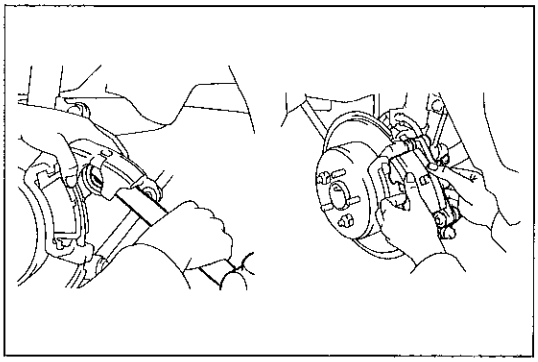


D6927

(2) 新品のデイスク　ブレーキ　パッドをデイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングに取り付ける。

注意 • パッドおよびデイスクの摩擦面に油脂，その他の汚れを付着させない。

• パッドの取り付けの際，パッド　ウエア　インジケータ　プレートをデイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングのブリッジ部に当てない。


D6928，D6922

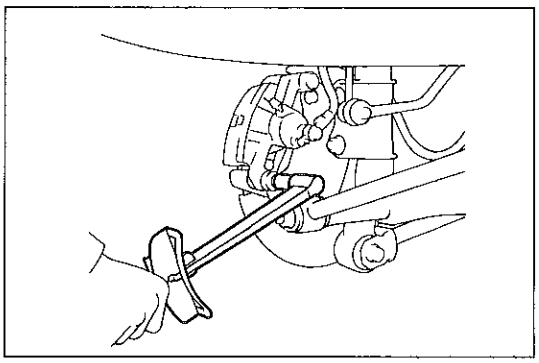
10 デイスク　ブレーキ　シリンダ取り付け

(1) マスタ　シリンダ　リザーバよりブレーキ　フルードを小量抜き取る。

(2) ハンマの柄などでピストンを押し込む。

注意 反対側のピストンが飛び出すことがあるのでパッドの交換作業は必ず片輪ごとに行う。

(3) ダスト　ブーツがかみ込まないよう注意して，デイスク　ブレーキ　シリンダを取り付ける。


D6929

(4) デイスク　ブレーキ　シリンダをボルトで固定する。

T＝200kg·cm

11 リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg·cm

12 リヤ　ブレーキの引きずり点検

13 ブレーキ　フルード注入

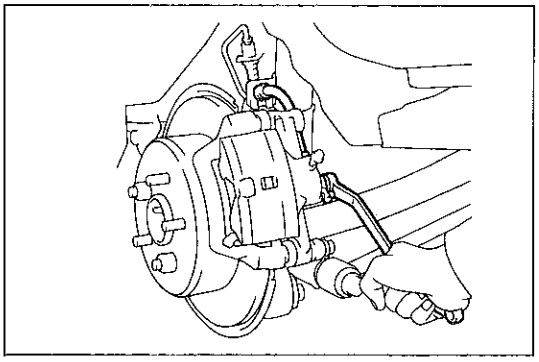
(1) ブレーキ　フルードをマスタ　シリンダ　リザーバのＭＡＸ基準線まで注入する。

デイスク　ブレーキ　シリンダ取りはずし

1 フロント　ホイール取りはずし

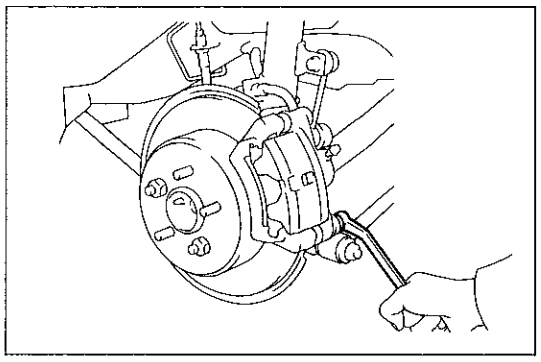
2 フレキシブル　ホース切り離し

(1) ユニオン　ボルトおよびガスケット２個を取りはずし，フレキシブル　ホースを切り離す。

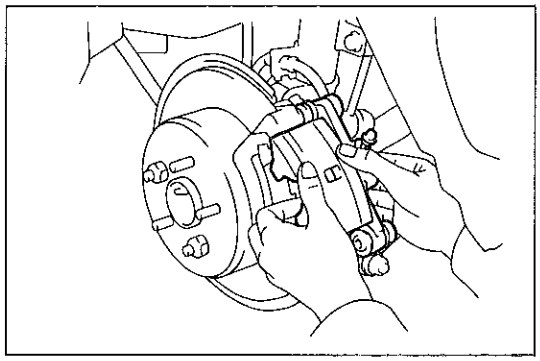

D6930

3 デイスク　ブレーキ　シリンダ取りはずし

(1) デイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングからボルトを取りはずす。

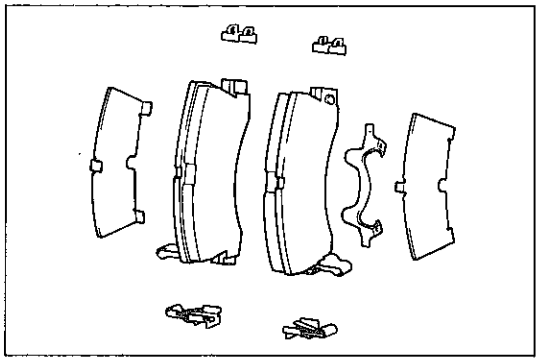

D6921

無断複製禁止



D6922

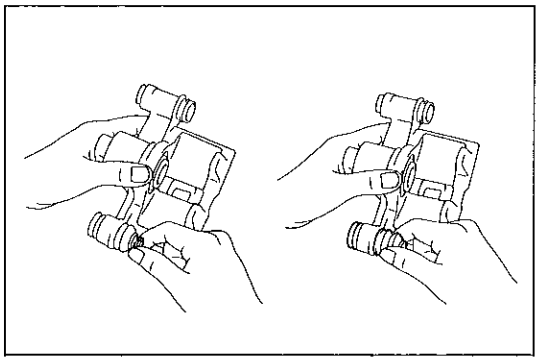
(2)　デイスク　ブレーキ　シリンダを取りはずす。



D6924

4　デイスク　ブレーキ　パツド取りはずし

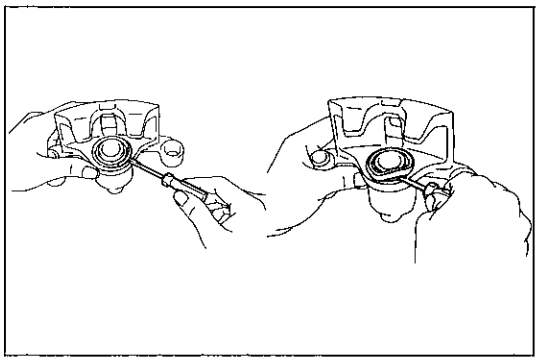
デイスク　ブレーキ　シリンダ分解



D6931　D6932

1　シリンダ　スライド　ブシユおよびブーツ取りはずし

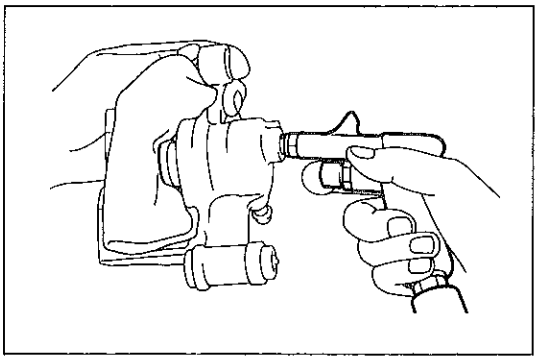
(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダからシリンダ　スライド　ブシユ，ブシユ　ダスト　ブーツおよびメイン　ピン　ブーツを取りはずす。



D6933　D6934

2　セツト　リングおよびシリンダ　ブーツ取りはずし

(1)　⊖薄刃ドライバを使用して，シリンダ　ブーツ　セツト　リングおよびシリンダ　ブーツを取りはずす。



D6935

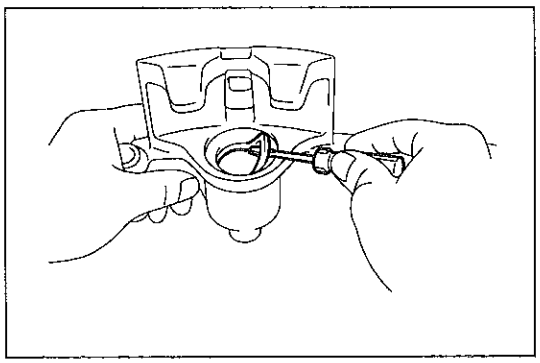
3　ピストン取りはずし

(1)　ピストンとシリンダの間にピストン傷つき防止用の木片，ウエスなどをはさむ。

(2)　エア　ガンを使用して，シリンダからピストンを取りはずす。

注意　・指などをはさまないようにする。
・フルードを飛散させない。

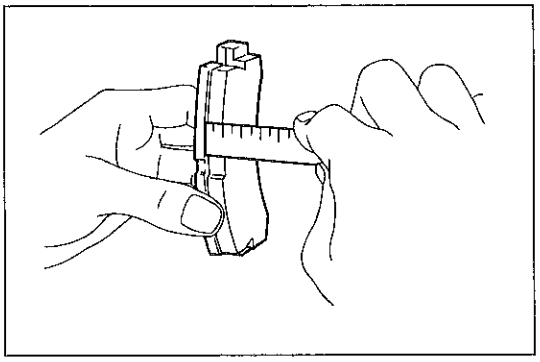
無断複製禁止


D6936

4　ピストン　シール取りはずし

(1) ㊀薄刃ドライバを使用して，ピストン　シールを取りはずす。

リヤ　ブレーキ構成部品の点検および交換

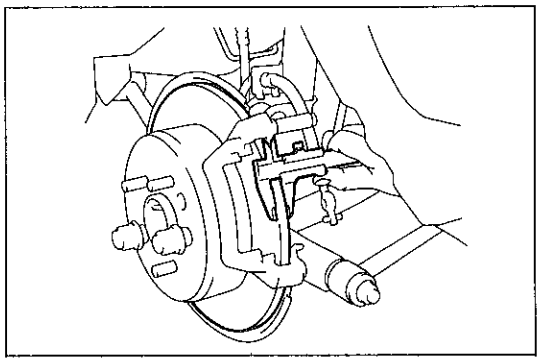

D6937

1　パツドの厚さ測定

基準値　10.0mm

限　度　1.0mm

パツドの厚さが限度以下，または著しい偏摩耗がある場合は交換する。

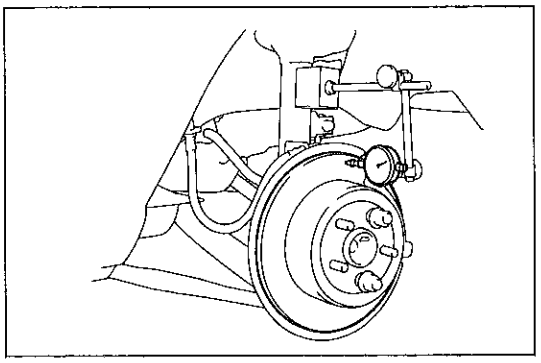

D6938

2　デイスクの厚さ点検

基準値　10.0mm

限　度　9.0mm

デイスクの厚さが限度以下，または著しい偏摩耗，損傷がある場合は交換する。


D6939

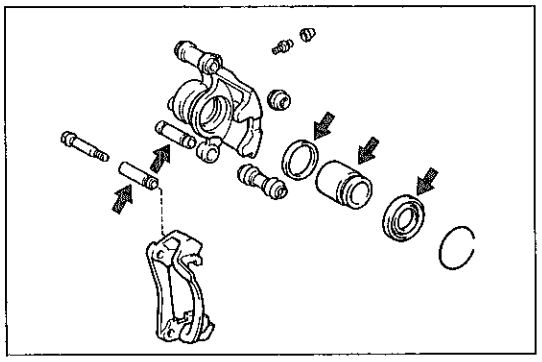
3　デイスクの振れ点検

(1) デイスクの振れ点検前に，リヤ　ホイール　ベアリングのガタがないことを点検する。

(2) ダイヤル　ゲージを使用して，デイスク外側端面の振れを測定する。

限　度　0.15mm（外周より10mm内側の点）

デイスクの振れが限度以上のときは，デイスクを交換する。


D6940

デイスク　ブレーキ　シリンダ組み付け

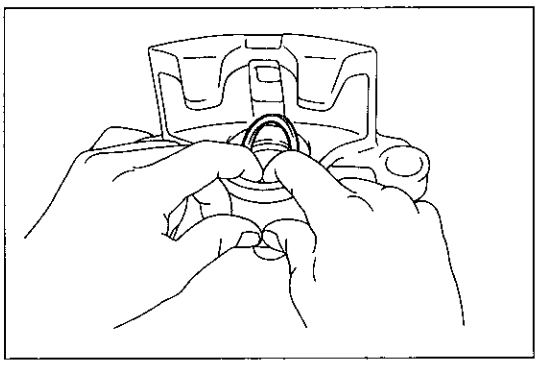
1　組み付け部品の洗浄

(1) 組み付け部品はアルコールまたはブレーキ　フルードで洗浄する。

2　ラバー　グリース塗布

(1) 矢印の示す部位にキヤツスル　ラバー　グリースを塗布する。

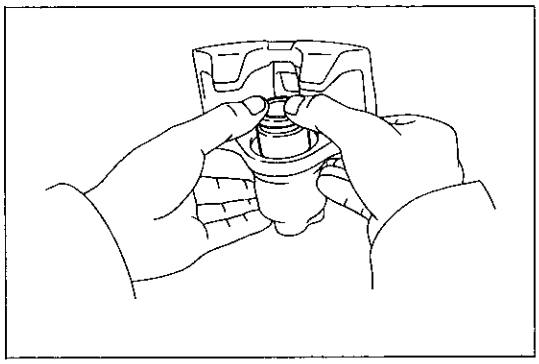
無断複製禁止



D6941

3　ピストン　シール組み付け

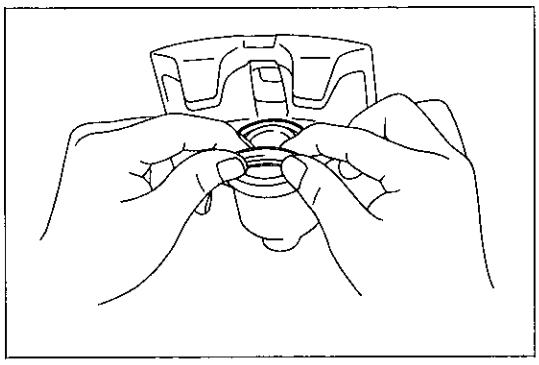
(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダの溝に新品のピストン　シールを組み付ける。



D6942

4　デイスク　ブレーキ　ピストン組み付け

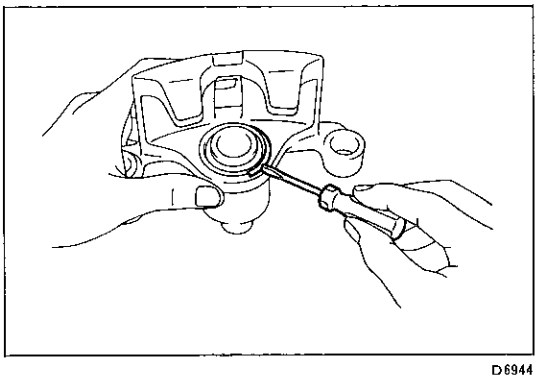
(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダにピストンをこじらないように押し込む。



D6943

5　シリンダ　ブーツ組み付け

(1)　新品のシリンダ　ブーツをデイスク　ブレーキ　シリンダとピストンの溝に組み付ける。

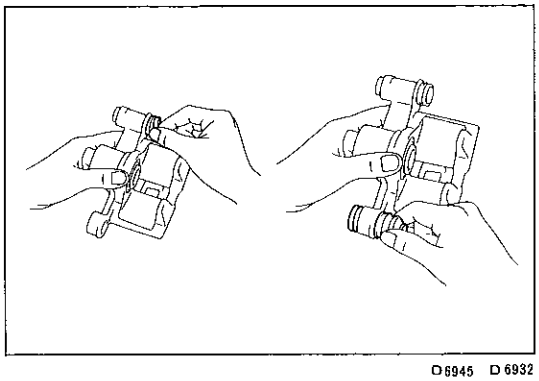


D6944

6　セツト　リング組み付け

(1)　㊀薄刃ドライバを使用して，新品のセツト　リングをシリンダ　ブーツに組み付ける。

注意　ブーツを傷つけない。

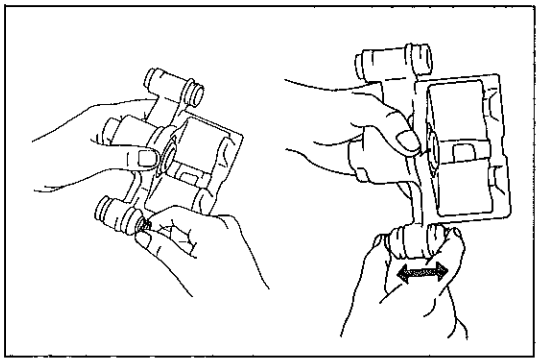


D6945　D6932

7　ブシユ　ダスト　ブーツおよびメイン　ピン　ブーツ組み付け

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダに新品のブシユ　ダスト　ブーツおよびメイン　ピン　ブーツを組み付ける。

無断複製禁止

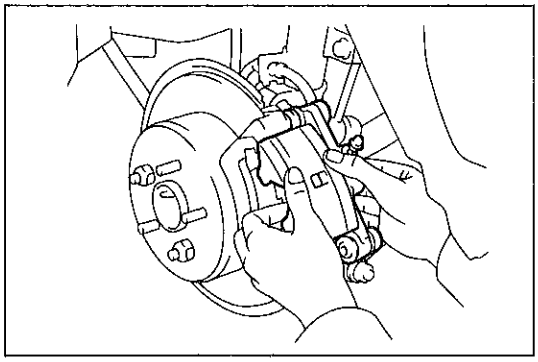


D6931　D6946

8　シリンダ　スライド　ブシユ組み付け

(1)　ブシユ　ダスト　ブーツにシリンダ　スライド　ブシユを組み付ける。

注意　ブシユ　ダスト　ブーツはブシユの溝に確実に組み付ける。



D6922

デイスク　ブレーキ　シリンダ取り付け

1　デイスク　ブレーキ　パツド取り付け

(S 7-49参照)

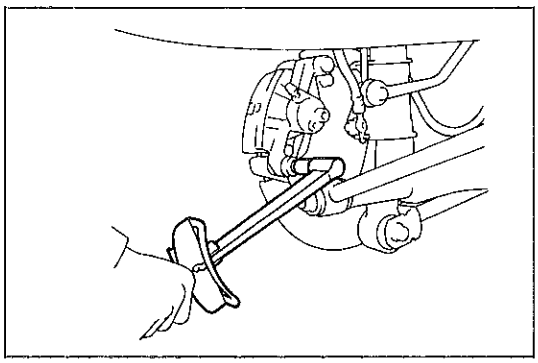
2　デイスク　ブレーキ　シリンダ取り付け

(1)　デイスク　ブレーキ　シリンダのメイン　ピン　ブーツをデイスク　ブレーキ　シリンダ　マウンテイングのガイド　ピンの溝に確実に取り付ける。

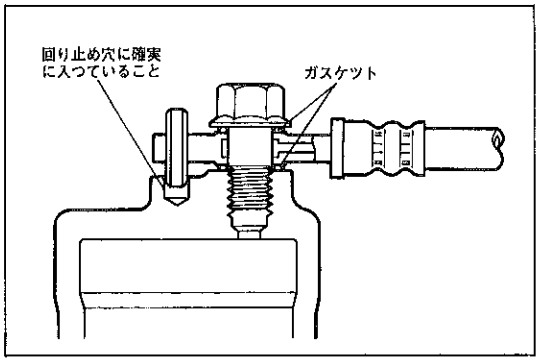
(2)　ダスト　ブーツがかみ込まないように，デイスク　ブレーキ　シリンダを取り付ける。

(3)　デイスク　ブレーキ　シリンダをボルトで締め付ける。

T＝200kg·cm



D6947



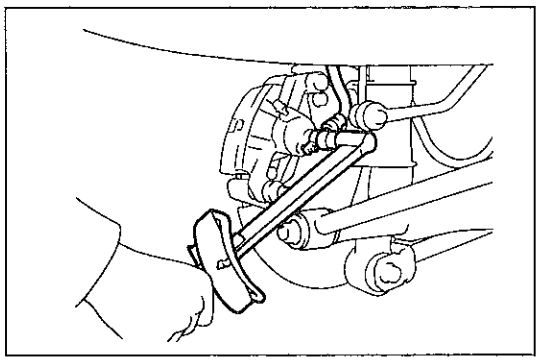
D6948

3　フレキシブル　ホース接続

(1)　フレキシブル　ホースのシール面(両側)に新品のガスケツトを取り付け，フレキシブル　ホースの回り止めをデイスク　ブレーキ　シリンダの回り止め穴に確実に入れて，ユニオン　ボルトを締め付ける。

T＝310kg·cm

注意　デイスク　ブレーキ　シリンダのシール面およびフレキシブル　ホースのシール面(両側)を傷つけない。



D6949

4　ブレーキ系統のエア抜き

(S 7-6参照)

5　ブレーキ　フルード漏れ点検

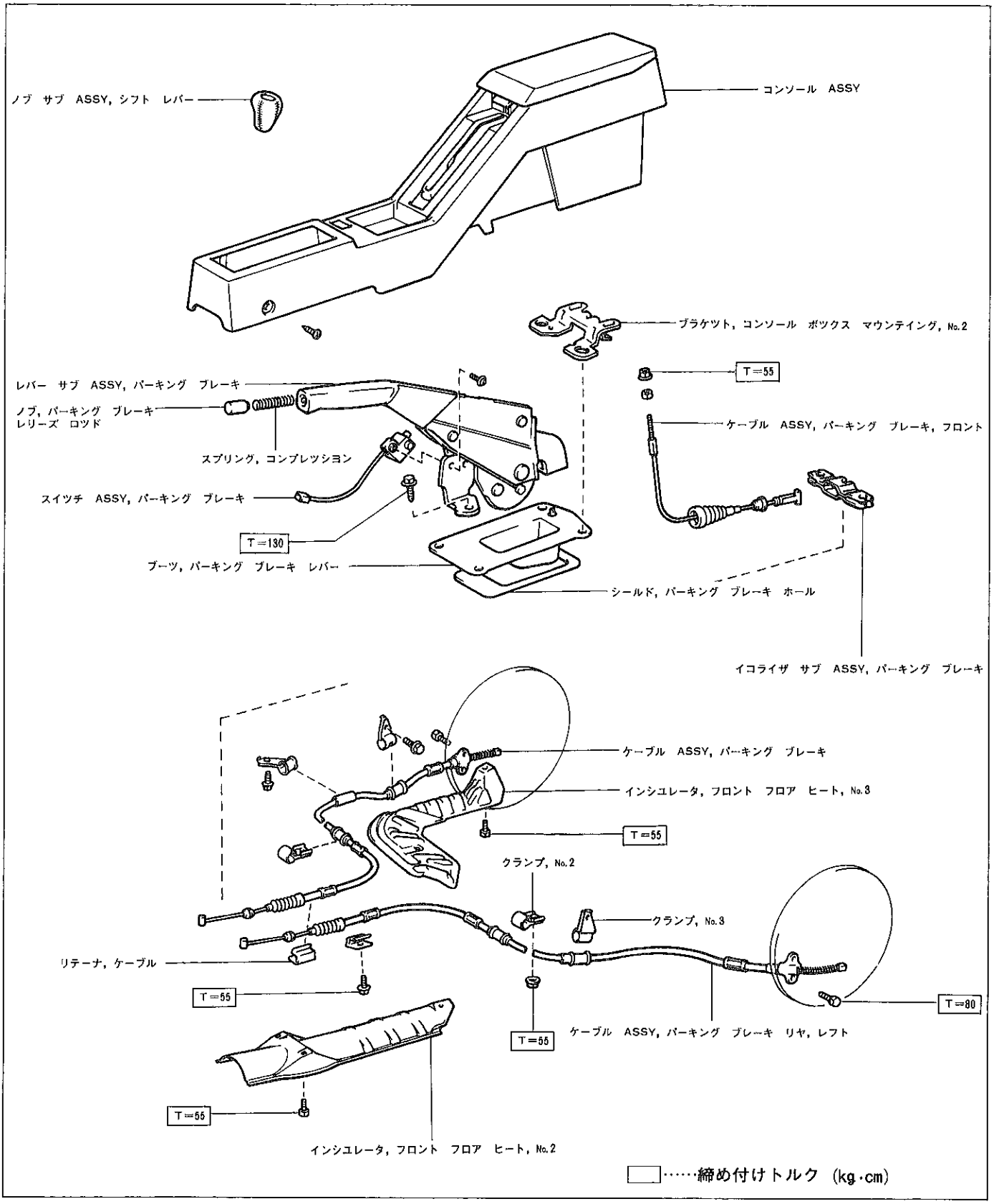
6　リヤ　ホイール取り付け

T＝1050kg·cm

無断複製禁止

パーキング　ブレーキ　レバー　&　ケーブル

構　成　図

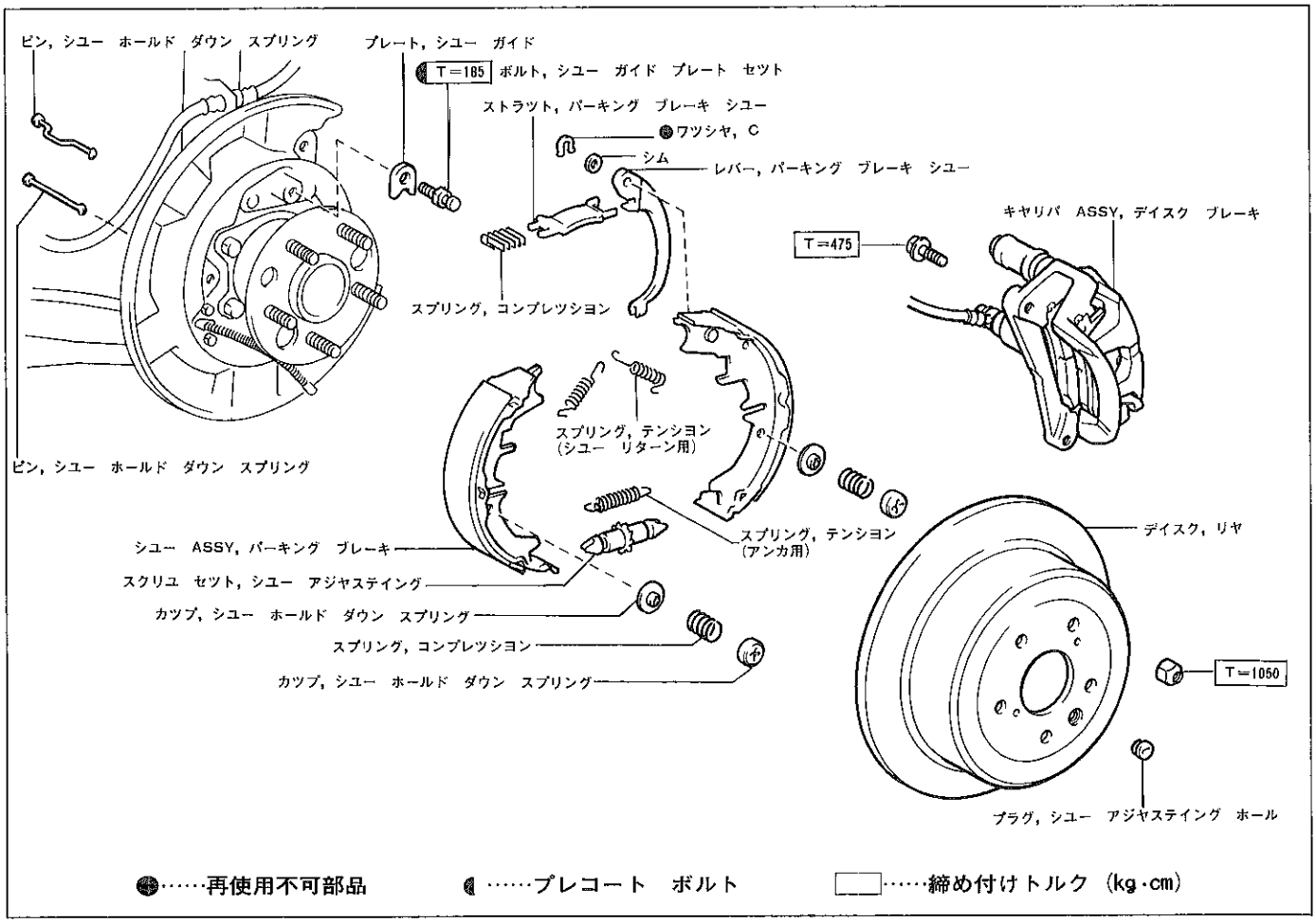


D6950

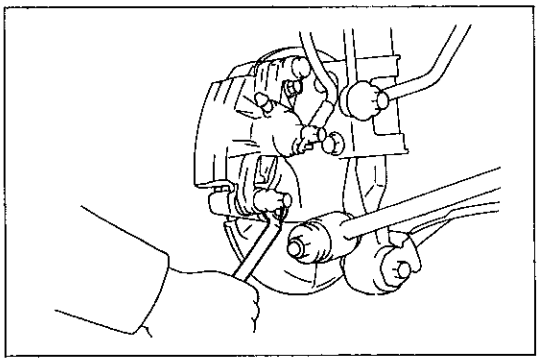
無断複製禁止

パーキング　ブレーキ

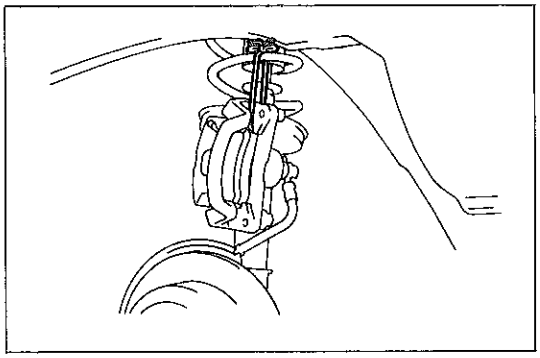
構　成　図



D6951



D6952



D6953

パーキング　ブレーキ取りはずし

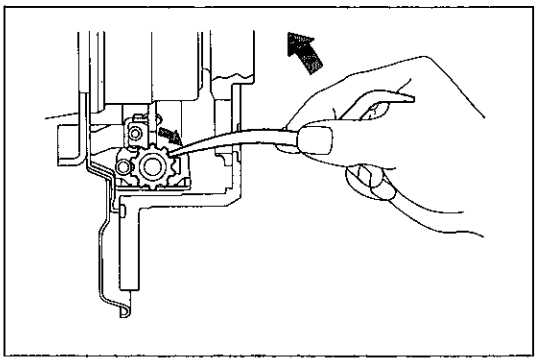
1　リヤ　ホイール取りはずし

2　デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹ取りはずし

(1)　ボルト２本を取りはずし，デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹを取りはずす。

(2)　フレキシブル　ホースを引つ張らないよう針金などで，デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹを吊るす。

無断複製禁止


D6855

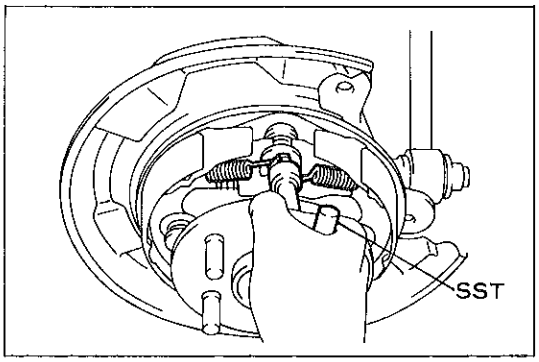
3　デイスク取りはずし

(1)　デイスクが容易に取りはずせない場合，次の要領で行う。

①　デイスクのサービス　ホールをシユー　アジヤステイング　スクリユ　セツトの位置に合わせる。

②　シユー　アジヤステイング　プラグをデイスクから取りはずす。

③　ブレーキ　アジヤステイング　ツールを使用して，アジヤステイング　ボルトを回転させ，ブレーキ　シユーを収縮する。

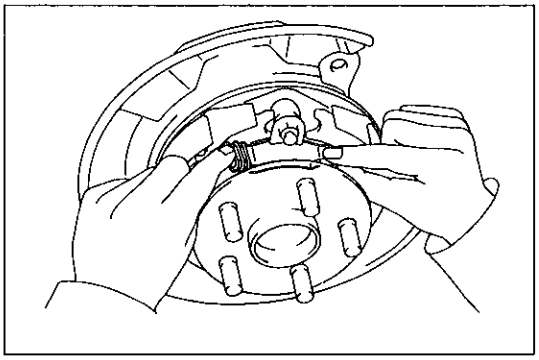


D6954

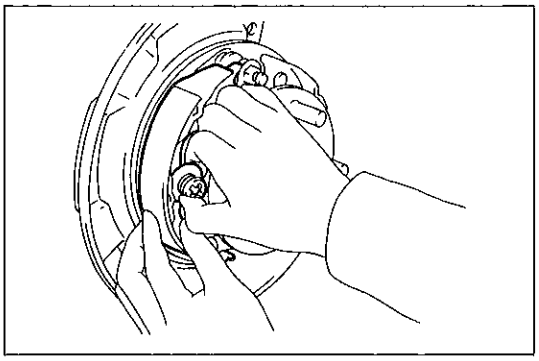
4　テンシヨン　スプリング(シユー　リターン用)取りはずし

(1)　ＳＳＴを使用して，テンシヨン　スプリング２本を取りはずす。

ＳＳＴ　09717-20010

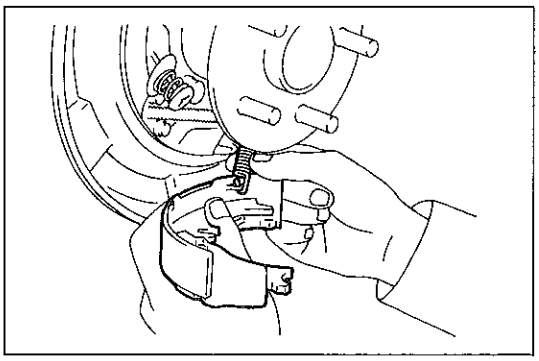

D6955

5　パーキング　ブレーキ　シユー　ストラツトおよびスプリング　取りはずし


D6956

6　パーキング　ブレーキ　シユー(フロント側)取りはずし

(1)　スプリングを押し縮めて，フロント側パーキング　ブレーキ　シユーを前方へずらして取りはずす。


D6957

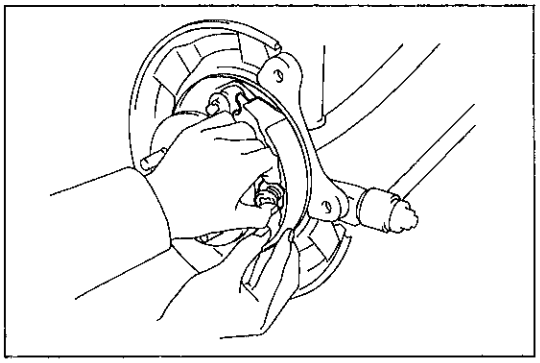
(2)　パーキング　ブレーキ　シユーをテンシヨン　スプリングから取りはずす。

(3)　シユー　ホールド　ダウン　スプリング　カツプ，スプリングおよびピンを取りはずす。

7　シユー　アジヤステイング　スクリユ　セツト取りはずし

8　テンシヨン　スプリング(アンカ用)取りはずし

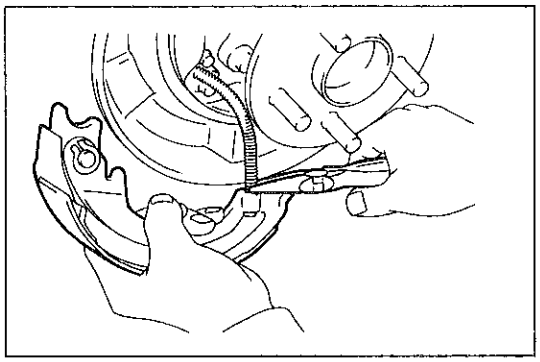
無断複製禁止


D6958

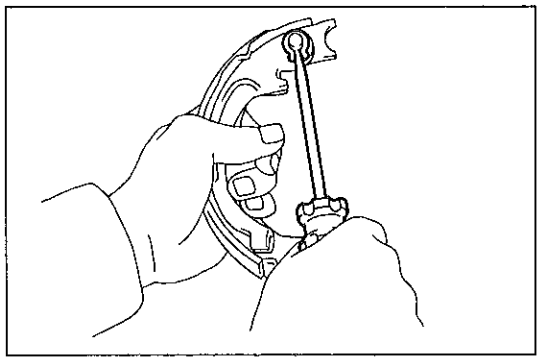
9　パーキング　ブレーキ　シユー(リヤ側)取りはずし

(1) スプリングを押し縮めて，リヤ側パーキング　ブレーキ　シユーを後方へずらして取りはずす。

(2) シユー　ホールド　ダウン　スプリング　カツプ，スプリングおよびピンを取りはずす。


D6959

(3) ニードル　ノーズ　プライヤを使用して，パーキング　ブレーキ　シユー　レバーからパーキング　ブレーキ　ケーブルを取りはずす。

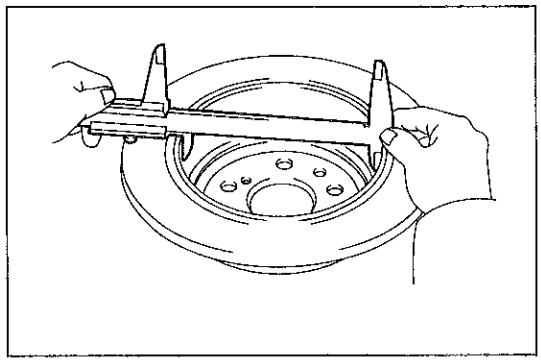

D6960

10　パーキング　ブレーキ　シユー　レバー取りはずし

(1) ⊖ドライバを使用して，C　ワツシヤを上方へ引き上げ，ブレーキ　シユーからパーキング　ブレーキ　シユー　レバーおよびシムを取りはずす。

11　シユー　ガイド　プレート　セツト　ボルトおよびプレート取りはずし

パーキング　ブレーキ構成部品の点検

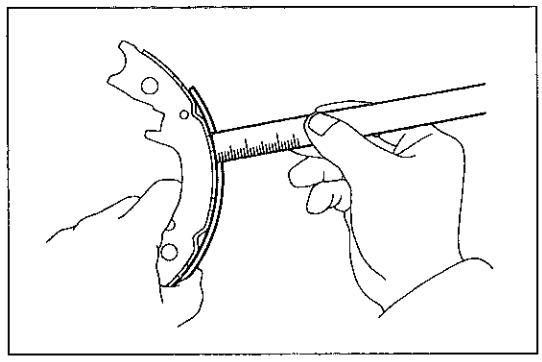

D6961

1　デイスクの内径点検

基準値　170.0mm

限　度　171.0mm

デイスクに著しい偏摩耗，条こん摩耗がみられる場合は，デイスクを研磨するか交換する。


D6962

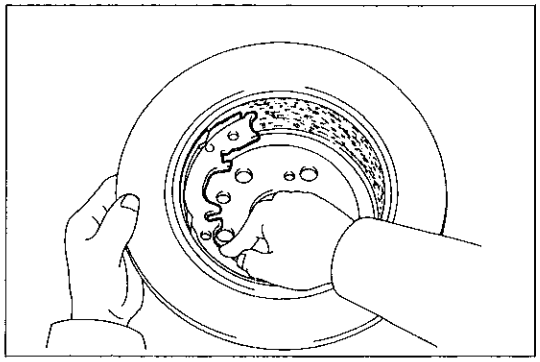
2　シユー　ライニングの厚さ点検

基準値　2.0mm

限　度　1.0mm

シユー　ライニングの厚さが限度以下，または著しい偏摩耗がある場合はブレーキ　シユーを交換する。

無断複製禁止


D6963

3　シユー　ライニングとデイスクの当たり点検

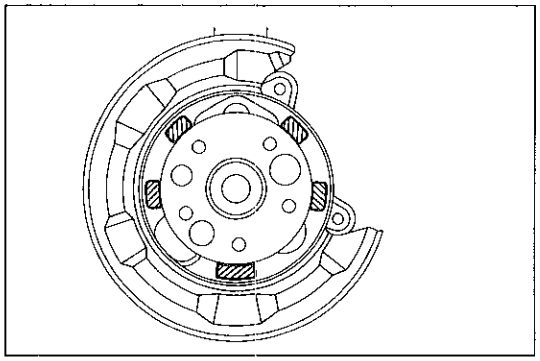
(1)　デイスクの内面にチヨークを塗布し，ブレーキ　シユーとこすり合わせる。

基　準　　著しい当たり不良がない

著しい当たり不良が生じている場合，ブレーキ　シユー交換またはデイスクを研磨する。

注意　点検終了後，チヨークをふき取る。

4　バツキング　プレートの摩耗，損傷状況点検


D6964

パーキング　ブレーキ組み付け

1　シユー　ガイド　プレート　セツト　ボルトおよびプレート組み付け

(1)　セツト　ボルトにアドヘシブ・1344を塗布し，プレートを介して組み付ける。

T＝185kg·cm

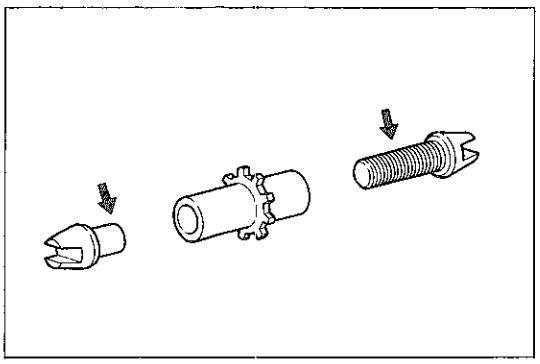
2　キヤツスル　ノンメルト　ルブ塗布

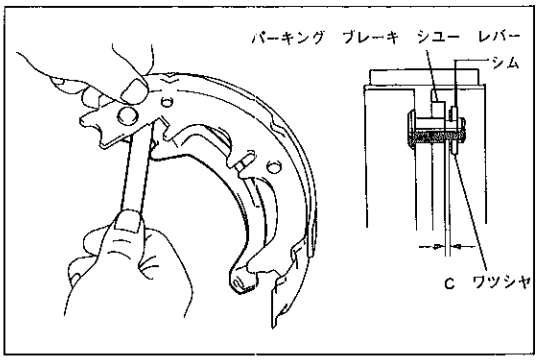
(1)　図に示す部位にキヤツスル　ノンメルト　ルブを薄く塗布する。

①　パーキング　ブレーキ　プレートとブレーキ　シユーの接触部分

②　アンカ　ピンとブレーキ　シユーの接触部分

③　シユー　アジヤステイング　ボルトとシユー　サポート　ピース部分


Z5952



D6965　Z0452

3　パーキング　ブレーキ　シユー　レバー組み付け

(1)　新品のC　ワツシヤにて，パーキング　ブレーキ　シユー　レバーをリヤ側パーキング　ブレーキ　シユーに仮付けする。

(2)　シツクネス　ゲージを使用して，パーキング　ブレーキ　シユー(リヤ側)とパーキング　ブレーキ　シユー　レバーとのすき間を測定する。

基準値　　0～0.35mm

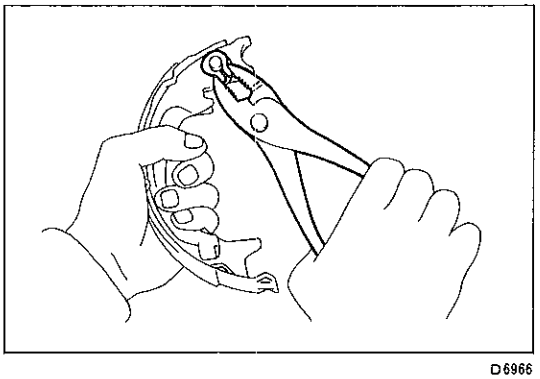
基準値外の場合は，シムの厚さを変えて調整する。

〈参考〉　シムの種類

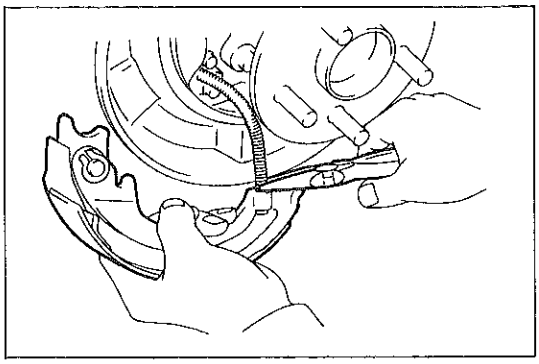
品　番	シムの厚さ(mm)
90564-09184	0.3
90564-09185	0.6
90564-09186	0.9

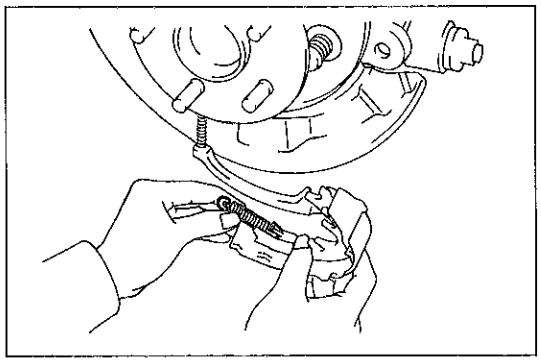
(3)　プライヤを使用して，C　ワツシヤを取り付ける。

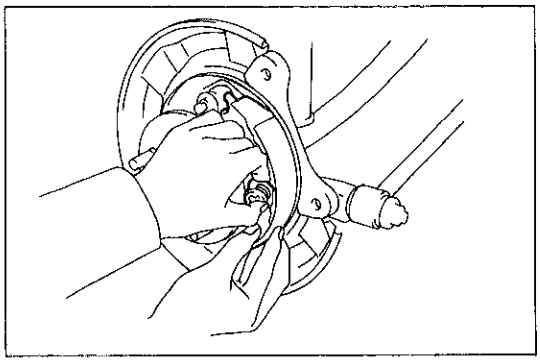
注意　C　ワツシヤは必ず新品と交換する。

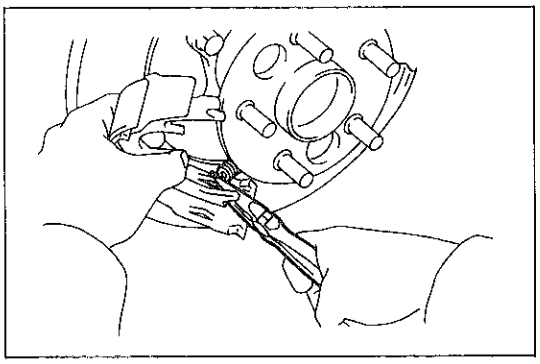

D6966

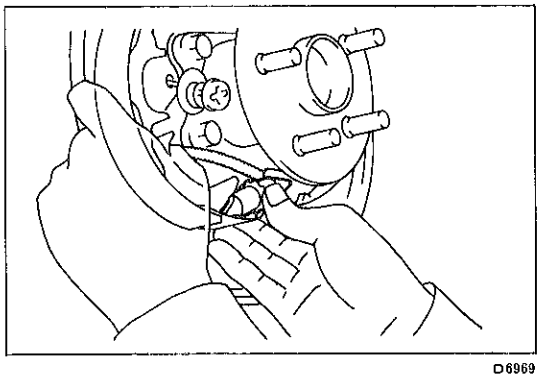
無断複製禁止


D6959


D6967


D6958


D6968


D6969

4　パーキング　ブレーキ　シユー(リヤ側)組み付け

(1) ニードル　ノーズ　プライヤを使用して，パーキング　ブレーキ　シユー　レバーにパーキング　ブレーキ　ケーブルを組み付ける。

(2) パーキング　ブレーキ　プレートにシユー　ホールド　ダウン　スプリング　カップ，スプリングおよびピンを組み付ける。

(3) スプリングをパーキング　ブレーキ　シユーに組み付ける。

(4) スプリングを押し縮めて，リヤ側パーキング　ブレーキ　シユーを組み付ける。

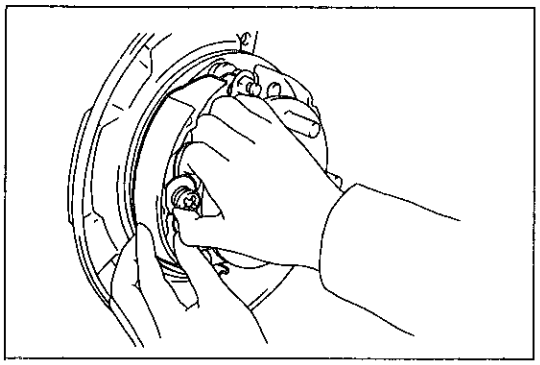
5　パーキング　ブレーキ　シユー(フロント側)組み付け

(1) パーキング　ブレーキ　プレートにシユー　ホールド　ダウン　スプリング　カップ，スプリングおよびピンを組み付ける。

(2) ニードル　ノーズ　プライヤを使用して，テンシヨン　スプリングをフロント側パーキング　ブレーキ　シユーに組み付ける。

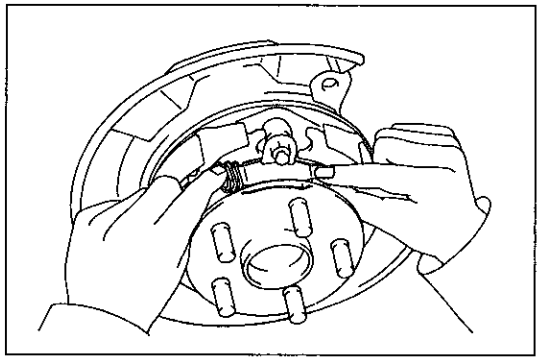
(3) シユー　アジヤステイング　スクリユ　セットをパーキング　ブレーキ　シユーのフロント側とリヤ側の間に組み付ける。

無断複製禁止



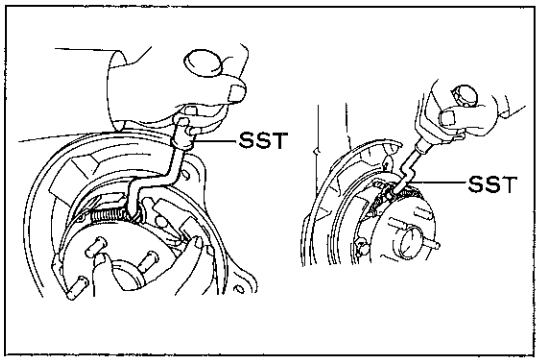
D6956

(4) スプリングを押し縮めて，フロント側パーキング　ブレーキ　シユーを組み付ける。



D6955

6　パーキング　ブレーキ　シユー　ストラツトおよびスプリング組み付け



D6970　D6971

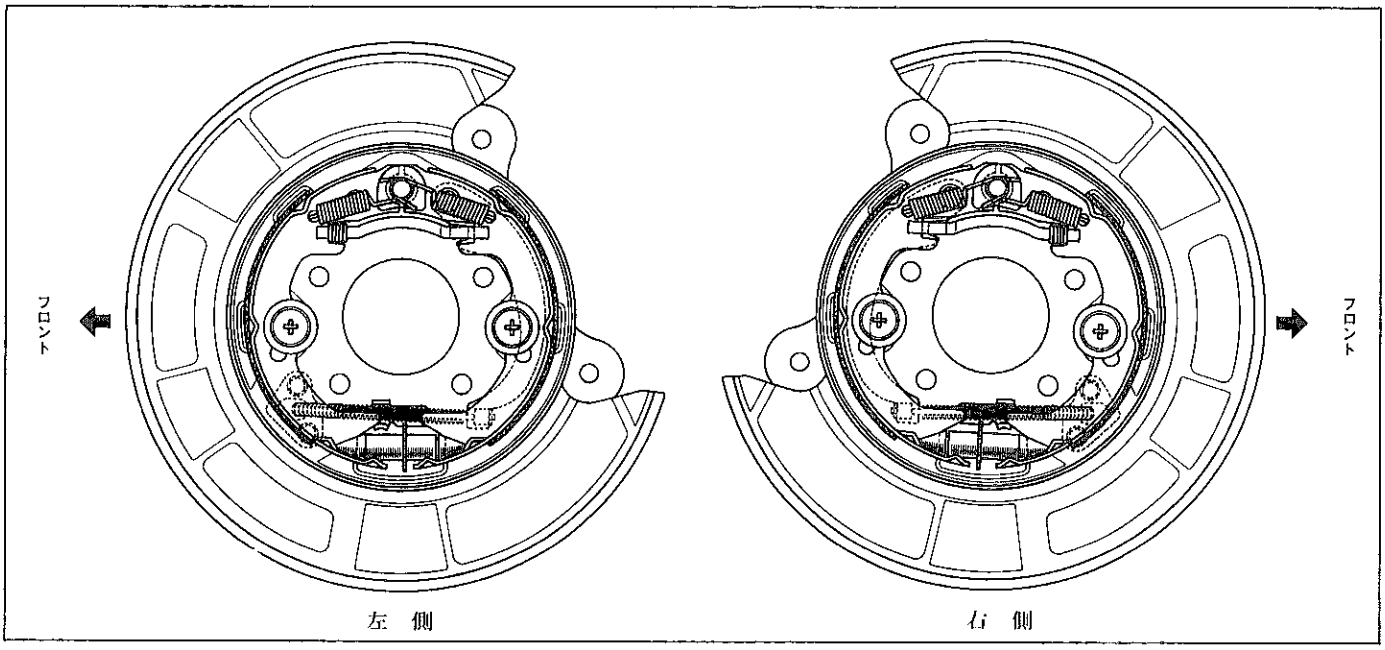
7　テンシヨン　スプリング(シユー　リターン用)組み付け

(1) ＳＳＴを使用して，テンシヨン　スプリング２個を組み付ける。

ＳＳＴ　09718-20010

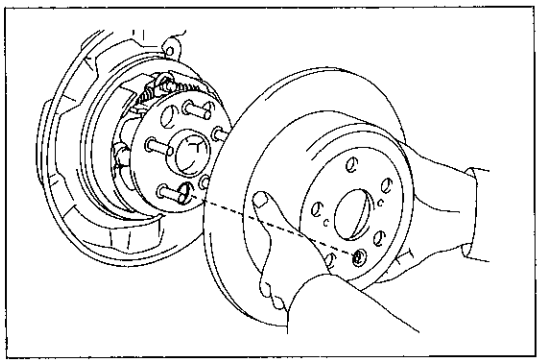
8　パーキング　ブレーキ組み付け点検

(1) 各部品が正規に組み付けられていることを点検する。



● D6972　D6972

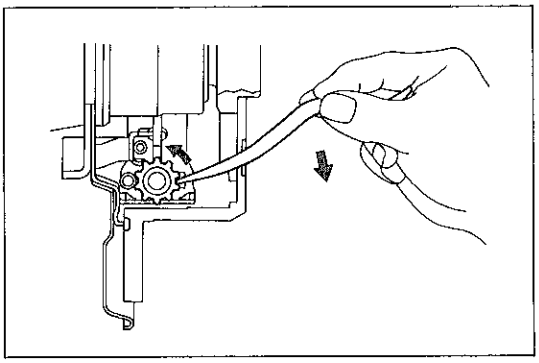
無断複製禁止



D6973

9　デイスク組み付け

(1) デイスクのサービス　ホールをリヤ　アクスル　シヤフトの一番大きい穴に合わせて組み付ける。



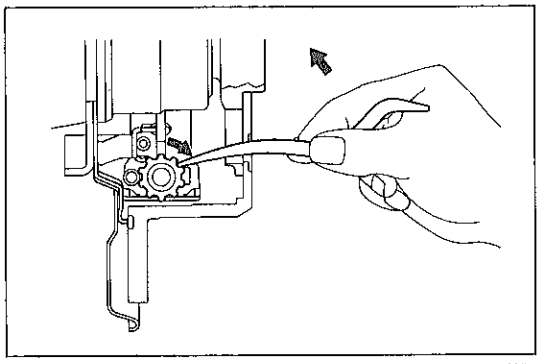
D6854

10　パーキング　ブレーキ　シユーとリヤ　デイスクのすき間調整

(1) ハブ　ナツトをデイスクに取り付ける。

(2) デイスクのサービス　ホールをアジヤステイング　スクリユセツトの位置に合わせる。

(3) ブレーキ　アジヤステイング　ツールを使用して，アジヤステイング　スクリユを回転させ，デイスクに密着するまでシユーを拡張させる。



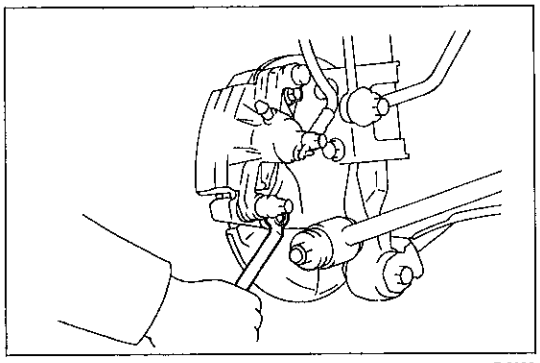
D6855

(4) シユーが完全にデイスクに密着していることを確認して，その後アジヤステイング　スクリユを逆回転させ，デイスクが軽く回転するまでシユーを収縮させる。

標準もどしコマ数　　約8コマ

注意　ブレーキの引きずりがない。

(5) シユー　アジヤステイング　ホール　プラグを取り付ける。



D6952

11　パーキング　ブレーキ　レバー引きしろ点検

（S 7-7参照）

12　デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹ取り付け

(1) デイスク　ブレーキ　キヤリパ　ＡＳＳＹをボルト２本で取り付ける。

T＝475kg·cm

13　リヤ　ホイール取り付け

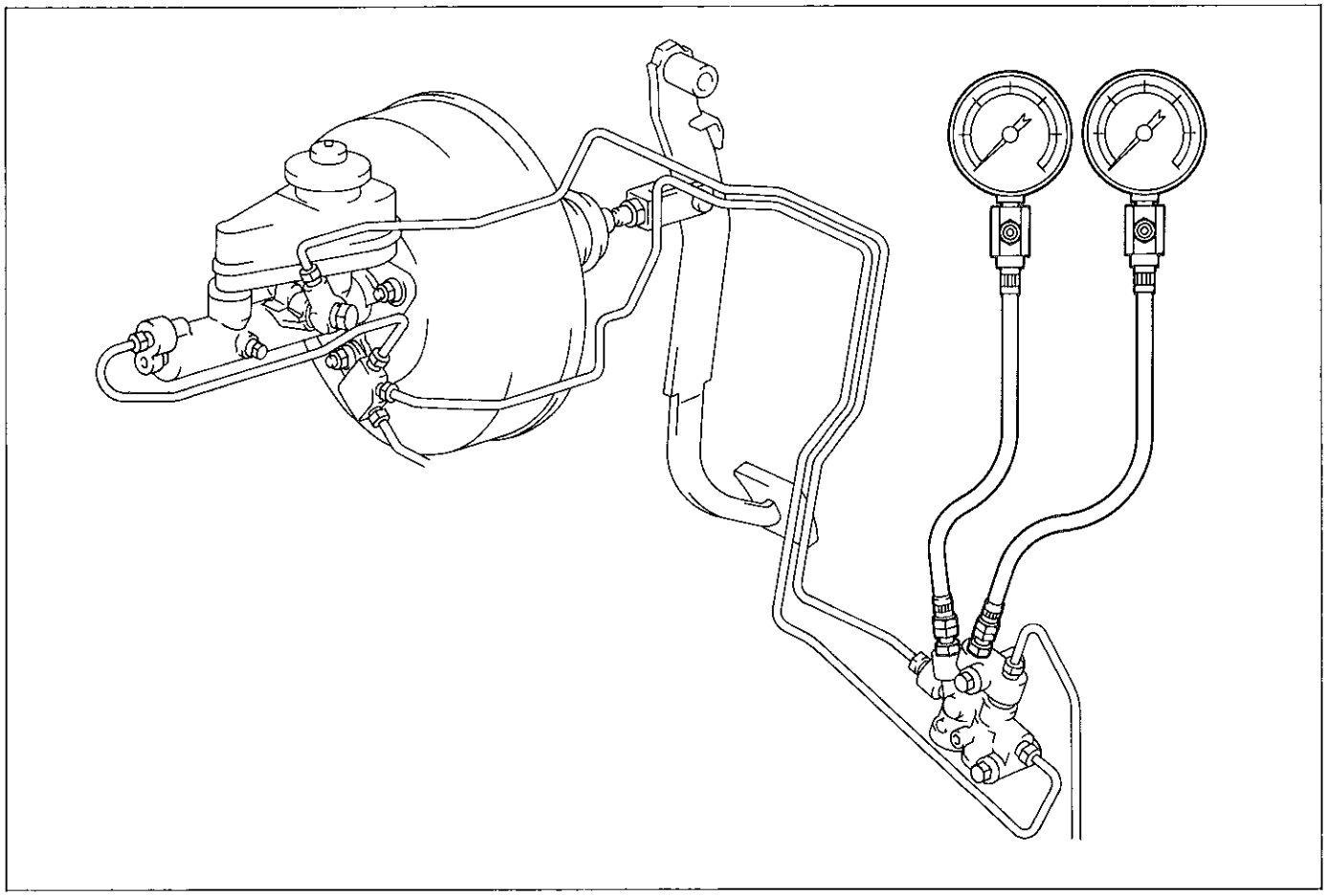
T＝1050kg·cm

無断複製禁止

デユアル　P　バルブ

1　液圧点検

(1)　ポータブル　ブレーキ　ブースタ　テスタを接続する。



D 6974

(2)　油圧計のエア抜きをする。

(3)　マスタ　シリンダの液圧とデユアル　P　バルブ吐出側の液圧を点検する。

基準値　　**図に示す　(次頁)**

〈**参考**〉　マスタ　シリンダの液圧はフロント側もリヤ側も同じである。

注意　**デユアル　P　バルブの調整は行わない。**

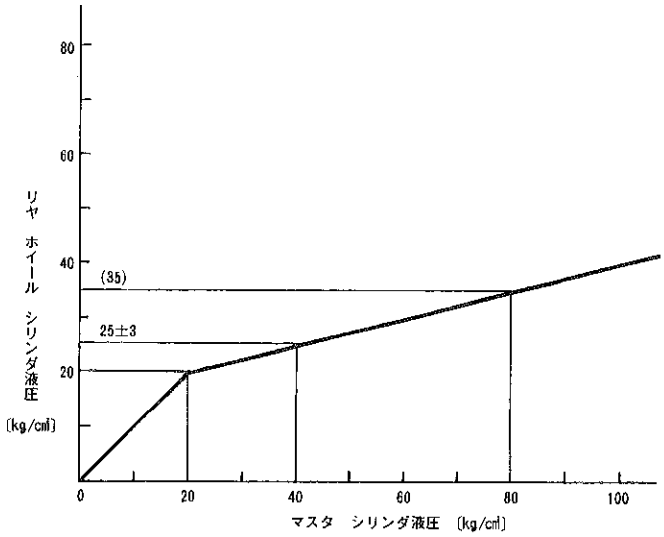
2　ブレーキ系統のエア抜き

(S 7-6参照)

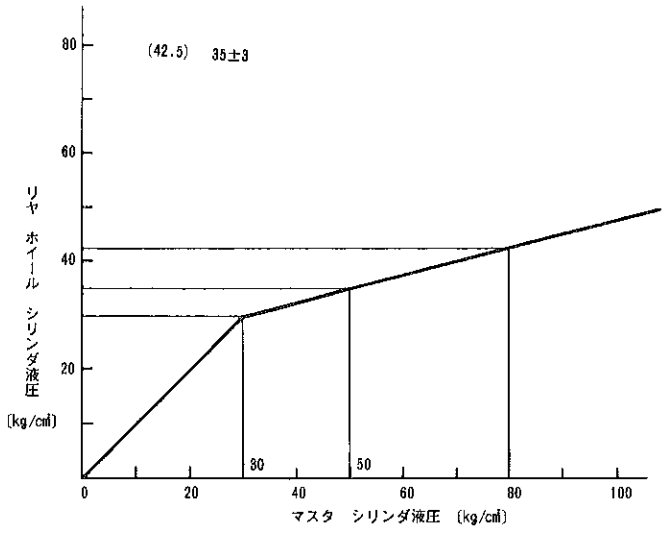
3　ブレーキ　フルード漏れ点検

無断複製禁止

ＳＴ160系



ＡＴ160系，ＳＴ162系



D6975 D6976

無断複製禁止